

清 須 市  
高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画  
アンケート調査分析報告書

令和2年9月

清 須 市



# 目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査の対象者等	1
3	調査票の回収結果	1
4	報告書の見方	1
II	調査の集計結果	2
	(1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	2
1	対象者の属性	2
1-1	対象者の性別	2
1-2	対象者の年齢	2
1-3	要支援等の認定状況	3
1-4	居住地区	3
1-5	家族構成	4
1-6	介護・介助の必要性	4
1-7	介護・介助が必要になった原因	5
1-8	主な介護・介助者	6
1-9	経済的にみた現在の暮らしの状況	6
2	からだを動かすことについて	7
2-1	階段の昇降や立ち上がり、歩行について	7
2-2	転倒について	7
2-3	外出の頻度	8
2-4	外出する際の移動手段	11
3	食えることについて	12
3-1	BMI値の状況	12
3-2	口腔機能について	12
3-3	歯の手入れ等について	12
3-4	体重減少の有無	14
3-5	共食の状況	14
4	毎日の生活について	15
4-1	物忘れ等について	15

4-2	日常生活について .....	16
4-3	趣味、生きがいについて .....	18
<b>5</b>	<b>地域での活動について .....</b>	<b>19</b>
5-1	活動への参加頻度 .....	19
5-2	地域住民による健康づくり活動への参加意向 .....	20
5-3	ボランティア活動について .....	21
5-4	地域との関わりについて .....	22
<b>6</b>	<b>たすけあいについて .....</b>	<b>24</b>
6-1	情緒的サポートの受領状況 .....	24
6-2	情緒的サポートの提供状況 .....	25
6-3	手段的サポートの受領状況 .....	26
6-4	手段的サポートの提供状況 .....	27
6-5	ソーシャル・キャピタル得点 .....	28
6-6	家族や友人・知人以外の相談相手 .....	30
6-7	友人関係について .....	31
6-8	地域やボランティア活動に手伝ってほしいこと .....	32
<b>7</b>	<b>健康について .....</b>	<b>33</b>
7-1	主観的健康観 .....	33
7-2	幸福度 .....	34
7-3	心の健康について .....	35
7-4	飲酒・喫煙について .....	36
7-5	現在治療中、または後遺症のある病気 .....	37
<b>8</b>	<b>認知症について .....</b>	<b>38</b>
8-1	認知症について .....	38
8-2	成年後見制度について .....	39
8-3	認知症になっても安心して暮らしていくために必要なこと .....	40
<b>9</b>	<b>介護保険制度および高齢者福祉施策について .....</b>	<b>41</b>
9-1	地域包括支援センターの認知度 .....	41
9-2	介護予防教室について .....	42
9-3	介護保険制度や高齢者サービスについての情報源 .....	45
9-4	介護保険制度や高齢者サービスについての相談先 .....	45
9-5	高齢者福祉サービスの利用状況・利用意向 .....	46
9-6	在宅生活の継続に必要な支援・サービス .....	48

9-7	終末期を迎える場所について .....	48
9-8	市の高齢者施策について望むこと .....	49
9-9	高齢者の福祉・介護・医療についての意見・要望 .....	50
(2)	在宅介護実態調査 .....	51
1	対象者の属性 .....	51
1-1	調査票の回答者 .....	51
1-2	家族構成 .....	51
1-3	対象者の性別 .....	51
1-4	対象者の年齢 .....	52
1-5	対象者の要介護度 .....	52
2	対象者の生活状況について .....	53
2-1	施設等への入所・入居の検討状況 .....	53
2-2	現在抱えている傷病 .....	54
2-3	介護保険サービスの利用状況 .....	55
2-4	介護保険サービスの利用意向 .....	57
2-5	介護保険サービスを利用していない理由 .....	57
2-6	新たに利用したい介護保険サービス .....	58
2-7	現在利用している高齢者福祉サービス .....	59
2-8	在宅生活の継続に必要な支援・サービス .....	60
2-9	訪問診療の利用の有無 .....	61
2-10	注力してほしい介護関連施策 .....	62
2-11	成年後見制度について .....	63
2-12	地域包括支援センターの認知度 .....	64
2-13	地域包括支援センターの利用状況 .....	64
2-14	注力してほしい地域包括支援センターの事業 .....	65
2-15	家族等による介護の頻度 .....	66
3	主な介護者について .....	67
3-1	介護のための離職の有無 .....	67
3-2	主な介護者の本人との関係 .....	67
3-3	主な介護者の性別、年齢 .....	68
3-4	介護の継続年数 .....	68
3-5	現在行っている介護 .....	69
3-6	在宅生活の継続にあたり不安に感じる介護 .....	70

3-7	介護者の勤務形態 .....	71
3-8	介護のための働き方の調整の状況 .....	71
3-9	仕事と介護の両立に必要な勤め先からの支援 .....	72
3-10	主な介護者の就労継続の可否に係る意識 .....	72
(3)	サービス事業者調査 .....	73
1	介護サービスの実施状況 .....	73
1-1	サービス提供の状況 .....	73
1-2	介護サービスの実施状況と実施予定 .....	74
1-3	介護サービスの利用者数及び利用回数の状況 .....	76
1-4	総合事業利用者との目標共有の状況 .....	78
1-5	生活支援コーディネーターの認知度 .....	78
1-6	生活支援コーディネーターの利用状況 .....	78
1-7	多職種の連携についての意見 .....	79
2	介護人材の確保やケアマネジメントの質の向上等について .....	80
2-1	人材マネジメント上、抱えている問題 .....	80
2-2	人材育成に取り組む際の問題点 .....	80
2-3	職員の確保と定着向上における問題点 .....	81
2-4	居宅介護サービス計画を作成する上での問題 .....	81
2-5	ケアマネジャーの質の確保等のために重視していること .....	82
2-6	利用者や家族からの苦情の内容 .....	82
2-7	介護・高齢者福祉についての意見 .....	83

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

この調査は、市民の生活状況や福祉への意向、事業者における課題等を把握し、「清須市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画」策定のための基礎資料とするため、実施しました。

## 2 調査の対象者等

	対象者	実施時期	調査方法
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	65歳以上の市民（要介護認定者を除く）から無作為抽出した4,100人	令和2年 5月27日 ～6月15日	郵送配布、 郵送回収
在宅介護実態調査	要支援・要介護認定者（施設入所者を除く）から無作為抽出した1,494人		
サービス事業者調査	市内のサービス提供事業者84事業者		

## 3 調査票の回収結果

	標本サイズ	回収数	無効 (白票)	有効 回収数	有効 回収率
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	4,100	2,753	0	2,753	67.1%
在宅介護実態調査	1,494	887	7	880	58.9%
サービス事業者調査	84	63	0	63	75.0%

## 4 報告書の見方

- ・グラフ・表中の「n」はアンケートの有効回収数を示しています。
- ・比率はすべて百分率（%）で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。従って、合計が100.0%にならない場合もあります。
- ・複数回答の場合、回答の合計比率が100.0%を超える場合があります。
- ・グラフ・表として示したもののうち、無回答の回答数が0の場合は「無回答」の表示を省略しています。また、選択肢の文章を簡略化してある場合があります。

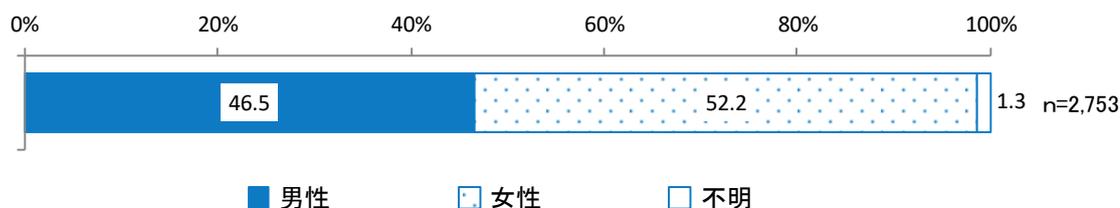
## Ⅱ 調査の集計結果

### (1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

#### 1 対象者の属性

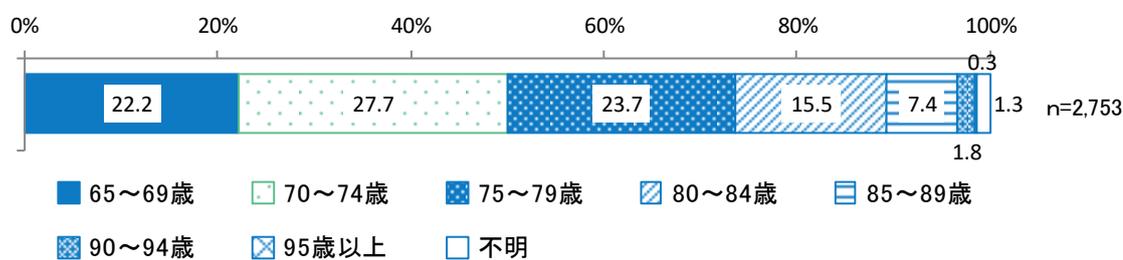
##### 1-1 対象者の性別

対象者の性別は、「男性」が46.5%、「女性」が52.2%となっています。



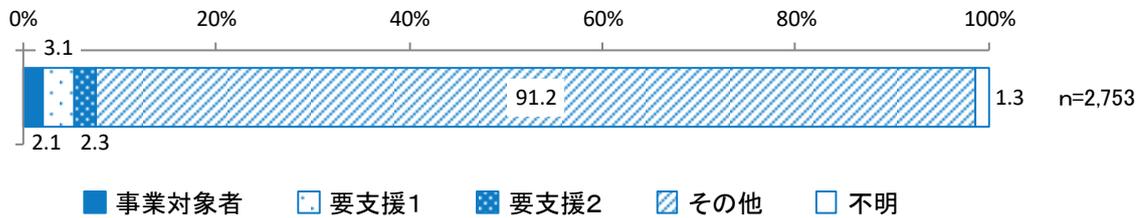
##### 1-2 対象者の年齢

対象者の年齢は、「70～74歳」が27.7%と最も高く、「65～69歳」(22.2%)と合わせた『前期高齢者』は49.9%となっています。また、75歳以上の『後期高齢者』は48.7%となっています。



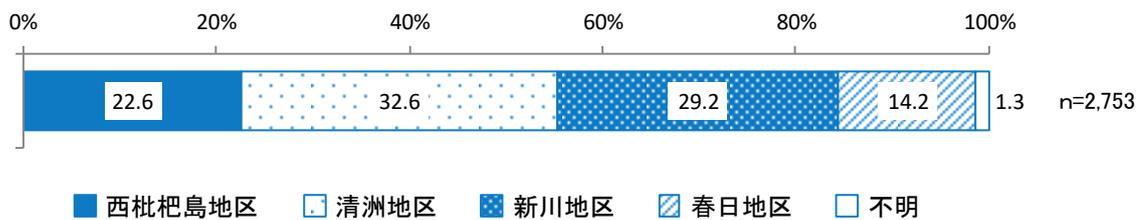
### 1-3 要支援等の認定状況

要支援等の認定状況は、「事業対象者」が 2.1%、「要支援1」が 3.1%、「要支援2」が 2.3%、「その他」が 91.2%となっています。



### 1-4 居住地区

対象者の居住地区は、「清洲地区」が 32.6%、「新川地区」が 29.2%、「西枇杷島地区」が 22.6%、「春日地区」が 14.2%となっています。

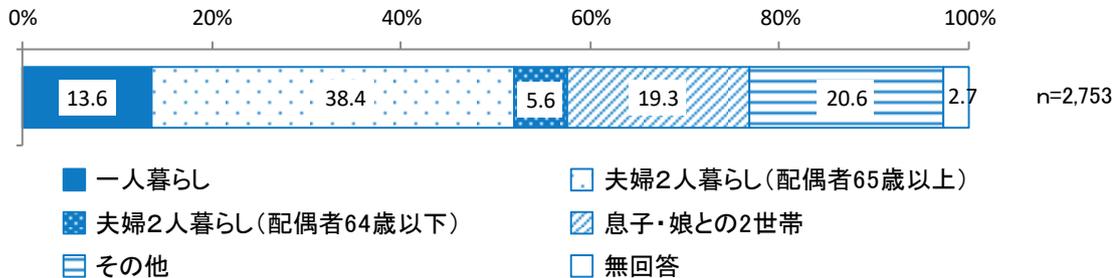


※「性別」「年齢」「要支援等の認定状況」「居住地区」は、対象者の被保険者番号と市が管理する被保険者番号を関連付けて集計しました。したがって、関連付けのできなかった対象者の回答結果については「不明」と表記しています。

## 1-5 家族構成

### 問1 家族構成をお教えてください。(〇は1つ)

対象者の家族構成は、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が38.4%と最も高く、次いで「その他」が20.6%、「息子・娘との2世帯」が19.3%となっています。

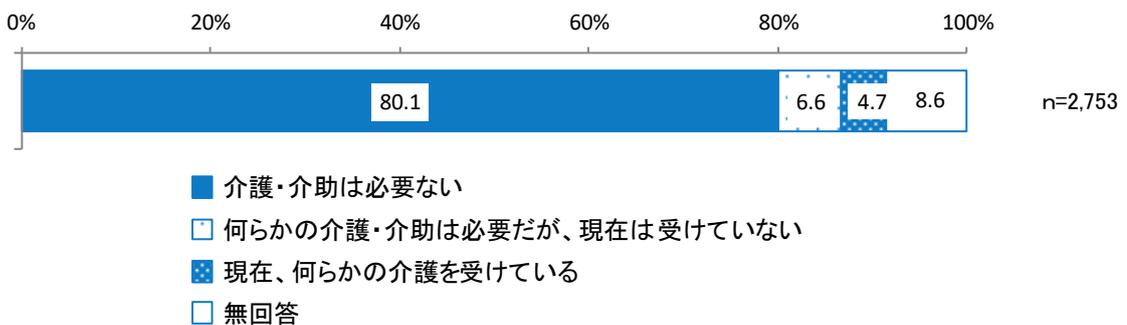


## 1-6 介護・介助の必要性

### 問2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(〇は1つ)

介護・介助の要否については、「介護・介助は必要ない」が80.1%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が6.6%、「現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」が4.7%となっています。

年齢別でみると、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「現在、何らかの介護を受けている」はいずれも年齢があがるにつれて割合が高くなっており、85歳以上ではそれぞれ19.1%、13.4%となっています。



	件数	介護・介助は必要ない	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	現在、何らかの介護を受けている	無回答
全体	2,753	80.1	6.6	4.7	8.6
65~74歳	1,375	87.7	2.7	2.0	7.6
75~84歳	1,079	76.1	8.5	5.9	9.5
85歳以上	262	58.4	19.1	13.4	9.2

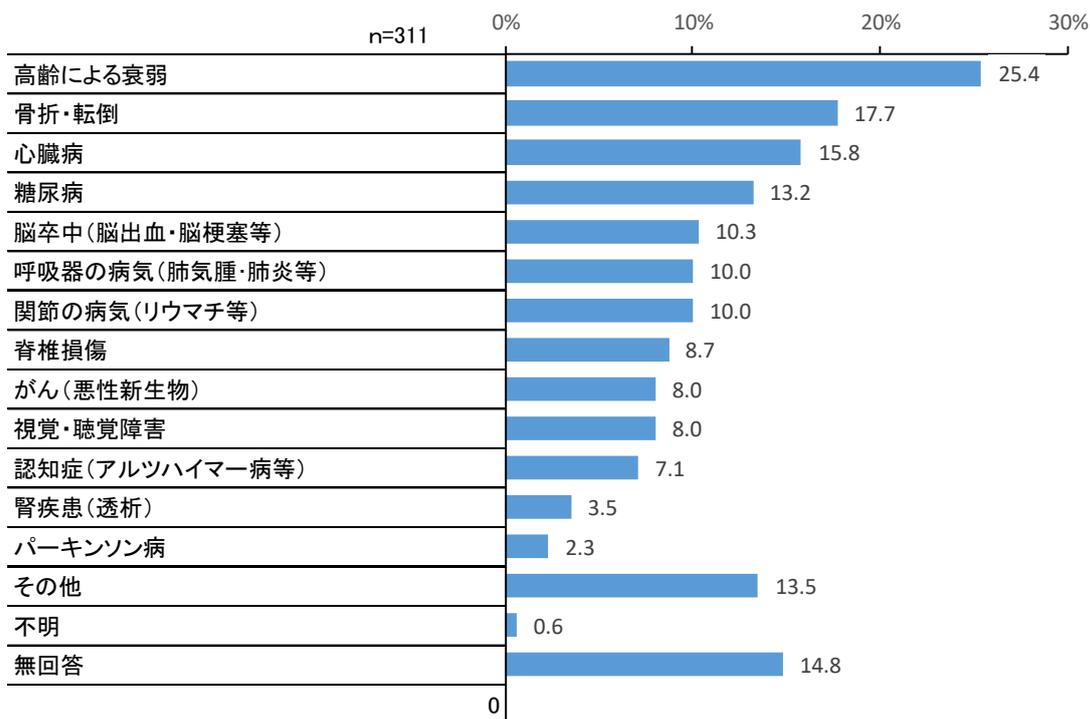
### 1-7 介護・介助が必要になった原因

問2で「2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」または「3. 現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」とお答えの方

問2-1 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。（〇はいくつでも）

介護・介助が必要になった原因については、「高齢による衰弱」が 25.4%と最も高く、次いで「骨折・転倒」（17.7%）、「心臓病」（15.8%）となっています。

性別でみると、男性は「高齢による衰弱」に次いで「心臓病」が高く、女性は「高齢による衰弱」に次いで「骨折・転倒」が高くなっています。

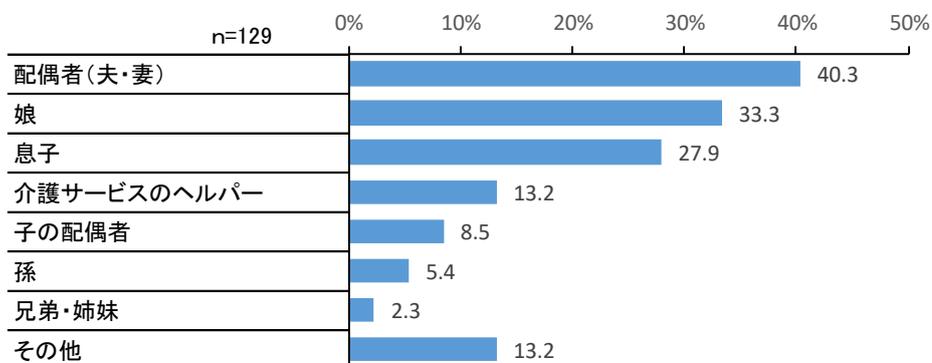


	件数	高齢による衰弱	骨折・転倒	心臓病	糖尿病	脳梗塞等(脳出血・脳卒中)	気腫・肺炎等(呼吸器の病気)	関節の病気(リウマチ等)	脊椎損傷	物(がん(悪性新生物))	視覚・聴覚障害	イマ(認知症(アルツハイマー病等))	腎疾患(透析)	パーキンソン病	その他	不明	無回答
全体	311	25.4	17.7	15.8	13.2	10.3	10.0	10.0	8.7	8.0	8.0	7.1	3.5	2.3	13.5	0.6	14.8
男性	121	28.9	9.1	18.2	16.5	12.4	17.4	7.4	5.8	12.4	6.6	7.4	3.3	0.8	11.6	0.8	16.5
女性	185	23.2	22.7	13.5	10.3	8.6	4.9	11.9	10.8	4.3	8.6	6.5	3.2	3.2	14.6	0.5	14.1

### 1-8 主な介護・介助者

問2-2 主にどなたの介護・介助を受けていますか。(〇はいくつでも)

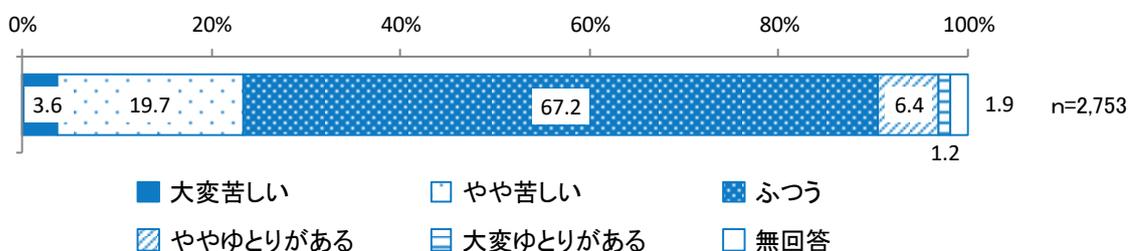
主な介護・介助者については、「配偶者(夫・妻)」が40.3%と最も高く、次いで「娘」(33.3%)、「息子」(27.9%)、「介護サービスのヘルパー」(13.2%)となっています。



### 1-9 経済的にみた現在の暮らしの状況

問3 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(〇は1つ)

経済的にみた現在の暮らしの状況については、「ふつう」が67.2%と最も高く、次いで「やや苦しい」(19.7%)、「ややゆとりがある」(6.4%)、「大変苦しい」(3.6%)となっています。



## 2 からだを動かすことについて

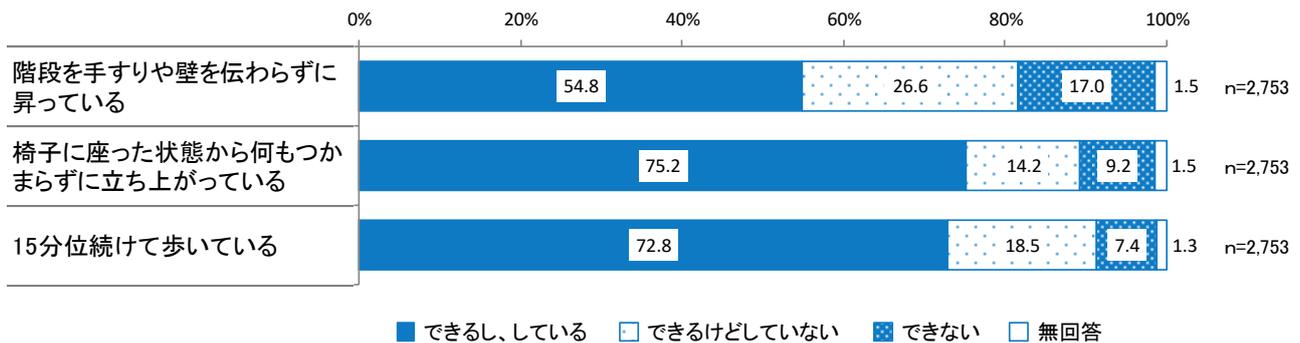
### 2-1 階段の昇降や立ち上がり、歩行について

問4 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(○は1つ)

問5 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○は1つ)

問6 15分位続けて歩いていますか。(○は1つ)

からだを動かすことについて「できない」と回答した人は、「階段を手すりや壁をつたわずに昇っている」で17.0%、「椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっている」で9.2%、「15分位続けて歩いている」で7.4%となっています。



### 2-2 転倒について

問7 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○は1つ)

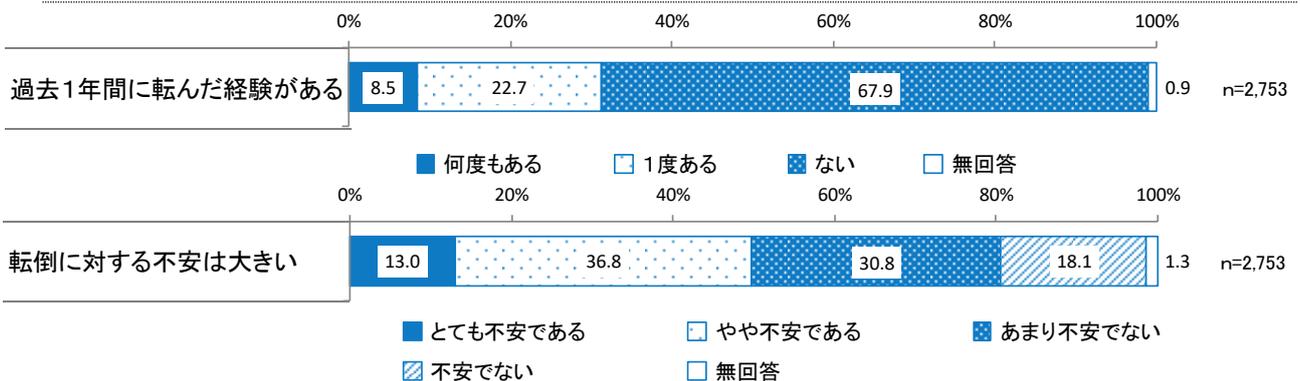
問8 転倒に対する不安は大きいですか。(○は1つ)

過去1年間に転んだ経験が「何度もある」人は8.5%となっています。「何度もある」と「1度ある」を合わせた『ある』は31.2%となっています。

地区別でみると、いずれの地区においても『ある』は31%前後となっています。

転倒に対する不安については、「とても不安である」「やや不安である」を合わせた『不安である』が49.8%となっています。一方、「あまり不安でない」「不安でない」を合わせた『不安でない』は48.9%となっています。

地区別でみると、いずれの地区においても『不安である』は約50%となっています。



問7 過去1年間に転んだ経験がある

	件数	何度もある	1度ある	ない	無回答
全体	2,753	8.5	22.7	67.9	0.9
西枇杷島地区	623	8.0	22.0	69.5	0.5
清洲地区	898	7.9	23.4	67.5	1.2
新川地区	803	9.1	23.0	67.1	0.7
春日地区	392	8.9	22.7	67.3	1.0

問8 転倒に対する不安は大きい

	件数	とても不安である	やや不安である	あまり不安でない	不安でない	無回答
全体	2,753	13.0	36.8	30.8	18.1	1.3
西枇杷島地区	623	13.0	37.2	31.5	17.2	1.1
清洲地区	898	12.1	35.1	33.3	17.6	1.9
新川地区	803	12.7	39.1	28.6	18.2	1.4
春日地区	392	15.6	35.5	28.1	20.7	0.3

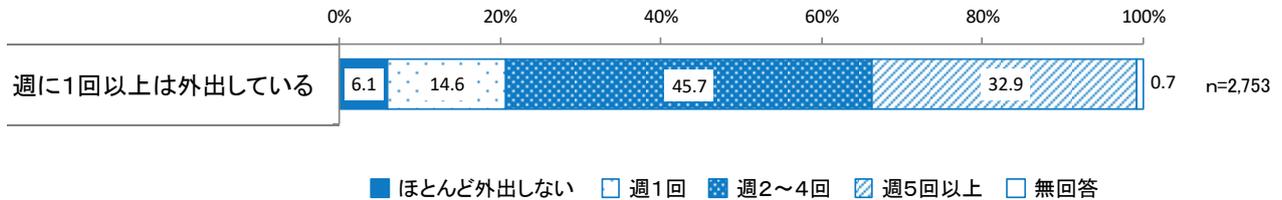
### 2-3 外出の頻度

問9 週に1回以上は外出していますか。(〇は1つ)

外出の頻度については、「週2～4回」が45.7%と最も高く、次いで「週5回以上」が32.9%となっています。また、「ほとんど外出しない」は6.1%となっています。

年齢別でみると、「ほとんど外出しない」は年齢があがるにつれて割合が高くなっており、75～84歳で7.1%、85歳以上で16.8%となっています。

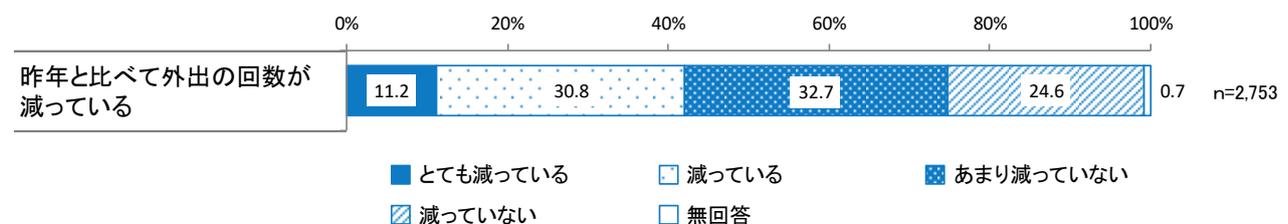
地区別でみると、いずれの地区においても「週2～4回」が最も高くなっています。



		件数	いほとんど外出しない	週1回	週2～4回	週5回以上	無回答
全体		2,753	6.1	14.6	45.7	32.9	0.7
年齢	65～74歳	1,375	3.1	11.6	44.7	39.8	0.7
	75～84歳	1,079	7.1	15.9	48.8	27.4	0.6
	85歳以上	262	16.8	24.4	38.5	19.1	1.1
地区	西枇杷島地区	623	7.2	12.5	45.3	34.7	0.3
	清洲地区	898	5.3	14.3	46.7	32.5	1.2
	新川地区	803	6.4	15.9	45.5	31.5	0.7
	春日地区	392	5.1	15.8	45.2	33.7	0.3

問10 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(〇は1つ)

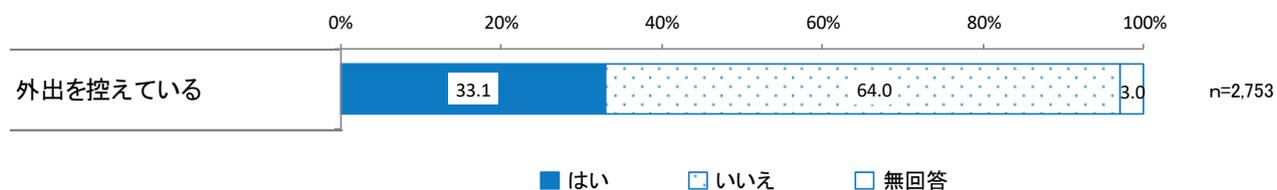
昨年と比べて外出の回数は、「あまり減っていない」が32.7%で最も高く、「減っていない」と合わせた『減っていない』は57.3%となっています。一方、『減っている』(「とても減っている」「減っている」の計)は42.0%となっています。



問11 外出を控えていますか。(〇は1つ)

外出を控えているかどうかについて、「はい」は33.1%となっています。

年齢別で見ると、「はい」は年齢があがるにつれて割合が高くなっており、75～84歳で40.0%、85歳以上で56.5%となっています。



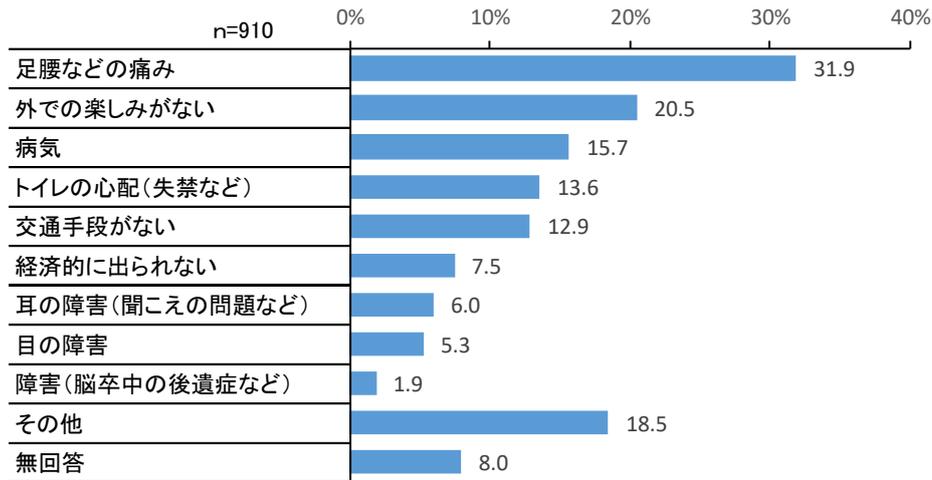
	件数	はい	いいえ	無回答
全体	2,753	33.1	64.0	3.0
65～74歳	1,375	23.0	74.5	2.5
75～84歳	1,079	40.0	56.7	3.2
85歳以上	262	56.5	39.3	4.2

問 11 で「1.はい」とお答えの方

問11-1 外出を控えている理由は、次のどれですか。(〇はいくつでも)

外出を控えている理由は、「足腰などの痛み」が 31.9%で最も高く、次いで「外での楽しみがない」(20.5%)、「その他」(18.5%)、「病気」(15.7%)、「トイレの心配(失禁など)」(13.6%)、「交通手段がない」(12.9%) となっています。

年齢別でみると、「足腰などの痛み」「トイレの心配」「交通手段がない」「耳の障害(聞こえの問題など)」「目の障害」は年齢があがるにつれて割合が高くなっており、特に「交通手段がない」は85歳以上では「足腰などの痛み」に次いで割合が高くなっています。



	件数	足腰などの痛み	外での楽しみがない	病気	トイレの心配(失禁など)	交通手段がない	経済的に出られない	耳の障害(聞こえの問題など)	目の障害	障害(脳卒中の後遺症など)	その他	無回答
全体	910	31.9	20.5	15.7	13.6	12.9	7.5	6.0	5.3	1.9	18.5	8.0
65~74歳	316	22.2	20.3	18.7	9.8	7.0	9.2	2.8	3.5	1.3	24.7	7.9
75~84歳	432	34.7	20.6	15.3	13.7	13.0	7.2	5.6	6.0	2.3	16.9	8.8
85歳以上	148	45.9	18.2	10.8	22.3	25.7	4.7	14.2	6.8	2.0	10.8	5.4

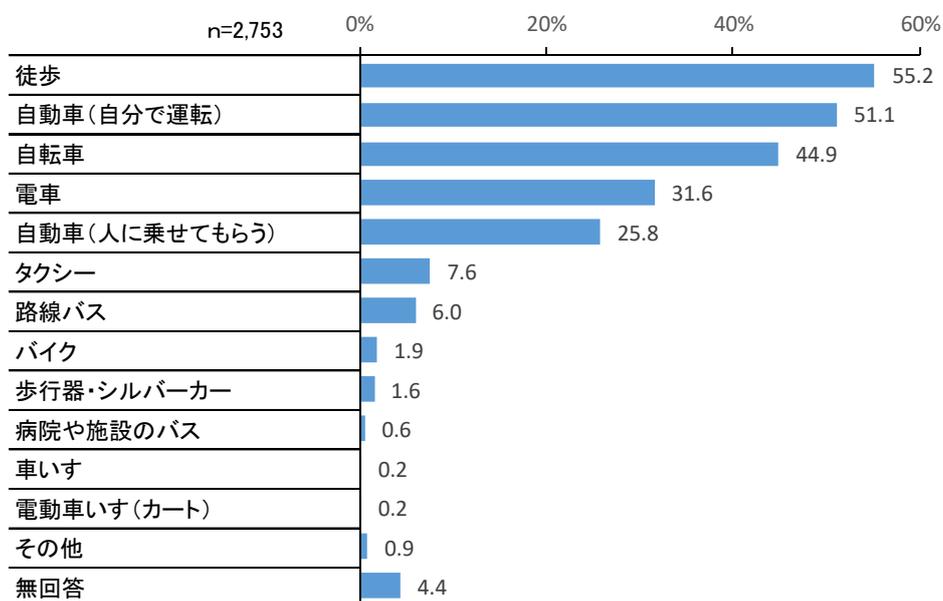
## 2-4 外出する際の移動手段

問12 外出する際の移動手段は何ですか。(〇はいくつでも)

外出する際の移動手段は、「徒歩」(55.2%)が最も高く、次いで「自動車(自分で運転)」(51.1%)、「自転車」(44.9%)、「電車」(31.6%)、「自動車(人に乗せてもらう)」(25.8%)となっています。

性別でみると、男性では「自動車(自分で運転)」「徒歩」「自転車」の順で高く、女性では「徒歩」「自転車」「自動車(人に乗せてもらう)」の順で高くなっています。

年齢別でみると、「自動車(自分で運転)」は年齢があがるにつれて割合が低くなっており、65～74歳での64.5%から85歳以上では15.3%となっています。一方、年齢があがるにつれて割合が高くなっている移動手段は、「自動車(人に乗せてもらう)」「タクシー」「路線バス」「歩行器・シルバーカー」「病院や施設のバス」となっています。



		件数	徒歩	自転車(自分で運転)	自動車(自分で運転)	電車	自動車(人に乗せてもらう)	タクシー	路線バス	バイク	歩行器・シルバーカー	病院や施設のバス	車いす	ト(電動車いす(カート))	その他	無回答
全体		2,753	55.2	51.1	44.9	31.6	25.8	7.6	6.0	1.9	1.6	0.6	0.2	0.2	0.9	4.4
性別	男性	1,279	54.0	70.6	40.1	28.1	11.3	5.9	5.2	2.7	0.4	0.3	0.1	0.3	0.5	4.5
	女性	1,437	56.6	33.4	49.0	35.0	38.6	9.0	6.8	1.3	2.8	0.8	0.3	0.1	1.4	4.1
年齢	65～74歳	1,375	56.4	64.5	42.3	32.8	21.0	3.9	4.5	2.7	0.1	-	0.1	0.1	0.6	5.5
	75～84歳	1,079	54.0	42.3	49.7	32.1	29.1	9.5	7.5	1.4	1.9	0.8	-	-	1.4	3.2
	85歳以上	262	55.3	15.3	38.2	24.8	37.0	19.1	8.4	-	9.2	2.3	1.5	1.5	1.1	2.3

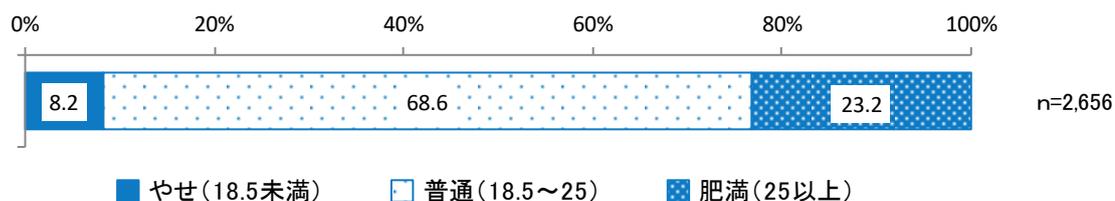
### 3 食べることについて

#### 3-1 BMI値の状況

問13 身長と体重をお書きください。

身長と体重からBMI値※を計算すると、「やせ」の状態であるBMI = 18.5 未満の人は8.2%となっています。また、「肥満」の状態であるBMI = 25以上の人は23.2%となっています。

※BMI (Body Mass Index) は、体重 kg / (身長×身長) m で計算される指数による肥満度の判定方法であり、日本肥満学会では18.5 未満をやせすぎ、25.0 以上を肥満としています。



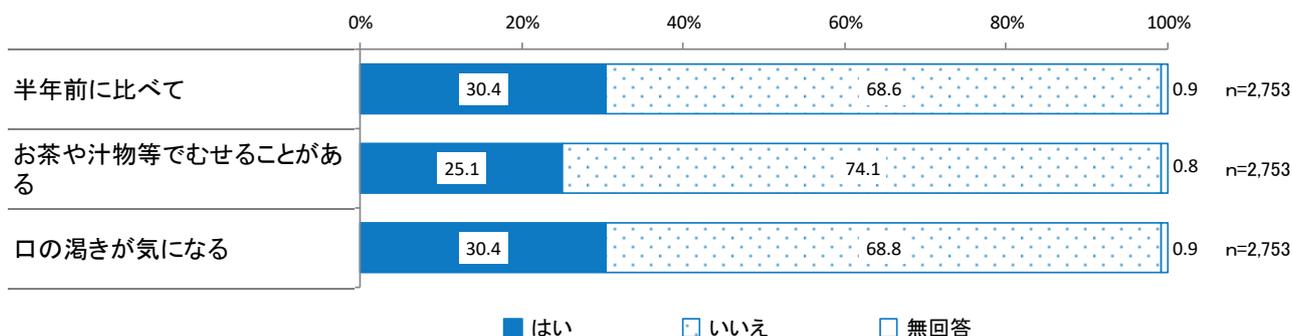
#### 3-2 口腔機能について

問14 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○は1つ)

問15 お茶や汁物等でむせることがありますか。(○は1つ)

問16 口の渇きが気になりますか。(○は1つ)

口腔機能について、「はい」は「半年前に比べて固いものが食べにくくなった」で30.4%、「お茶や汁物等でむせることがある」で25.1%、「口の渇きが気になる」で30.4%となっています。



#### 3-3 歯の手入れ等について

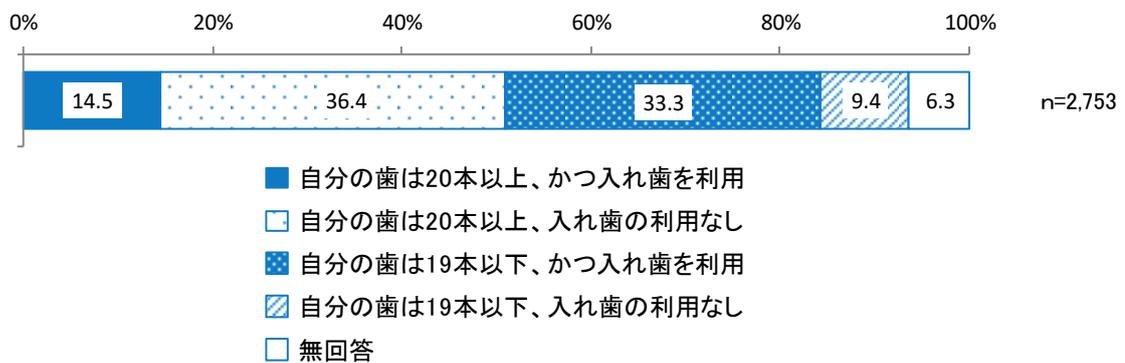
問17 歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか。(○は1つ)

歯磨きを毎日しているかどうかについては、「はい」が92.7%となっています。



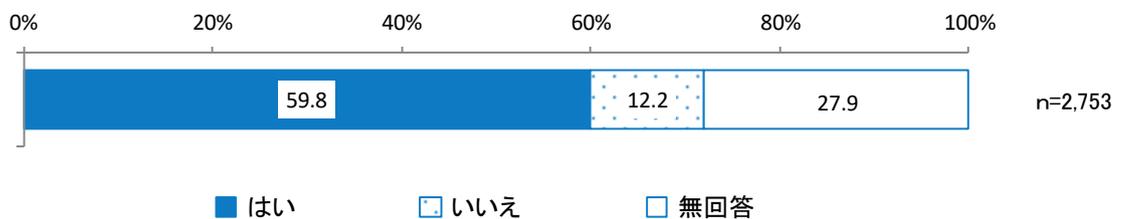
問18 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です）。（○は1つ）

歯の数と入れ歯の利用状況は、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が36.4%で最も高く、次いで「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が33.3%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が14.5%、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」が9.4%となっています。



問18-1 噛み合わせは良いですか。（○は1つ）

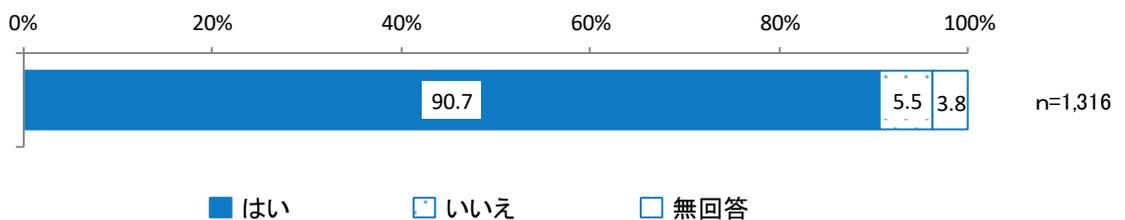
噛み合わせが良いかどうかについては、「はい」が59.8%、「いいえ」が12.2%となっています。



問18で「1.自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」または「3.自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」とお答えの方

問18-2 毎日入れ歯の手入れをしていますか。（○は1つ）

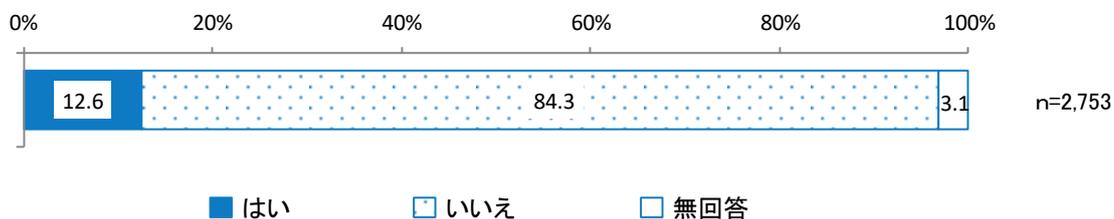
毎日入れ歯の手入れをしているかどうかについては、「はい」が90.7%、「いいえ」が5.5%となっています。



### 3-4 体重減少の有無

問19 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(○は1つ)

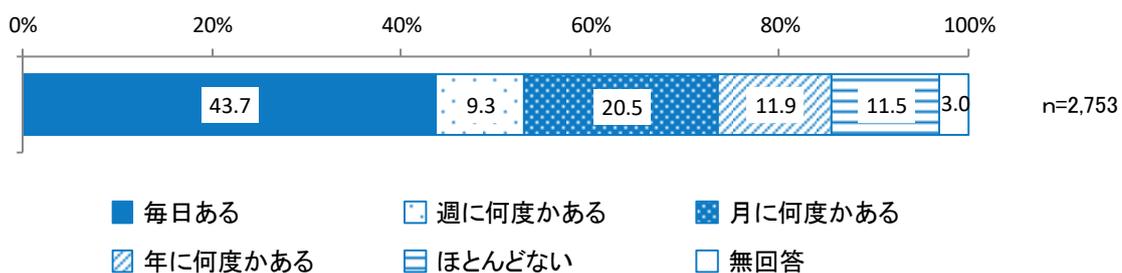
6か月間の2～3kg以上の体重減少の有無については、「はい」(あった)は12.6%となっています。



### 3-5 共食の状況

問20 どなたかと食事をとにもする機会がありますか。(○は1つ)

誰かと一緒に食事をする機会は、「毎日ある」が43.7%と最も高く、「ほとんどない」は11.5%となっています。



## 4 毎日の生活について

### 4-1 物忘れ等について

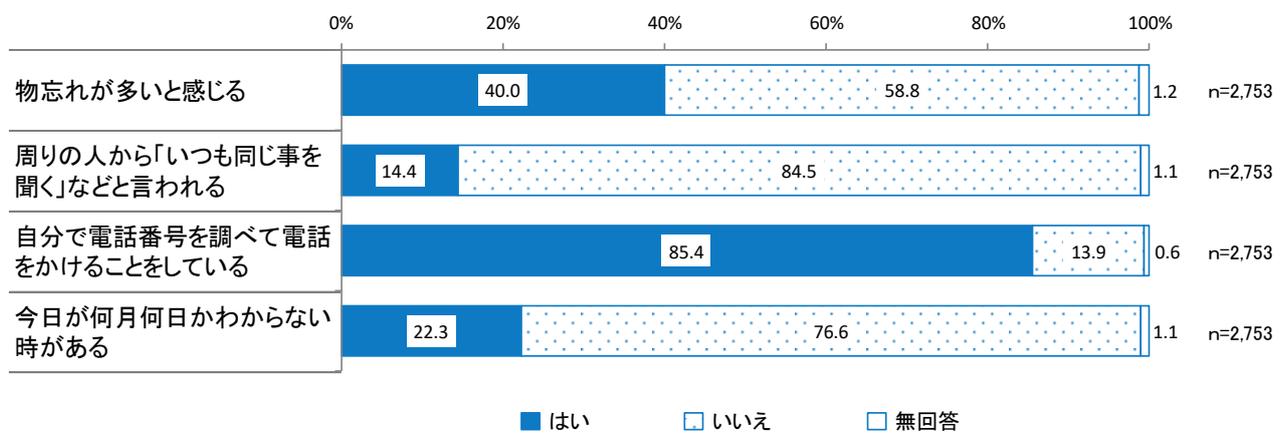
問21 物忘れが多いと感じますか。(〇は1つ)

問22 周りの人から「いつも同じ事を聞く」など物忘れがあるとされますか。(〇は1つ)

問23 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(〇は1つ)

問24 今日が何月何日かわからない時がありますか。(〇は1つ)

物忘れ等について、「はい」は「物忘れが多いと感じる」で40.0%、「周りの人から「いつも同じ事を聞く」など物忘れがあるとされる」で14.4%、「今日が何月何日かわからない時がある」で22.3%となっています。また、「いいえ」は「自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしている」で13.9%となっています。

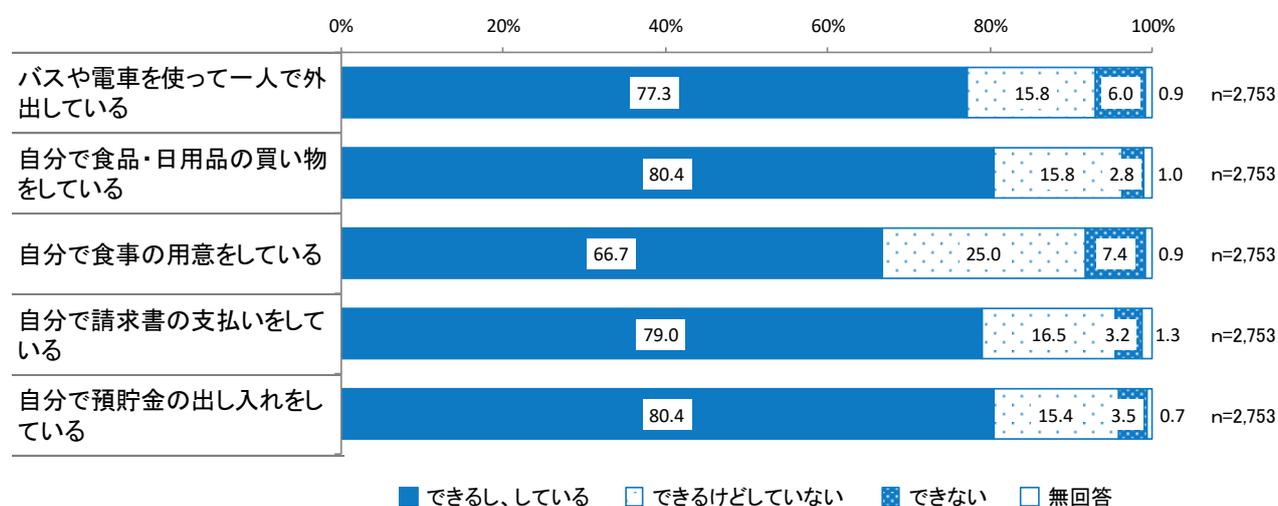


## 4-2 日常生活について

- 問25 バスや電車を使って一人で外出していますか（自家用車でも可）。（○は1つ）
- 問26 自分で食品・日用品の買い物をしていますか。（○は1つ）
- 問27 自分で食事の用意をしていますか。（○は1つ）
- 問28 自分で請求書の支払いをしていますか。（○は1つ）
- 問29 自分で預貯金の出し入れをしていますか。（○は1つ）

日常生活についてたずねたところ、『していない』（「できない」「できるけどしていない」の計）は、「自分で食事の用意をしている」で32.4%と高く、次いで「バスや電車を使って一人で外出している」で21.8%となっています。

地区別でみると、すべての項目について、いずれの地区においても「できるし、している」が6～8割を占め最も高くなっています。



問25 バスや電車を使って一人で外出している

	件数	しているし、	できるけどしていない	できない	無回答
全体	2,753	77.3	15.8	6.0	0.9
西枇杷島地区	623	77.0	16.9	4.8	1.3
清洲地区	898	78.3	14.7	6.6	0.4
新川地区	803	77.0	16.2	5.9	1.0
春日地区	392	77.3	14.8	6.9	1.0

問26 自分で食品・日用品の買い物をしている

	件数	しているし、	できるけどしていない	できない	無回答
全体	2,753	80.4	15.8	2.8	1.0
西枇杷島地区	623	81.5	15.1	2.1	1.3
清洲地区	898	81.0	15.6	2.4	1.0
新川地区	803	80.6	15.4	3.4	0.6
春日地区	392	77.6	18.4	2.8	1.3

問27 自分で食事の用意をしている

	件数	しているし、	できるけどしていない	できない	無回答
全体	2,753	66.7	25.0	7.4	0.9
西枇杷島地区	623	70.0	22.5	6.4	1.1
清洲地区	898	66.0	25.2	7.9	0.9
新川地区	803	66.5	25.5	7.2	0.7
春日地区	392	63.5	27.3	7.9	1.3

問28 自分で請求書の支払いをしている

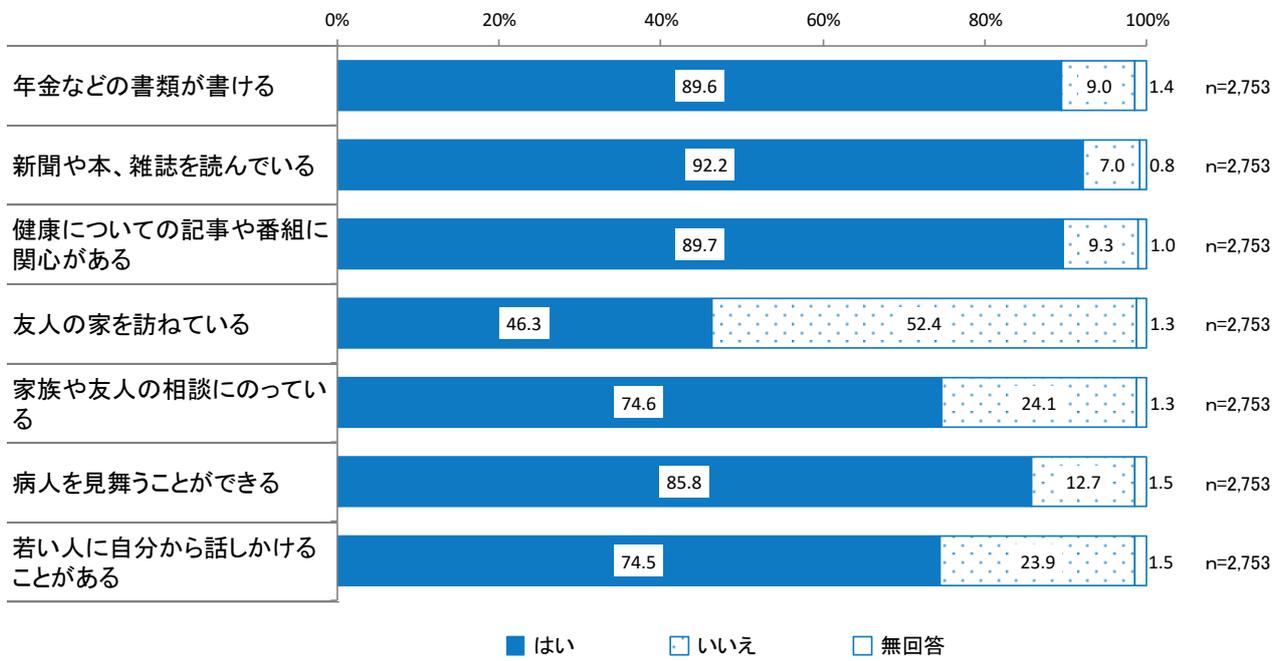
	件数	しているし、	できるけどしていない	できない	無回答
全体	2,753	79.0	16.5	3.2	1.3
西枇杷島地区	623	78.7	16.4	2.9	2.1
清洲地区	898	78.3	16.6	3.7	1.4
新川地区	803	78.6	17.2	3.1	1.1
春日地区	392	81.4	14.8	3.3	0.5

問29 自分で預貯金の出し入れをしている

	件数	しているし、	できるけどしていない	できない	無回答
全体	2,753	80.4	15.4	3.5	0.7
西枇杷島地区	623	80.9	14.9	3.4	0.8
清洲地区	898	80.0	15.5	3.7	0.9
新川地区	803	80.4	15.1	3.9	0.6
春日地区	392	80.4	16.3	2.8	0.5

- 問30 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。（〇は1つ）
- 問31 新聞や本、雑誌を読んでいますか。（〇は1つ）
- 問32 健康についての記事や番組に関心がありますか。（〇は1つ）
- 問33 友人の家を訪ねていますか。（〇は1つ）
- 問34 家族や友人の相談にのっていますか。（〇は1つ）
- 問35 病人を見舞うことができますか。（〇は1つ）
- 問36 若い人に自分から話しかけることがありますか。（〇は1つ）

社会参加に関わる項目についてみると、「いいえ」は、「友人の家を訪ねている」で52.4%、「家族や友人の相談にのっている」で24.1%、「若い人に自分から話しかけることがある」で23.9%、「病人を見舞うことができる」で12.7%となっています。



### 4-3 趣味、生きがいについて

問37 趣味はありますか。(〇は1つ)  
 問38 生きがいはありますか。(〇は1つ)

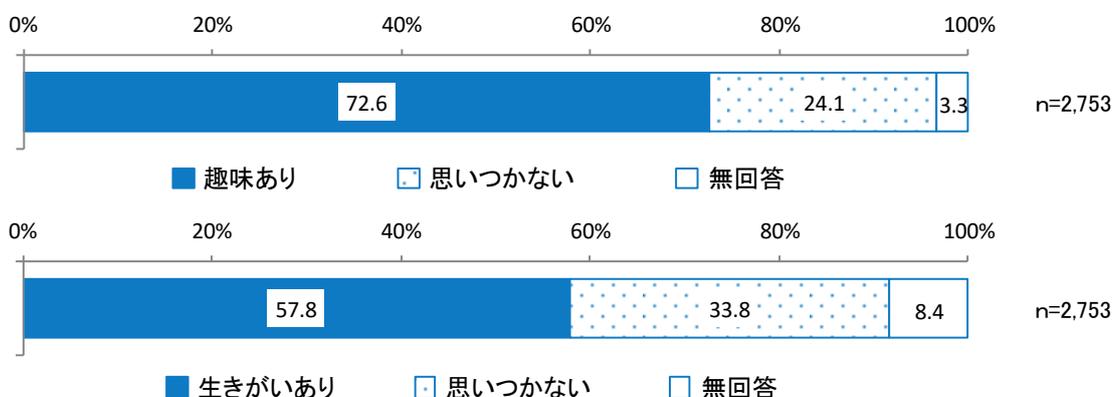
趣味については、「趣味あり」が72.6%で、「思いつかない」が24.1%となっています。  
 地区別でみると、いずれの地区においても「趣味あり」が7割以上となっています。

趣味の具体的な内容としては、「家庭菜園、ガーデニング等」「音楽鑑賞、カラオケ等」「スポーツ」「手芸」が多くあげられています。

生きがいについては、「生きがいあり」が57.8%で、「思いつかない」が33.8%となっています。

地区別でみると、「生きがいあり」は清洲地区(62.0%)、春日地区(61.0%)では6割台、西枇杷島地区(54.1%)、新川地区(54.5%)では5割台となっています。

生きがいの具体的な内容としては、「趣味」「孫」「毎日の生活の充実、楽しさ」「家族・親族」「仕事」が多くあげられています。



問37 趣味の有無

	件数	趣味あり	思いつかない	無回答
全体	2,753	72.6	24.1	3.3
西枇杷島地区	623	70.5	26.2	3.4
清洲地区	898	74.3	23.1	2.7
新川地区	803	73.3	23.3	3.4
春日地区	392	71.9	24.0	4.1

問38 生きがいの有無

	件数	生きがいあり	思いつかない	無回答
全体	2,753	57.8	33.8	8.4
西枇杷島地区	623	54.1	36.9	9.0
清洲地区	898	62.0	29.8	8.1
新川地区	803	54.5	37.0	8.5
春日地区	392	61.0	30.6	8.4

【趣味・生きがい(上位10位まで)】

順位	趣味	件数
1	家庭菜園、ガーデニング等	557
2	音楽鑑賞、カラオケ等	510
3	スポーツ	423
4	手芸	287
5	散歩、ストレッチ等	119
6	旅行、観光等	110
7	ゲーム、パズル等	91
8	絵描き、絵手紙等	82
9	囲碁、将棋	76
10	釣り、アウトドア	66
	その他	757
	合計	3,078

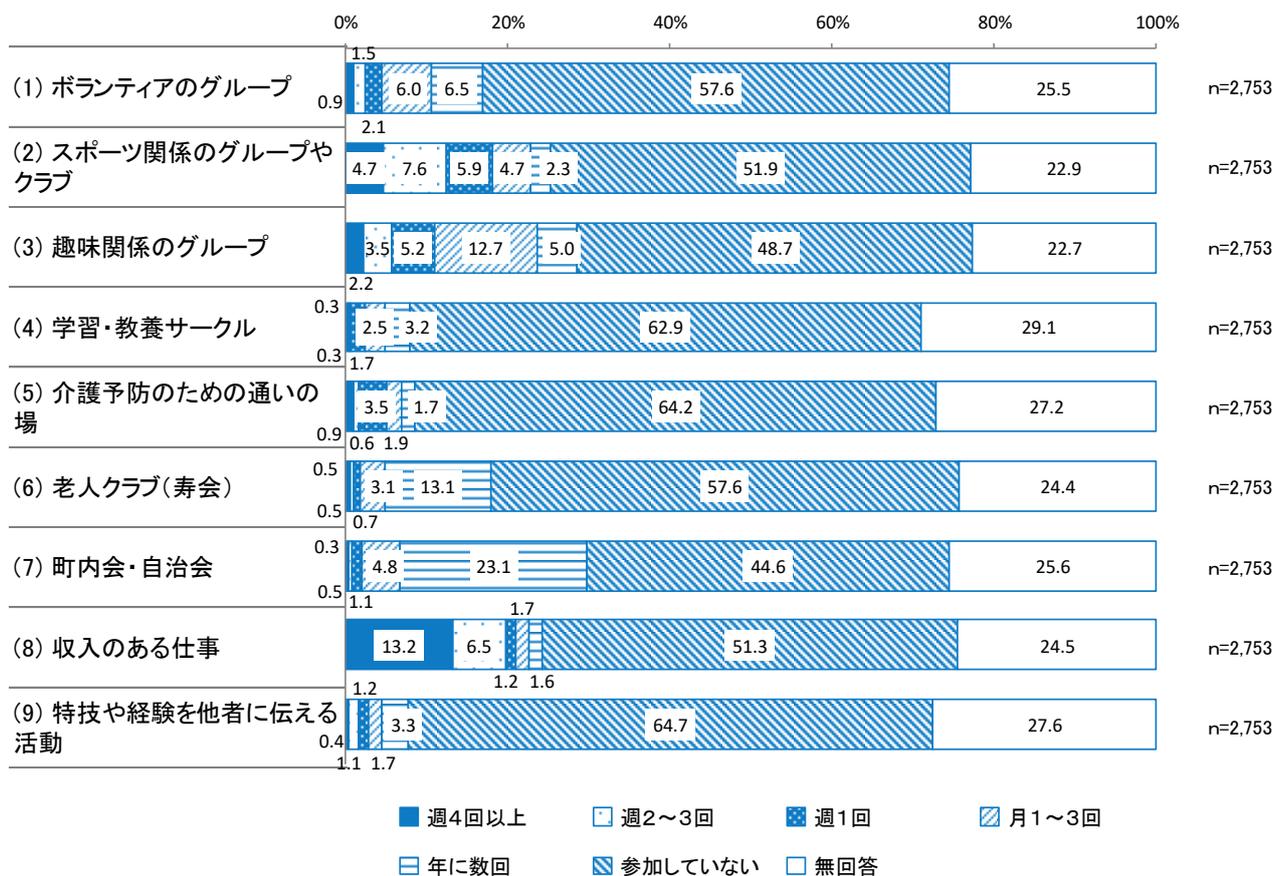
順位	生きがい	件数
1	趣味	407
2	孫	402
3	毎日の生活の充実、楽しさ	105
4	家族・親族	104
5	仕事	90
6	健康・元気・長生き	74
7	人との交流・関わり合い	73
8	世の中や誰かの役に立つこと	38
9	運動・スポーツ	20
10	ペット	17
	その他	45
	合計	1,375

## 5 地域での活動について

### 5-1 活動への参加頻度

問39 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

地域活動への参加頻度についてみると、『参加している』（「週4回以上」～「年に数回」の計）は「町内会・自治会」で29.8%と最も高く、次いで「趣味関係のグループ」（28.6%）、「スポーツ関係のグループやクラブ」（25.2%）、「収入のある仕事」（24.2%）となっています。一方、「介護予防のための通いの場」での『参加している』は8.6%となっています。



## 5-2 地域住民による健康づくり活動への参加意向

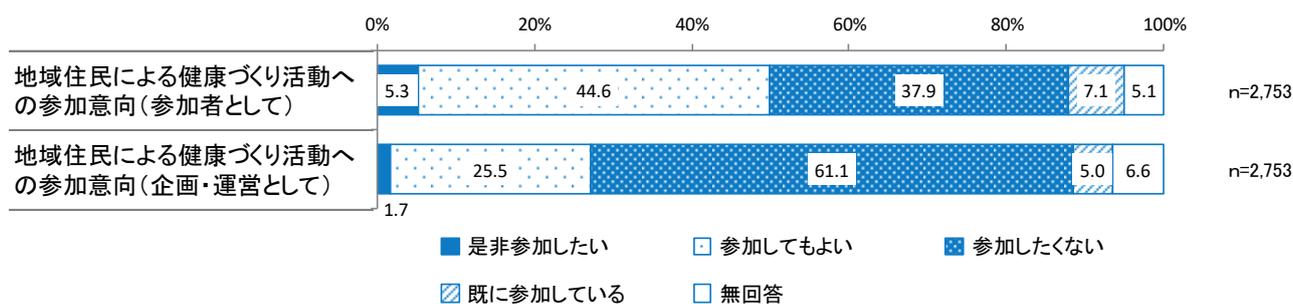
問40 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(〇は1つ)

問41 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(〇は1つ)

地域住民による健康づくり活動への参加者としての参加意向については、「参加してもよい」が44.6%と最も高く、「是非参加したい」(5.3%)、「既に参加している」(7.1%)と合わせた『参加意向がある』は57.0%となっています。一方で、「参加したくない」は37.9%となっています。

地域住民による健康づくり活動への企画・運営としての参加意向については、「参加したくない」が61.1%と最も高くなっています。一方で、「是非参加したい」(1.7%)、「参加してもよい」(25.5%)、「既に参加している」(5.0%)を合わせた『参加意向がある』は32.2%となっています。

性別でみると、『参加意向がある』は男性で36.5%、女性で28.5%と、男性の方がやや高くなっています。



【企画・運営としての参加意向】

	件数	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答
全体	2,753	1.7	25.5	61.1	5.0	6.6
男性	1,279	1.5	29.8	58.4	5.2	5.1
女性	1,437	1.9	21.7	63.3	4.9	8.1

### 5-3 ボランティア活動について

問42 ボランティア活動についておうかがいします。

(1) ボランティア活動を始めた（又は始めようと思う）きっかけは何ですか。（〇はいくつでも）

(2) 介護施設等でのボランティア活動に対して、ポイントが付与され、ポイントに応じて換金又は寄付できるなどの制度があった場合、参加してみたいと思いますか。（〇は1つ）

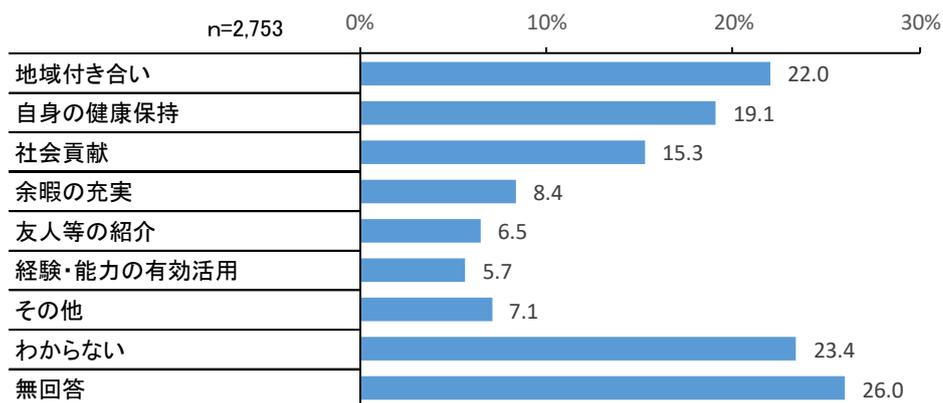
(3) ボランティア活動に対する報酬の考え方について適当だと思うのはどれですか。

ボランティア活動を始めた（または始めようと思う）きっかけは、「わからない」及び無回答以外では、「地域付き合い」が22.0%と最も高く、次いで「自身の健康保持」（19.1%）、「社会貢献」（15.3%）、「余暇の充実」（8.4%）となっています。

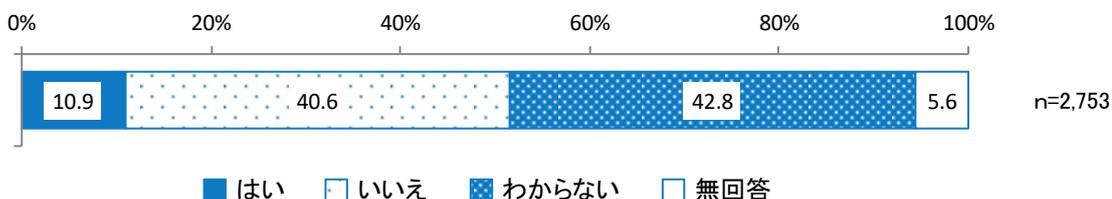
ボランティア活動に対するポイント制度があった場合の参加意向は、「わからない」が42.8%、「いいえ」が40.6%、「はい」が10.9%となっています。

ボランティア活動に対する報酬の考え方として適当だと思うものは、「わからない」が33.5%と最も高く、次いで「実費（交通費・材料代）程度」（32.0%）、「無報酬」（20.1%）となっています。

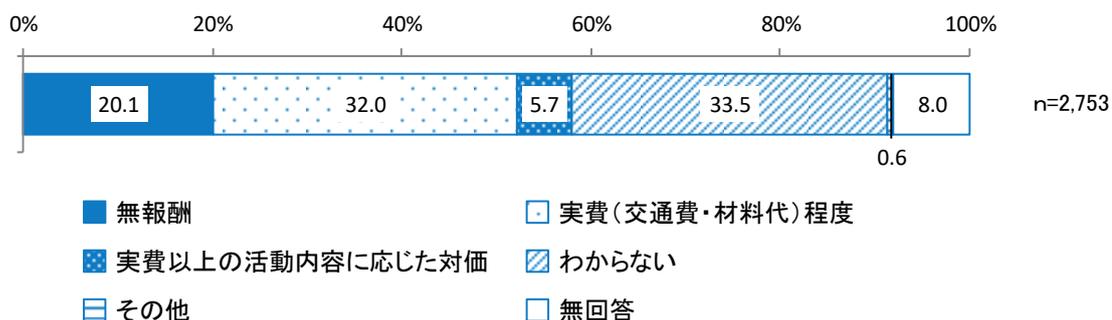
【ボランティア活動を始めたきっかけ】



【ボランティア活動ポイント制度への参加意向】



【ボランティア活動に対する報酬として適当だと思うもの】



## 5-4 地域との関わりについて

問43 あなたの住んでいる地域についておうかがいします。

- (1) あなたの地域の人々は、一般的に信用できると思いますか。(〇は1つ)
- (2) あなたの地域の人々は、多くの場合、他の人の役に立とうとしますか。(〇は1つ)
- (3) あなたは現在住んでいる地域にどの程度愛着がありますか。(〇は1つ)
- (4) あなたが考える地域とはどの範囲ですか。(〇は1つ)

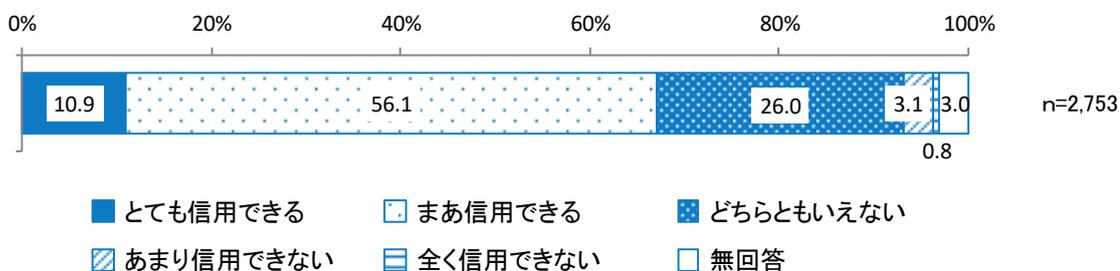
地域の人々が一般的に信用できるかについては、「まあ信用できる」が 56.1%と最も高く、「とても信用できる」(10.9%)と合わせた『信用できる』は 67.0%となっています。一方、「全く信用できない」と「あまり信用できない」を合わせた『信用できない』は 3.9%となっています。

地域の人々が他の人の役に立とうと思うかについては、「まあそう思う」が 41.6%と最も高く、「とてもそう思う」(4.0%)と合わせた『そう思う』は 45.6%となっています。一方、「全くそう思わない」と「あまりそう思わない」を合わせた『そう思わない』は 11.1%となっています。

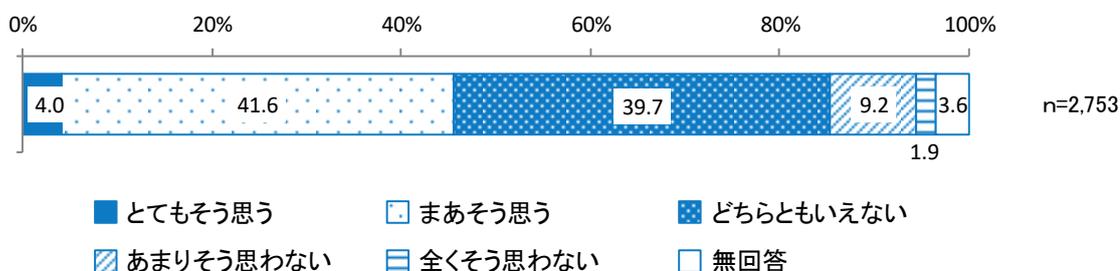
現在住んでいる地域への愛着については、「まあ愛着がある」が 56.1%と最も高く、「とても愛着がある」(18.8%)と合わせた『愛着がある』は 74.9%となっています。一方、「全く愛着がない」と「あまり愛着がない」を合わせた『愛着がない』は 5.1%となっています。

自身が考える「地域」の範囲については、「町内会単位」が 48.3%と最も高く、次いで「旧町単位」(19.0%)、「ブロック単位」(10.4%)、「市内全域」(7.8%)となっています。また、「わからない」が 10.5%となっています。

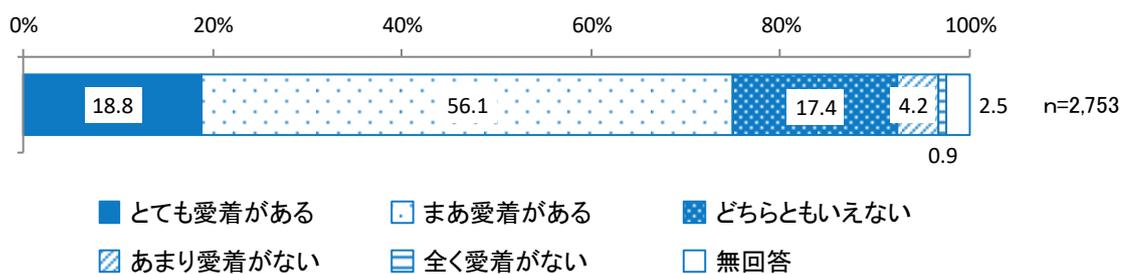
【地域の人々は一般的に信用できると思うか】



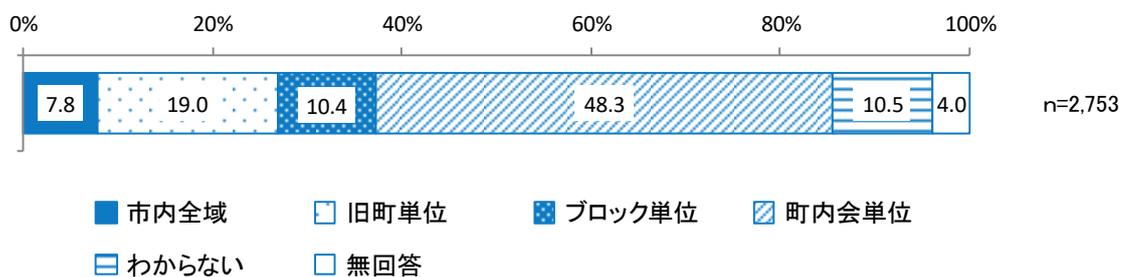
【地域の人々は多くの場合、他の人の役に立とうと思うか】



【現在住んでいる地域への愛着】



【自身が考える「地域」の範囲】



## 6 たすけあいについて

### 6-1 情緒的サポートの受領状況

問44 あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。

(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(〇はいくつでも)

心配事や愚痴を聞いてくれる人については、「配偶者」が60.2%と最も高く、次いで「別居の子ども」(45.5%)、「友人」(40.9%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(37.6%)となっています。

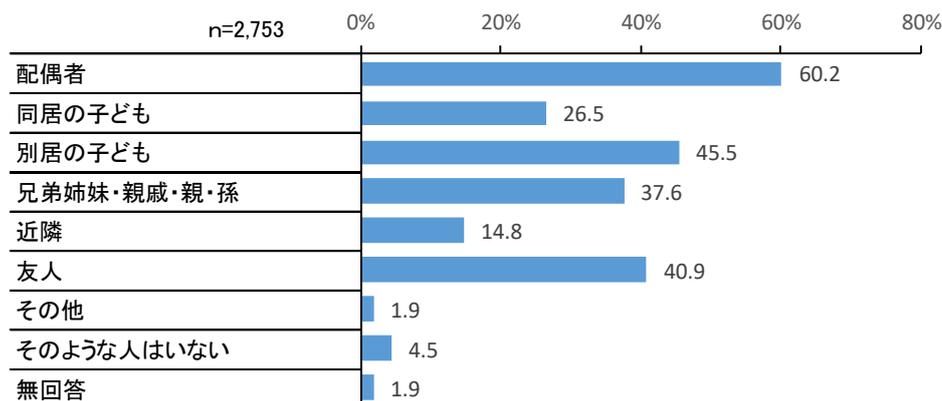
情緒的サポート受領者\*割合は93.6%となっています。

性別でみると、男性は「配偶者」(72.6%)が最も高く、女性は「別居の子ども」(54.6%)が最も高くなっています。

※「情緒的サポート」は、ストレス状態にある個人に対し、他者が共感的、受容的に接することで支えていこうとするような態度や行動のことを指します。ここでは「心配事や愚痴を聞いてくれる相手の割合」を「情緒的サポート受領者割合」と呼び、以下の割合とします。

・次の①～⑦のいずれかがいる人の割合

①配偶者 ②同居の子ども ③別居の子ども ④兄弟姉妹・親戚・親・孫 ⑤近隣 ⑥友人 ⑦その他



	件数	配偶者	別居の子ども	友人	親・兄弟姉妹・親戚・孫	同居の子ども	近隣	その他	ない	そのような人はいない	無回答
全体	2,753	60.2	45.5	40.9	37.6	26.5	14.8	1.9	4.5	1.9	
男性	1,279	72.6	35.4	31.4	29.3	22.0	11.3	2.0	5.7	2.2	
女性	1,437	48.9	54.6	49.6	45.1	30.5	18.2	1.7	3.2	1.7	

## 6-2 情緒的サポートの提供状況

### (2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（〇はいいくつでも）

心配事や愚痴を聞いてあげる人については、「配偶者」が 57.0%と最も高く、次いで「別居の子ども」(43.2%)、「友人」(42.9%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(39.5%)となっています。

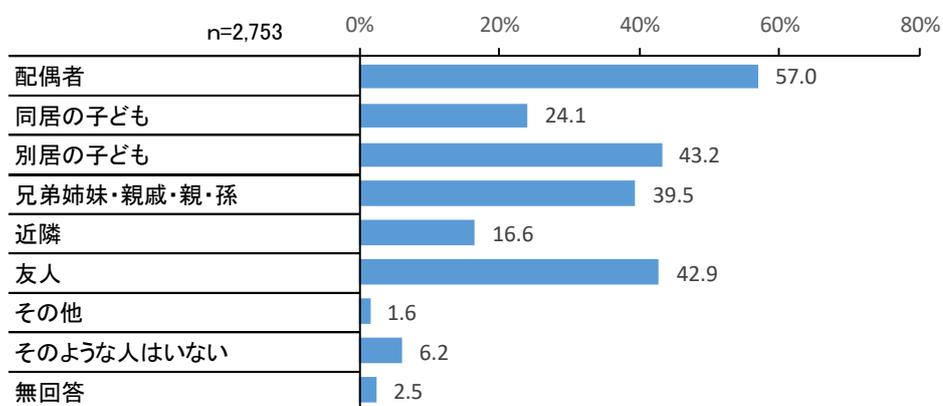
情緒的サポート提供者※割合は 91.4%となっています。

性別でみると、男性は「配偶者」(69.7%)が最も高く、女性は「友人」(52.3%)が最も高くなっています。

※「心配事や愚痴を聞いてあげる相手の割合」を「情緒的サポート提供者割合」と呼び、以下の割合とします。

・次の①～⑦のいずれかがいる人の割合

①配偶者 ②同居の子ども ③別居の子ども ④兄弟姉妹・親戚・親・孫 ⑤近隣 ⑥友人 ⑦その他



	件数	配偶者	別居の子ども	友人	親・兄弟姉妹・親戚・孫	同居の子ども	近隣	その他	ない	そのような人はいない	無回答
全体	2,753	57.0	43.2	42.9	39.5	24.1	16.6	1.6	6.2	2.5	
男性	1,279	69.7	36.7	32.5	32.3	23.1	12.4	2.2	6.6	2.7	
女性	1,437	45.4	49.2	52.3	45.9	25.1	20.5	1.2	5.4	2.3	

### 6-3 手段的サポートの受領状況

#### (3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人 (〇はいくつでも)

病気で寝込んだときに看病や世話をしてくれる人については、「配偶者」が 65.5%と最も高く、次いで「別居の子ども」(39.5%)、「同居の子ども」(31.4%) となっています。

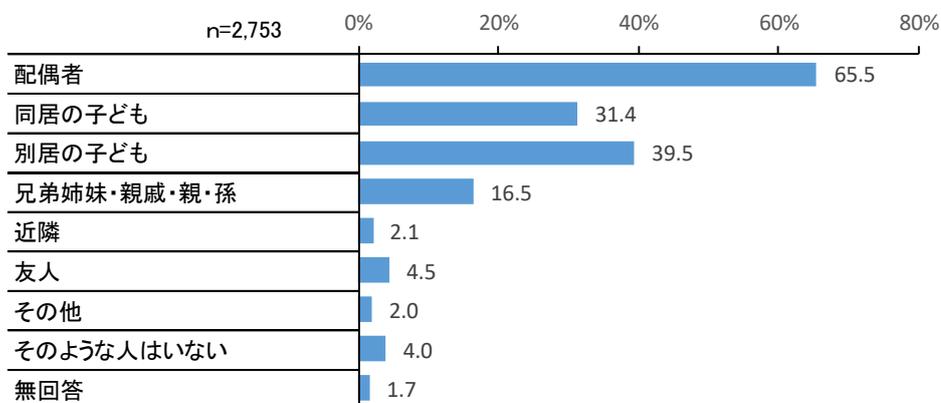
手段的サポート受領者※割合は 94.3%となっています。

性別でみると、「配偶者」は男性で 78.7%、女性で 53.2%と、男性の方が高くなっています。

※「手段的サポート」は、ストレス等の問題解決のために、必要な手段や情報を提供することを指します。ここでは「看病や世話をしてくれる相手の割合」を「手段的サポート受領者割合」と呼び、以下の割合とします。

・次の①～⑦のいずれかがいる人の割合

①配偶者 ②同居の子ども ③別居の子ども ④兄弟姉妹・親戚・親・孫 ⑤近隣 ⑥友人 ⑦その他



	件数	配偶者	別居の子ども	同居の子ども	親・孫 兄弟姉妹・親戚・	友人	近隣	その他	ない その ような 人 はい	無回答
全体	2,753	65.5	39.5	31.4	16.5	4.5	2.1	2.0	4.0	1.7
男性	1,279	78.7	31.5	26.0	14.2	2.2	1.3	1.6	4.3	1.9
女性	1,437	53.2	46.8	36.3	18.4	6.6	2.9	2.3	3.6	1.6

## 6-4 手段的サポートの提供状況

### (4) 反対に、看病や世話をしあける人 (〇はいくつでも)

看病や世話をしあける人については、「配偶者」が 67.1%と最も高く、次いで「別居の子ども」(35.9%)、「同居の子ども」(29.0%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(26.4%)となっています。

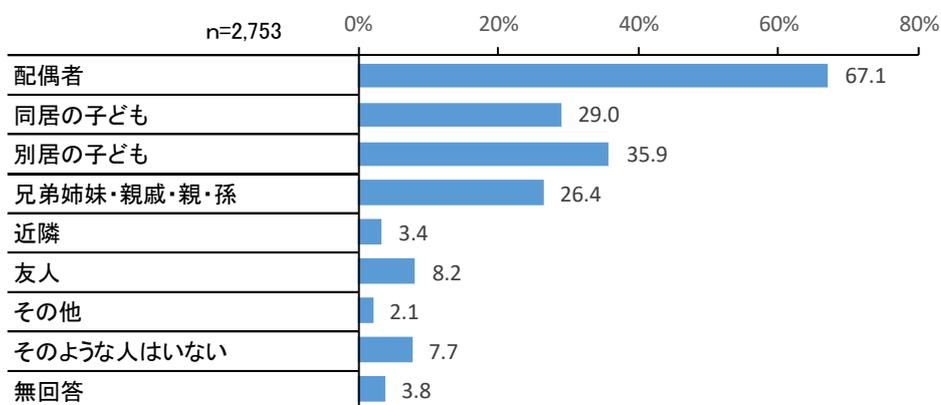
手段的サポート提供者※割合は 88.5%となっています。

性別でみると、「配偶者」は男性で 77.5%、女性で 57.5%と、男性の方が高くなっています。

※「看病や世話をしあける相手の割合」を「手段的サポート提供者割合」と呼び、以下の割合とします。

・次の①～⑦のいずれかがいる人の割合

①配偶者 ②同居の子ども ③別居の子ども ④兄弟姉妹・親戚・親・孫 ⑤近隣 ⑥友人 ⑦その他



	件数	配偶者	別居の子ども	同居の子ども	親・兄弟姉妹・親戚・孫	友人	近隣	その他	ない	そのような人はいない	無回答
全体	2,753	67.1	35.9	29.0	26.4	8.2	3.4	2.1	7.7	3.8	
男性	1,279	77.5	28.6	25.4	21.8	4.3	2.5	2.0	7.8	2.9	
女性	1,437	57.5	42.3	32.4	30.1	11.7	4.2	2.2	7.7	4.6	

## 6-5 ソーシャル・キャピタル得点

地域の社会的な特徴について、「ソーシャル・キャピタル<sup>※</sup>得点」を算出して分析しました。

※「ソーシャル・キャピタル」とは、人々の協調行動を活発にすることによって社会の効率性を高めることのできる「信頼」「規範」「ネットワーク」といった社会組織の特徴を指します。ソーシャル・キャピタルが豊かならば、市民活動への参加が促進される可能性があるとされています（平成17年8月「コミュニティ機能再生とソーシャル・キャピタルに関する研究調査報告書」内閣府）。

ここでは＜社会参加＞＜連帯感＞＜助け合い＞について、それぞれアンケートの異なる設問の回答率を用いて、地区別の得点を算出しています。

### ＜社会参加＞

ソーシャルキャピタル得点＜社会参加＞<sup>※</sup>は、市全体では51.4点となっています。

地区別でみると、清洲地区が56.1点と最も高く、次いで新川地区が51.6点、西枇杷島地区が47.9点、春日地区が46.8点となっています。

※以下の①～⑤の割合を用いて次の計算式で得点化したもの

①ボランティア割合×0.6+②スポーツ割合×0.8+③趣味割合×0.9+④学習割合×0.7+⑤特技伝達×0.5

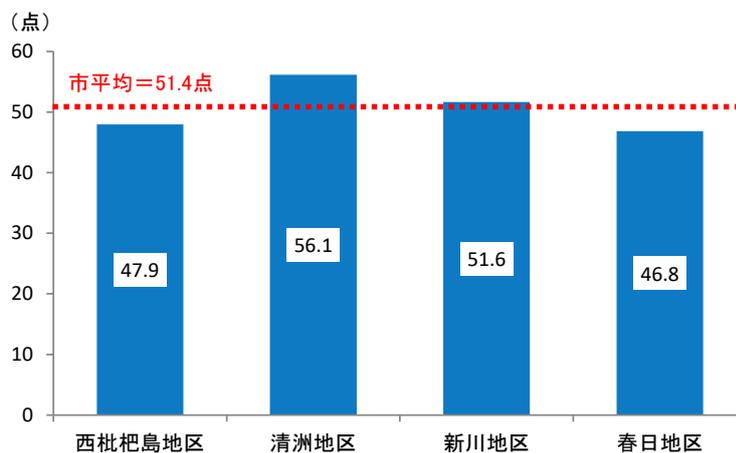
①ボランティアグループへの参加頻度（月1回以上）＜問39（1）＞

②スポーツグループへの参加頻度（月1回以上）＜問39（2）＞

③趣味関係グループへの参加頻度（月1回以上）＜問39（3）＞

④学習・教養グループへの参加頻度（月1回以上）＜問39（4）＞

⑤特技や経験を他者に伝える活動への参加頻度（月1回以上）＜問39（9）＞



### <連帯感>

ソーシャルキャピタル得点<連帯感>\*は、市全体では 149.2 点となっています。

地区別でみると、清洲地区が 157.7 点と最も高く、次いで新川地区が 149.9 点、西枇杷島地区が 143.6 点、春日地区が 139.1 点となっています。

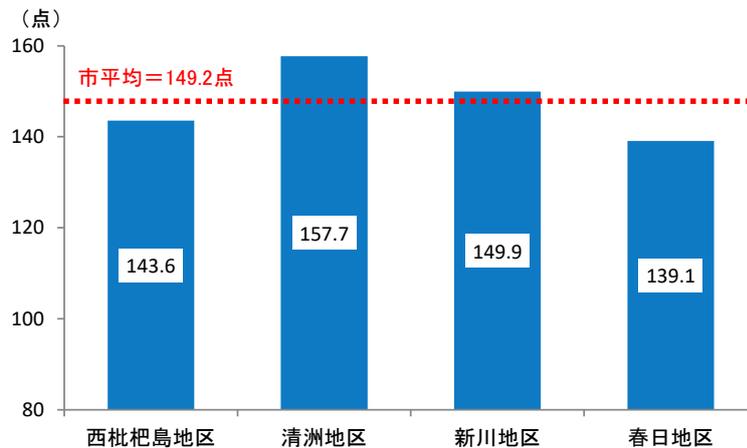
※以下の①～③の割合を用いて、次の計算式で得点化したもの

①信用割合×0.9+②互酬性割合×0.8+③愛着割合×0.7

①地域の人々は一般に信用できる <問 43 (1) >

②地域の人々は他の人の役に立とうとする <問 43 (2) >

③地域に愛着がある <問 43 (3) >



### <助け合い>

ソーシャルキャピタル得点<助け合い>\*は、市全体では 195.4 点となっています。

地区別でみると、清洲地区が 197.1 点と最も高く、次いで春日地区が 195.9 点、西枇杷島地区が 195.6 点、新川地区が 194.0 点となっています。

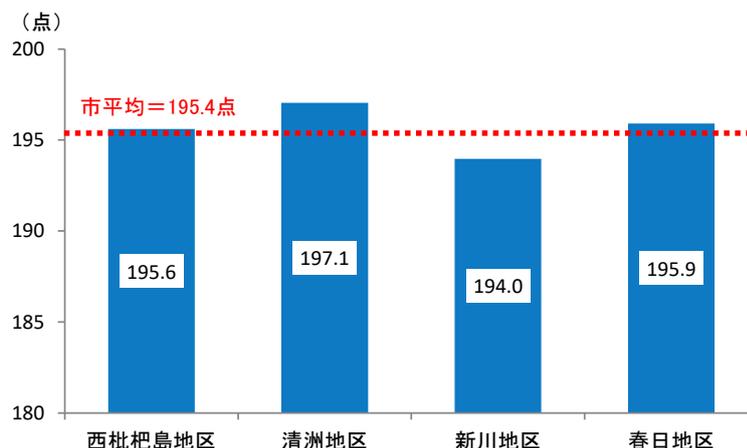
※以下の①～③の割合を用いて、次の計算式で得点化したもの

①情緒的サポート受領者割合×0.8+②情緒的サポート提供者割合×0.7+③手段的サポート受領者割合×0.6

①あなたの心配事や愚痴をきいてくれる人 <問 44 (1) >

②あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人 <問 44 (2) >

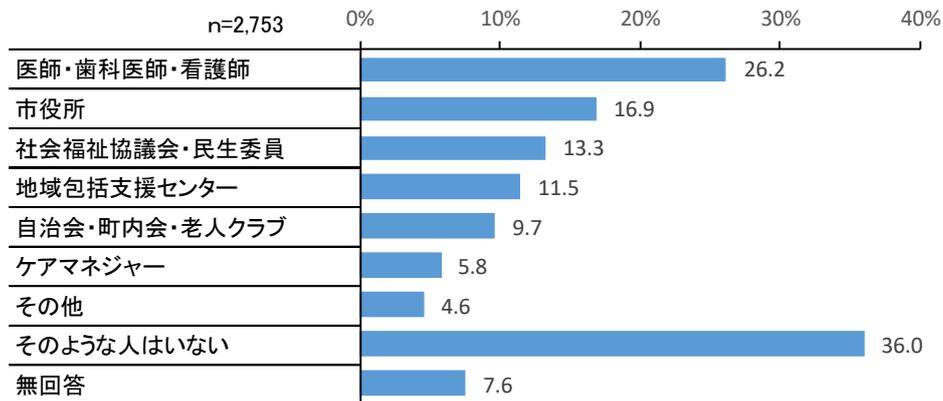
③あなたの看病や世話をしてくれる人 <問 44 (3) >



## 6-6 家族や友人・知人以外の相談相手

問45 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。(〇はいくつでも)

何かあったときに相談する相手については、「そのような人はいない」が 36.0%と最も高くなっています。相談相手がいる人では、「医師・歯科医師・看護師」が 26.2%と最も高く、次いで「市役所」(16.9%)、「社会福祉協議会・民生委員」(13.3%)、「地域包括支援センター」(11.5%)となっています。



## 6-7 友人関係について

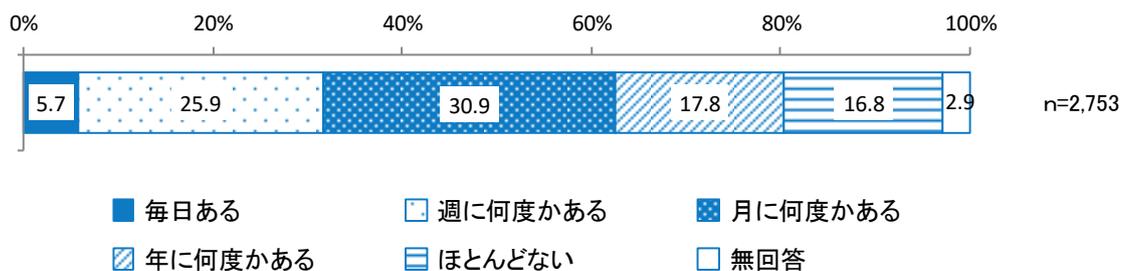
問46 友人関係についておうかがいします。

(1) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(〇は1つ)

※新型コロナウイルスによる外出の自粛前の状況でお答えください。

友人・知人と会う頻度については、「月に何度かある」が30.9%と最も高く、次いで「週に何度かある」(25.9%)、「年に何度かある」(17.8%)となっています。一方、「ほとんどない」は16.8%となっています。

地区別でみると、いずれの地区においても「月に何度かある」が最も高くなっています。

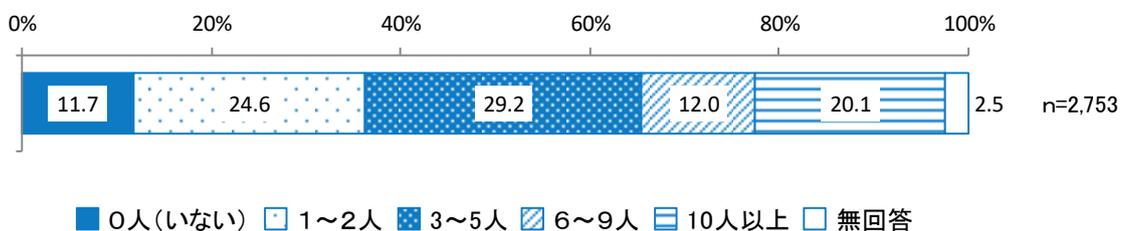


	件数	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答
全体	2,753	5.7	25.9	30.9	17.8	16.8	2.9
西枇杷島地区	623	5.5	24.7	31.0	19.1	16.5	3.2
清洲地区	898	4.8	24.7	32.3	19.5	16.7	2.0
新川地区	803	7.3	26.7	30.4	15.1	17.1	3.5
春日地区	392	4.8	28.8	30.4	16.8	15.6	3.6

(2) 新型コロナウイルスで外出自粛になる前は、1か月間で、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。(〇は1つ)

1か月間に会った友人・知人の数については、「3～5人」が29.2%と最も高く、次いで「1～2人」(24.6%)、「10人以上」(20.1%)となっています。

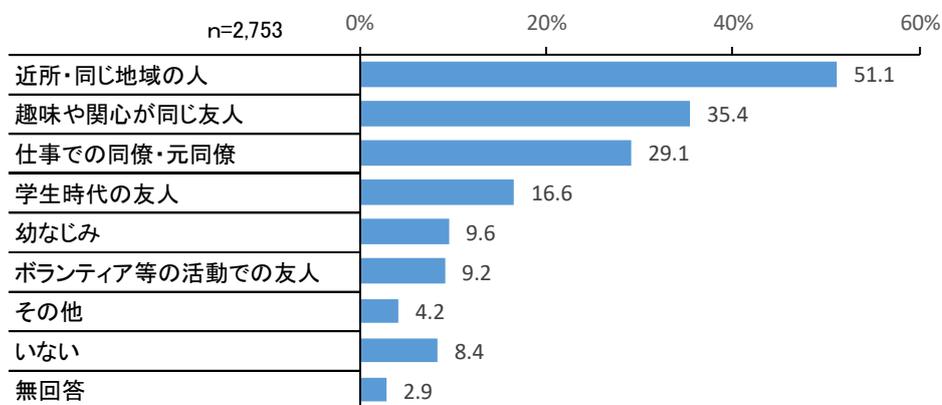
性別でみると、「0人(いない)」は男性で14.6%、女性で8.8%と、男性の方がやや高くなっています。



	件数	0人(いない)	1～2人	3～5人	6～9人	10人以上	無回答
全体	2,753	11.7	24.6	29.2	12.0	20.1	2.5
男性	1,279	14.6	25.1	25.4	11.3	21.0	2.5
女性	1,437	8.8	24.0	32.7	12.5	19.4	2.6

(3) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(〇はいくつでも)

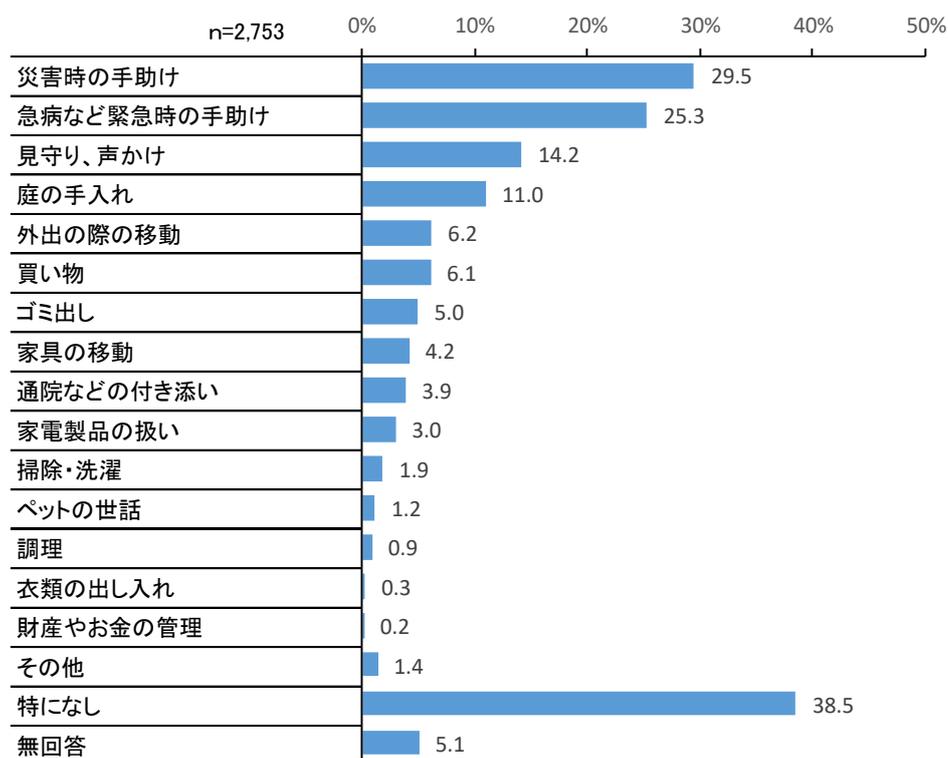
よく会う友人・知人との関係については、「近所・同じ地域の人」が 51.1%と最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」(35.4%)、「仕事での同僚・元同僚」(29.1%) となっています。



6-8 地域やボランティア活動に手伝ってほしいこと

問47 地域でのたすけあい活動やボランティア活動として、手伝ってもらったらたすかと思うことはありますか。(〇は3つまで)

地域やボランティア活動に手伝ってほしいことについては、「特になし」が 38.5%と最も高くなっています。手伝ってほしいこととしては、「災害時の手助け」が 29.5%と最も高く、次いで「急病など緊急時の手助け」(25.3%)、「見守り、声かけ」(14.2%)、「庭の手入れ」(11.0%) となっています。



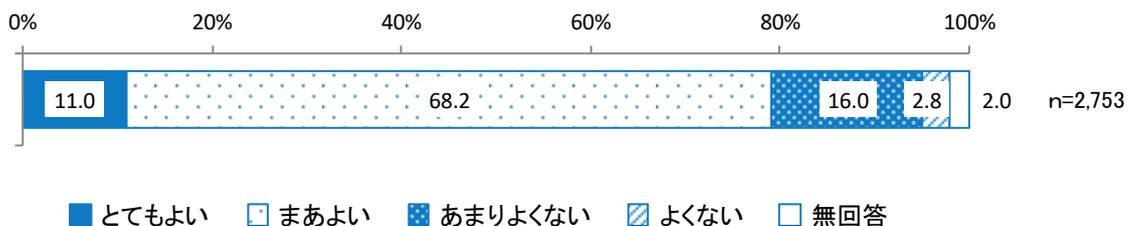
## 7 健康について

### 7-1 主観的健康観

問48 現在のあなたの健康状態はいかがですか。（○は1つ）

主観的健康観は、「まあよい」が 68.2%と最も高く、「とてもよい」（11.0%）と合わせた『健康状態がよい』と回答した人は 79.2%となっています。一方、「よくない」と「あまりよくない」を合わせた『健康状態がよくない』人は 18.8%となっています。

年齢別でみると、『健康状態がよくない』は年齢があがるにつれて割合が高くなっており、75～84歳で 22.5%、85歳以上で 32.8%となっています。



	件数	とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	無回答
全体	2,753	11.0	68.2	16.0	2.8	2.0
65～74歳	1,375	14.3	71.2	11.2	2.0	1.3
75～84歳	1,079	7.5	67.3	19.2	3.3	2.7
85歳以上	262	8.4	56.1	27.5	5.3	2.7

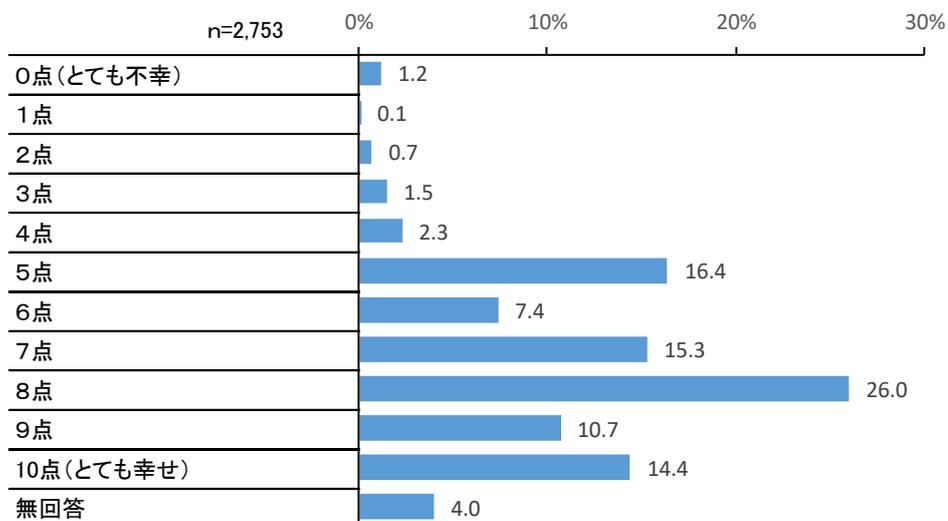
## 7-2 幸福度

問49 あなたは、現在どの程度幸せですか（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください）。（点数に〇をつけてください。）

現在の幸福度について、0点（とても不幸）から10点（とても幸せ）で採点していただいたところ、「8点」が26.0%と最も高く、次いで「5点」（16.4%）、「7点」（15.3%）、「10点」（14.4%）となっています。また、「8点」以上と回答した人が合計51.1%となっており、全体の平均点は7.3点となっています。

性別でみると、「8点」以上は、男性で47.6%、女性で54.2%と、女性の方がやや高くなっています。

地区別でみると、いずれの地区においても「8点」が最も高く、「8点」以上は、西枇杷島地区で53.3%、清洲地区で52.1%、新川地区で49.2%、春日地区で49.7%となっています。



		件数	0点(とても不幸)	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点(とても幸せ)	無回答
全体		2,753	1.2	0.1	0.7	1.5	2.3	16.4	7.4	15.3	26.0	10.7	14.4	4.0
性別	男性	1,279	1.3	0.1	0.9	1.6	2.3	17.9	8.7	16.3	25.1	9.1	13.4	3.3
	女性	1,437	1.0	0.2	0.6	1.2	2.2	15.1	6.2	14.5	26.9	12.1	15.2	4.7
地区	西枇杷島地区	623	1.1	-	0.8	1.3	2.4	15.1	8.3	13.6	27.3	10.6	15.4	4.0
	清洲地区	898	1.2	0.1	0.7	1.4	2.0	16.4	6.2	16.3	26.1	12.5	13.5	3.7
	新川地区	803	1.4	0.2	0.9	1.9	2.1	17.4	7.6	15.1	25.0	9.5	14.7	4.2
	春日地区	392	0.8	0.3	0.5	0.5	2.8	16.6	7.9	16.6	26.0	9.4	14.3	4.3

幸福度と主観的健康観についてみると、健康状態が「とてもよい」では「10点」が高く、とても幸せと感じている人の割合が高くなっています。

幸福度と趣味についてみると、「趣味あり」では「8点」が最も高く、「思いつかない」では「5点」が最も高くなっています。

幸福度と生きがいについてみると、「生きがいあり」では「8点」が最も高く、「思いつかない」では「5点」が最も高くなっています。

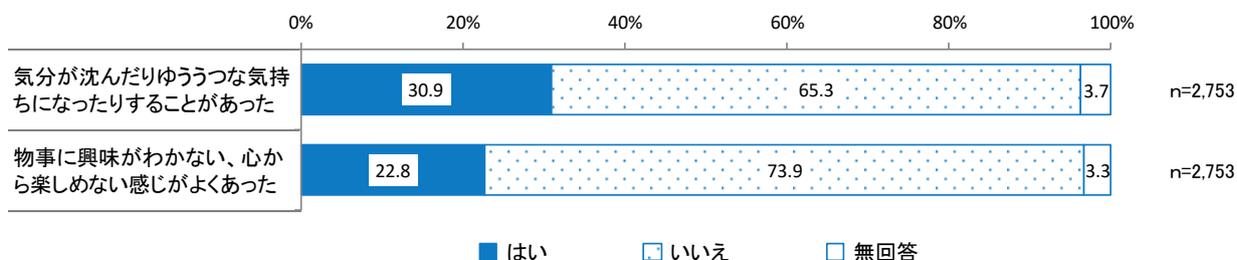
		件数	0点 (とても不幸)	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点 (とても幸せ)	無回答
全体		2,753	1.2	0.1	0.7	1.5	2.3	16.4	7.4	15.3	26.0	10.7	14.4	4.0
主観的健康観	とてもよい	302	1.0	-	-	0.7	0.7	6.3	4.0	7.0	24.2	16.6	37.1	2.6
	まあよい	1,878	0.9	0.1	0.2	0.8	1.9	14.8	7.5	17.2	30.0	11.4	12.8	2.4
	あまりよくない	440	1.4	0.5	2.5	3.9	4.3	30.2	10.5	14.8	15.0	6.1	7.5	3.4
	よくない	78	9.0	-	7.7	9.0	2.6	24.4	6.4	9.0	15.4	-	9.0	7.7
趣味	趣味あり	2,000	1.0	0.1	0.7	1.0	1.7	13.9	6.4	15.6	28.6	11.7	16.1	3.5
	思いつかない	663	1.7	0.3	0.9	2.9	4.2	24.4	9.5	14.2	20.5	7.8	9.4	4.2
生きがい	生きがいあり	1,591	0.8	0.1	0.3	0.8	1.5	11.5	6.2	15.0	30.2	13.1	17.8	3.0
	思いつかない	930	1.5	0.2	1.7	3.1	3.7	25.6	9.6	15.9	21.1	7.1	7.4	3.1

### 7-3 心の健康について

問50 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(〇は1つ)

問51 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(〇は1つ)

この1か月間で「気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあった」「どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくあった」かどうかについては、「はい」がそれぞれ30.9%、22.8%となっています。



## 7-4 飲酒・喫煙について

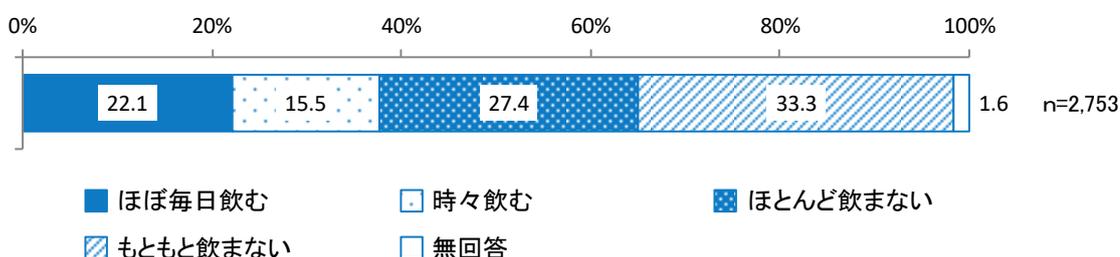
問52 お酒は飲みますか。(〇は1つ)  
 問53 タバコは吸っていますか。(〇は1つ)

飲酒の習慣については、「もともと飲まない」が 33.3%と最も高く、次いで「ほとんど飲まない」(27.4%)となっています。一方、「ほぼ毎日飲む」と「時々飲む」を合わせた『飲酒している』は 37.6%となっています。

性別でみると、男性は「ほぼ毎日飲む」が最も高く、女性は「もともと飲まない」が最も高くなっています。

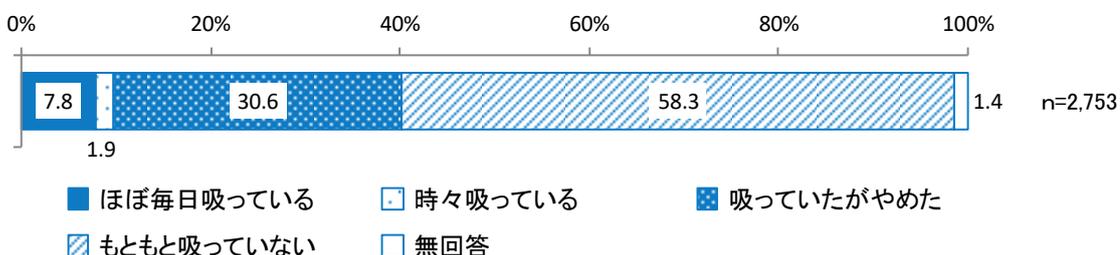
喫煙の習慣については、「もともと吸っていない」が 58.3%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」(30.6%)となっています。一方、「ほぼ毎日吸っている」と「時々吸っている」を合わせた『喫煙している』は 9.7%となっています。

【飲酒の習慣】



	件数	ほぼ毎日飲む	時々飲む	ほとんど飲まない	もともと飲まない	無回答
全体	2,753	22.1	15.5	27.4	33.3	1.6
男性	1,279	37.8	18.5	23.9	18.6	1.2
女性	1,437	8.1	13.1	30.6	46.4	1.8

【喫煙の習慣】



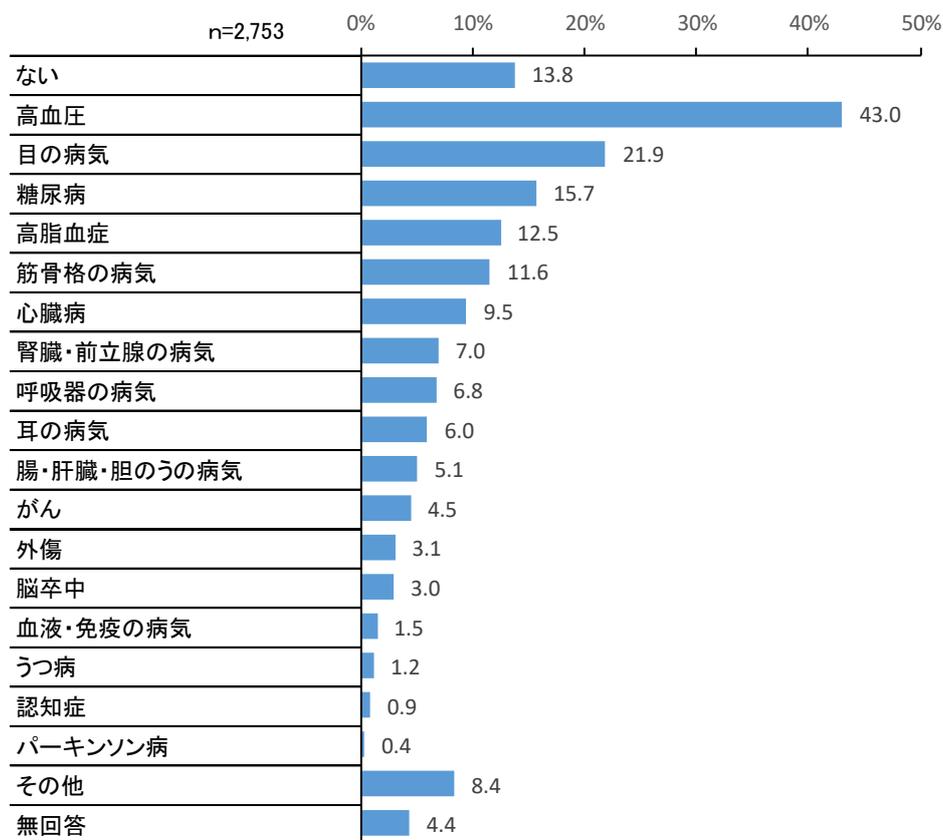
7-5 現在治療中、または後遺症のある病気

問54 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(〇はいくつでも)

現在治療中または後遺症のある病気については、「高血圧」が 43.0%と最も高く、次いで「目の病気」(21.9%)、「糖尿病」(15.7%)、「高脂血症(脂質異常)」(12.5%)、「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」(11.6%)となっています。また、「ない」は 13.8%となっています。

性別でみると、「腎臓・前立腺の病気」は男性で高く、「筋骨格の病気」は女性で高くなっています。

年齢別でみると、多くの病気は年齢があがるにつれて割合が高くなっており、「糖尿病」「高脂血症」「がん(悪性新生物)」「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」「うつ病」「その他」を除くすべての病気は85歳以上で最も高くなっています。



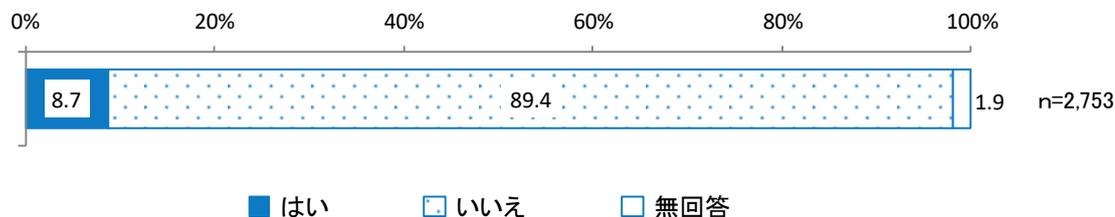
	件数	ない	高血圧	目の病気	糖尿病	高脂血症	筋骨格の病気	心臓病	腎臓・前立腺の病気	呼吸器の病気	耳の病気	腸・肝臓・胆のうの病気	がん	外傷	脳卒中	血液・免疫の病気	うつ病	認知症	パーキンソン病	その他	無回答	
全体	2,753	13.8	43.0	21.9	15.7	12.5	11.6	9.5	7.0	6.8	6.0	5.1	4.5	3.1	3.0	1.5	1.2	0.9	0.4	8.4	4.4	
性別	男性	1,279	15.0	44.0	19.1	19.6	10.0	4.8	11.9	13.0	8.1	6.0	5.8	2.1	4.1	1.2	0.9	0.8	0.4	7.6	3.4	
	女性	1,437	12.4	42.2	24.3	12.2	14.9	17.7	7.4	1.9	5.6	6.0	4.6	3.8	4.0	2.0	1.7	1.5	0.9	0.4	9.1	5.3
年齢	65~74歳	1,375	17.8	38.9	17.5	15.6	15.1	8.4	6.5	5.2	5.6	4.2	4.1	4.3	2.1	1.7	1.5	1.3	0.3	0.4	8.9	4.4
	75~84歳	1,079	10.0	46.7	25.4	16.3	10.8	14.6	12.2	8.0	7.6	6.6	5.5	5.0	3.3	4.4	1.2	1.0	1.2	0.1	8.0	4.3
	85歳以上	262	6.5	50.0	29.8	13.7	6.9	16.0	14.1	13.7	9.5	13.0	9.2	3.8	7.3	4.2	2.3	1.1	2.3	1.5	7.3	4.6

## 8 認知症について

### 8-1 認知症について

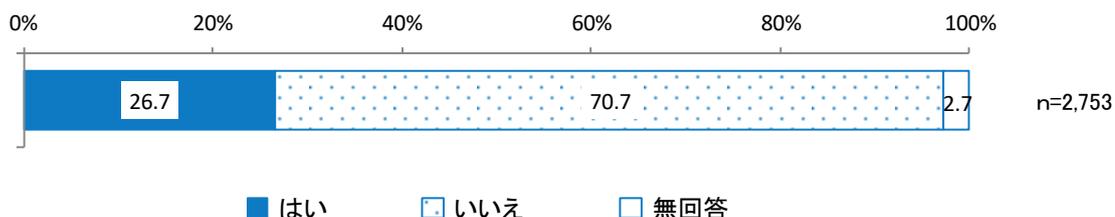
問55 ご自身又は家族に認知症の症状がある人がいますか。（〇は1つ）

自身または家族で認知症の症状がある人がいるかどうかについては、「はい」が8.7%となっています。



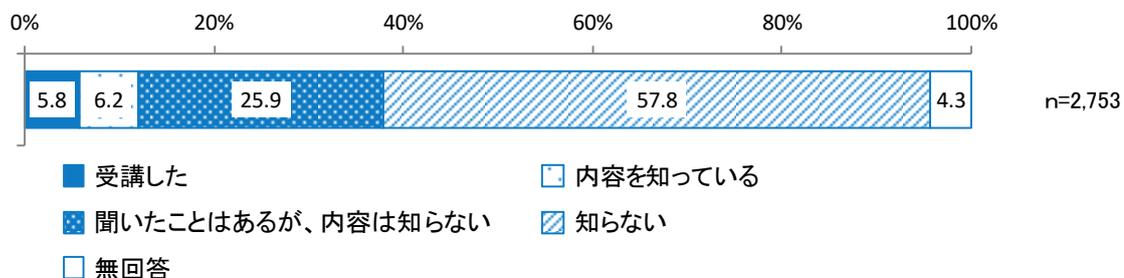
問56 認知症に関する相談窓口を知っていますか。（〇は1つ）

認知症に関する相談窓口の認知度については、「はい」が26.7%となっています。



問57 認知症サポーターについてご存知ですか。（〇は1つ）

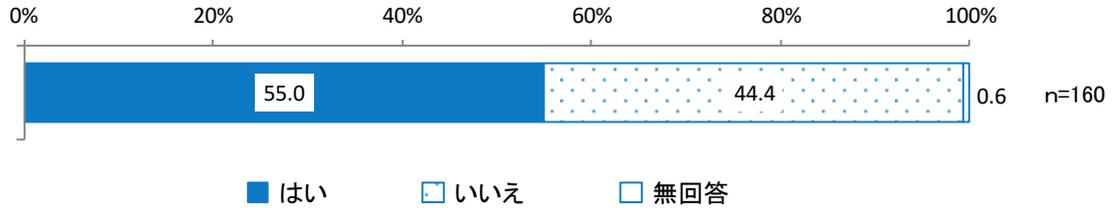
認知症サポーターの認知度については、「知らない」が57.8%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容は知らない」(25.9%)となっています。また、「内容を知っている」は6.2%、「受講した」は5.8%となっています。



問57で「1.受講した」とお答えの方

問57-1 認知症の方に対する具体的な支援方法などが学べるフォローアップ研修に参加してみたいと思いますか。(〇は1つ)

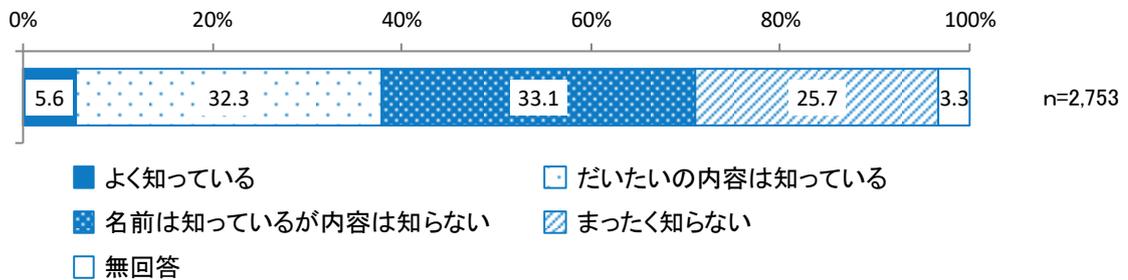
認知症サポーター講座の受講者に対してフォローアップ研修への参加意向をたずねたところ、「はい」が55.0%となっています。



8-2 成年後見制度について

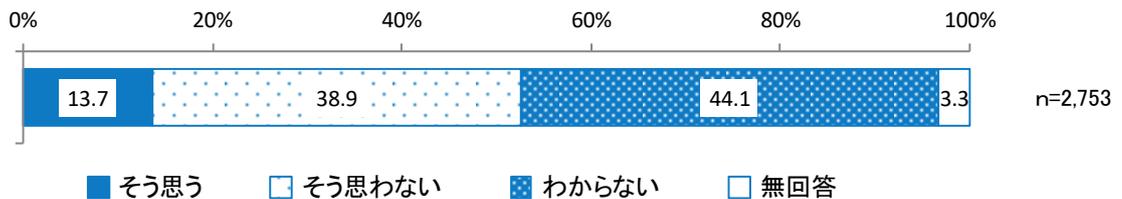
問58 あなたは、成年後見制度を知っていますか。(〇は1つ)

成年後見制度の認知度については、「名前は知っているが内容は知らない」が33.1%と最も高く、次いで「だいたいの内容は知っている」(32.3%)、「まったく知らない」(25.7%)となっています。「よく知っている」は5.6%となっており、「だいたいの内容は知っている」と合わせた「内容の理解度」は37.9%、さらに「名前は知っているが内容は知らない」を合わせた「名称の認知度」は71.0%となっています。



問59 成年後見制度は、今後自分に必要な制度だと思いますか。(〇は1つ)

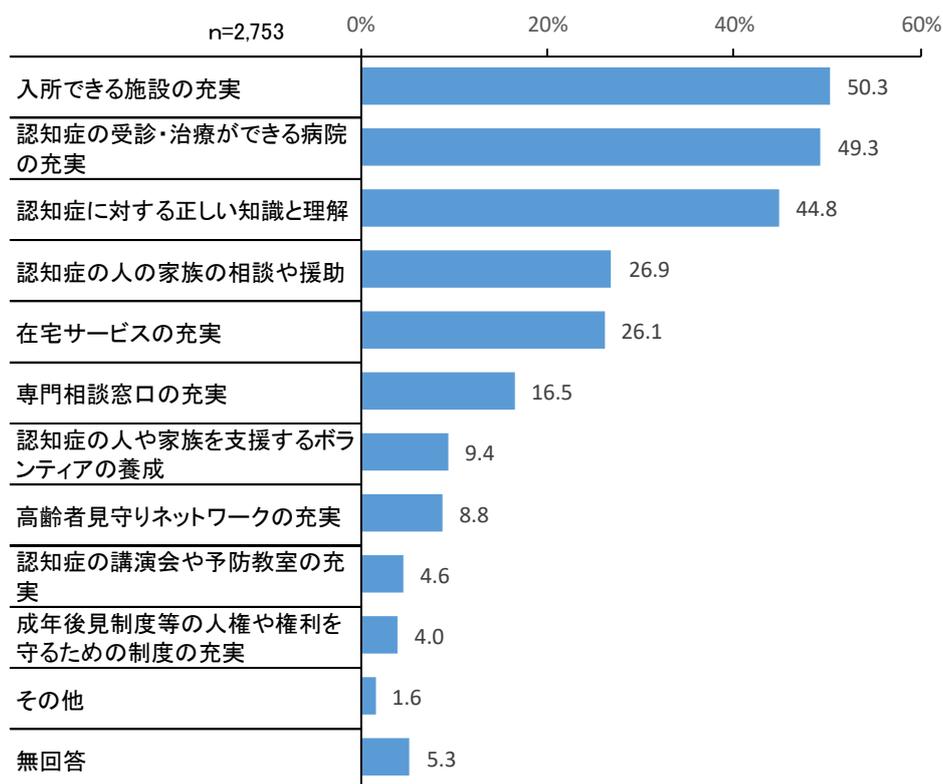
成年後見制度が今後自分に必要かどうかについては、「わからない」が44.1%、「そう思わない」が38.9%、「そう思う」が13.7%となっています。



### 8-3 認知症になっても安心して暮らしていくために必要なこと

問60 認知症になっても安心して暮らしていくために、あなたが必要だと思うことは何ですか。(〇は3つまで)

認知症になっても安心して暮らしていくために必要なことは、「入所できる施設の充実」が50.3%と最も高く、次いで「認知症の受診・治療ができる病院の充実」(49.3%)、「認知症に対する正しい知識と理解」(44.8%)、「認知症の人の家族の相談や援助」(26.9%)、「在宅サービスの充実」(26.1%)となっています。

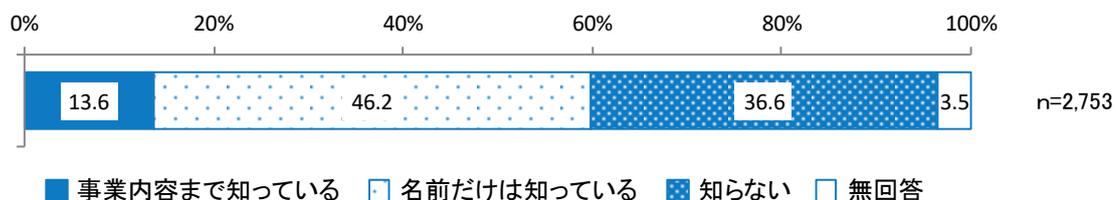


## 9 介護保険制度および高齢者福祉施策について

### 9-1 地域包括支援センターの認知度

問61 あなたは、地域包括支援センターを知っていますか。（〇は1つ）

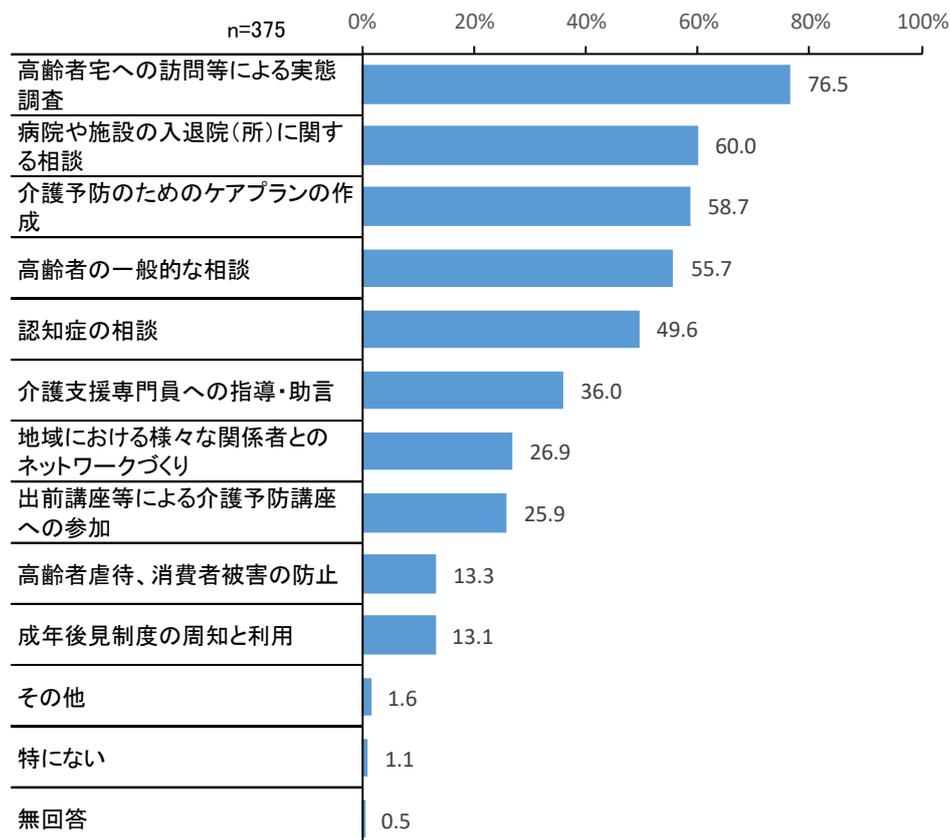
地域包括支援センターの認知度については、「名前だけは知っている」が46.2%で、「事業内容まで知っている」（13.6%）と合わせた“名称の認知度”は59.8%となっています。一方、「知らない」は36.6%となっています。



問61で「1. 事業内容まで知っている」とお答えの方

問61-1 地域包括支援センターでは、さまざまな事業を行っています。あなたは地域包括支援センターが行っている事業の中で、知っているものは何ですか。（〇はいくつでも）

地域包括支援センターの事業で知っているものは、「高齢者宅への訪問等による実態調査」が76.5%と最も高く、次いで「病院や施設の入退院（所）に関する相談」（60.0%）、「介護予防のためのケアプランの作成」（58.7%）、「高齢者の一般的な相談」（55.7%）、「認知症の相談」（49.6%）となっています。

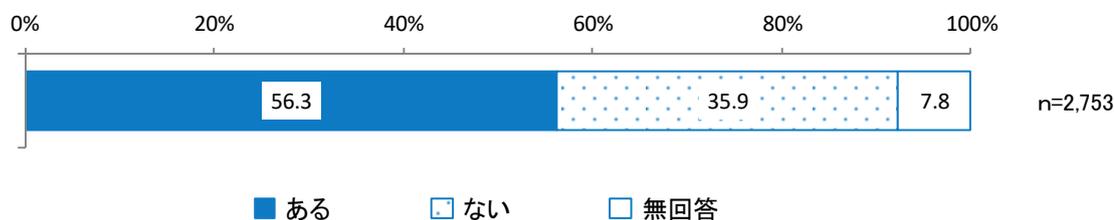


## 9-2 介護予防教室について

問62 介護予防教室（できるだけ介護が必要な状態にならないようにするための教室等）に関心がありますか。（〇は1つ）

介護予防への関心については、「ある」が56.3%となっています。

性別でみると、「ある」は男性で49.3%、女性で62.4%と、女性の方が高くなっています。

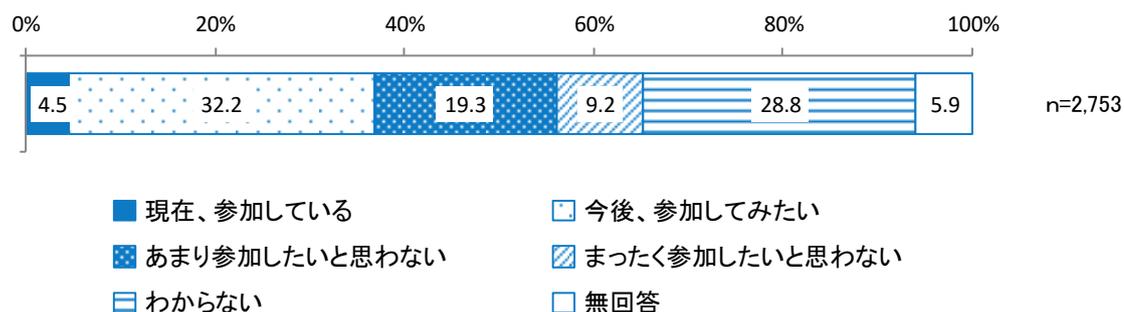


	件数	ある	ない	無回答
全体	2,753	56.3	35.9	7.8
男性	1,279	49.3	43.9	6.7
女性	1,437	62.4	28.7	8.8

問63 介護予防のためのさまざまな講習やトレーニングに参加してみたいと思いますか。（〇は1つ）

介護予防のための講習等への参加については、「今後、参加してみたい」が32.2%と最も高く、「現在、参加している」と合わせた『参加意向がある』は36.7%となっています。一方、「まったく参加したいと思わない」と「あまり参加したいと思わない」を合わせた『参加意向はない』人は28.5%となっています。また、「わからない」が28.8%となっています。

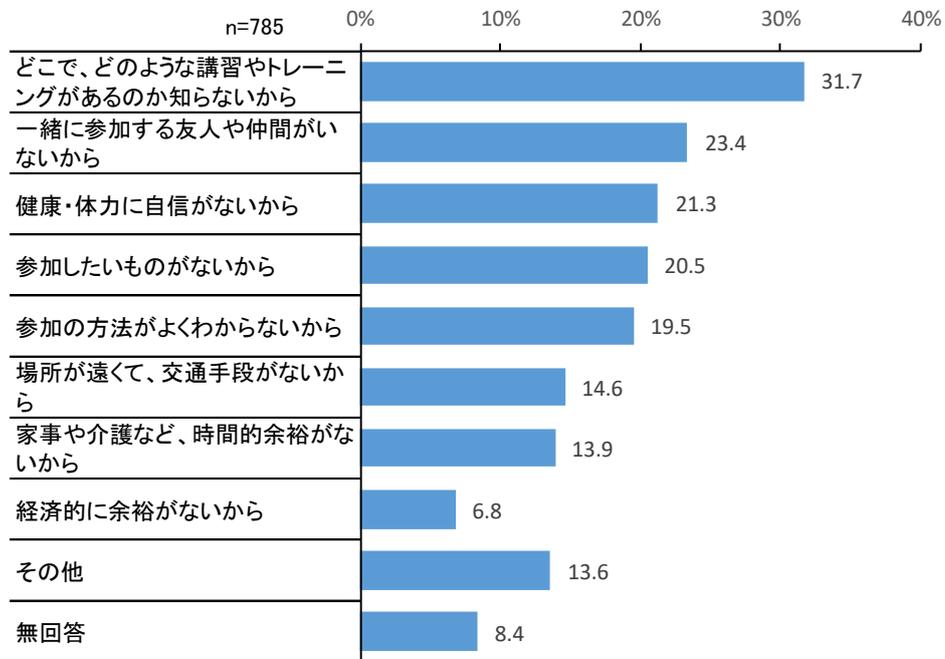
地区別でみると、西枇杷島地区では「わからない」（32.4%）が最も高く、他の地区では「今後、参加してみたい」が最も高くなっています。



	件数	現在、参加している	今後、参加してみたい	あまり参加したいと思わない	まったく参加したいと思わない	わからない	無回答
全体	2,753	4.5	32.2	19.3	9.2	28.8	5.9
西枇杷島地区	623	3.4	28.9	20.2	8.3	32.4	6.7
清洲地区	898	6.0	33.5	20.6	7.7	26.8	5.3
新川地区	803	4.2	33.4	17.2	10.2	28.9	6.1
春日地区	392	4.1	31.6	18.9	11.7	27.8	5.9

問 63 で「3. あまり参加したいと思わない」または「4. まったく参加したいと思わない」とお答えの方  
 問63-1 それはなぜですか。(〇はいくつでも)

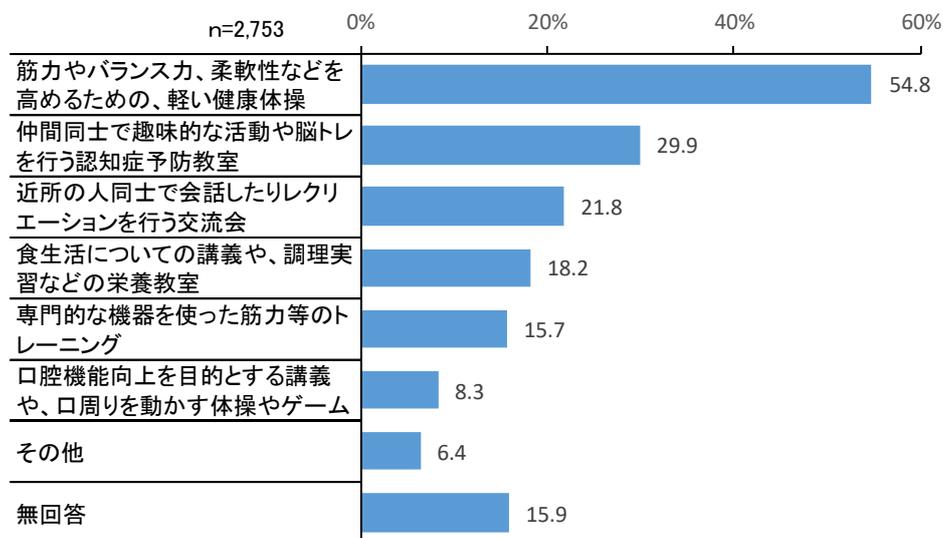
講習等に参加したくない理由は、「どこで、どのような講習やトレーニングがあるのか知らないから」が 31.7%と最も高く、次いで「一緒に参加する友人や仲間がいないから」(23.4%)、「健康・体力に自信がないから」(21.3%)、「参加したいものがないから」(20.5%)、「参加の方法がよくわからないから」(19.5%) となっています。



問64 あなたは、どのような介護予防の事業だったら積極的に参加したいと思いますか。（〇はいくつでも）

積極的に参加したい介護予防事業については、「筋力やバランス力、柔軟性などを高めるための、軽い健康体操」が54.8%と最も高く、次いで「仲間同士で趣味的な活動や脳トレを行う認知症予防教室」（29.9%）、「近所の人同士で会話したりレクリエーションを行う交流会」（21.8%）となっています。

性別でみると、男性は「専門的な機器を使った筋力等のトレーニング」がやや高く、女性は「筋力やバランス力、柔軟性などを高めるための、軽い健康体操」「仲間同士で趣味的な活動や脳トレを行う認知症予防教室」「近所の人同士で会話したりレクリエーションを行う交流会」がやや高くなっています。

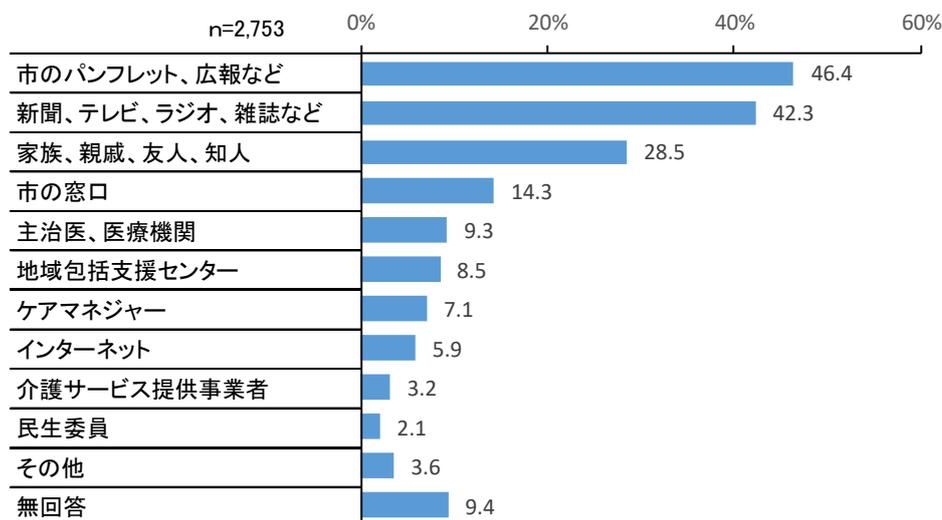


	件数	筋力やバランス力、柔軟性などを高めるための軽い健康体操	仲間同士で趣味的な活動や脳トレを行う認知症予防教室	近所の人同士で会話したりレクリエーションを行う交流会	栄養教室	食生活についての講義や、調理実習などの栄養教室	専門的な機器を使った筋力等のトレーニング	口腔機能向上を目的とする講義や、口周りを動かす体操やゲーム	その他	無回答
全体	2,753	54.8	29.9	21.8	18.2	15.7	8.3	6.4	15.9	
男性	1,279	51.9	27.0	18.5	17.0	19.6	6.2	7.5	15.4	
女性	1,437	57.6	32.6	24.7	19.3	12.1	10.4	5.4	16.3	

### 9-3 介護保険制度や高齢者サービスについての情報源

問65 介護保険制度や高齢者に対するサービスなどに関する情報をどこから得ていますか。  
(〇はいくつでも)

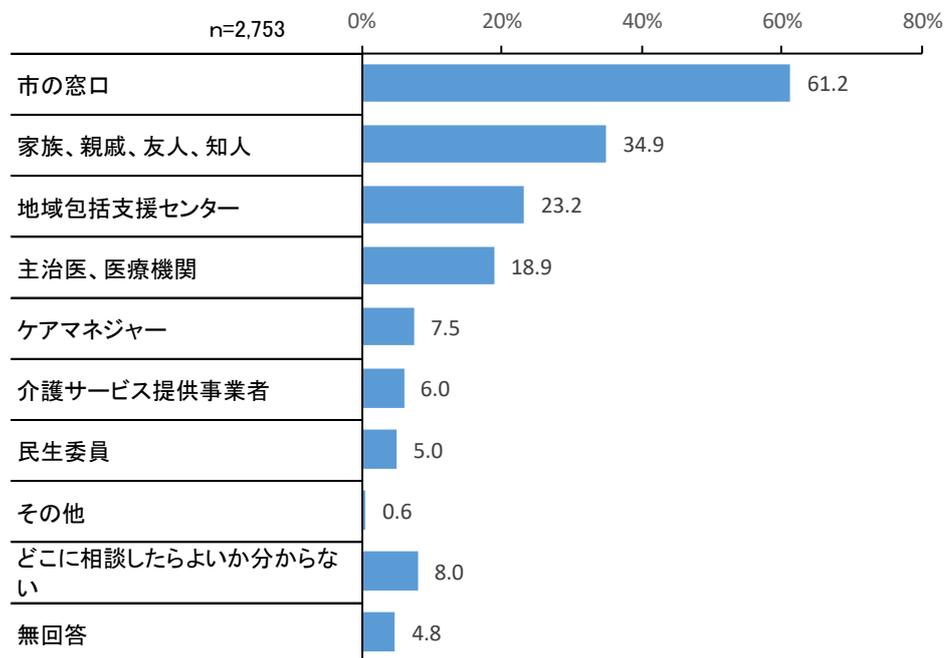
介護保険制度や高齢者サービス等に関する情報源は、「市のパンフレット、広報など」が46.4%と最も高く、次いで「新聞、テレビ、ラジオ、雑誌など」(42.3%)、「家族、親戚、友人、知人」(28.5%)、「市の窓口」(14.3%)となっています。



### 9-4 介護保険制度や高齢者サービスについての相談先

問66 介護保険制度や高齢者に対するサービスなどについて困ったとき、よく分からないことがあったときは、どこに相談しますか。(〇はいくつでも)

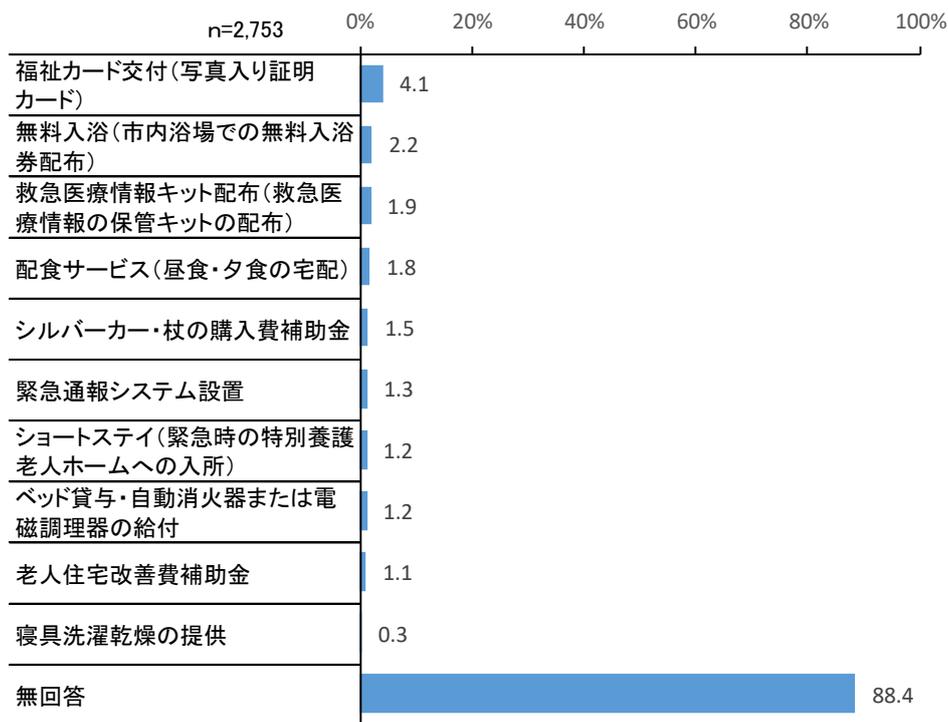
介護保険制度や高齢者サービス等についての相談先は、「市の窓口」が61.2%と最も高く、次いで「家族、親戚、友人、知人」(34.9%)、「地域包括支援センター」(23.2%)、「主治医、医療機関」(18.9%)となっています。



9-5 高齢者福祉サービスの利用状況・利用意向

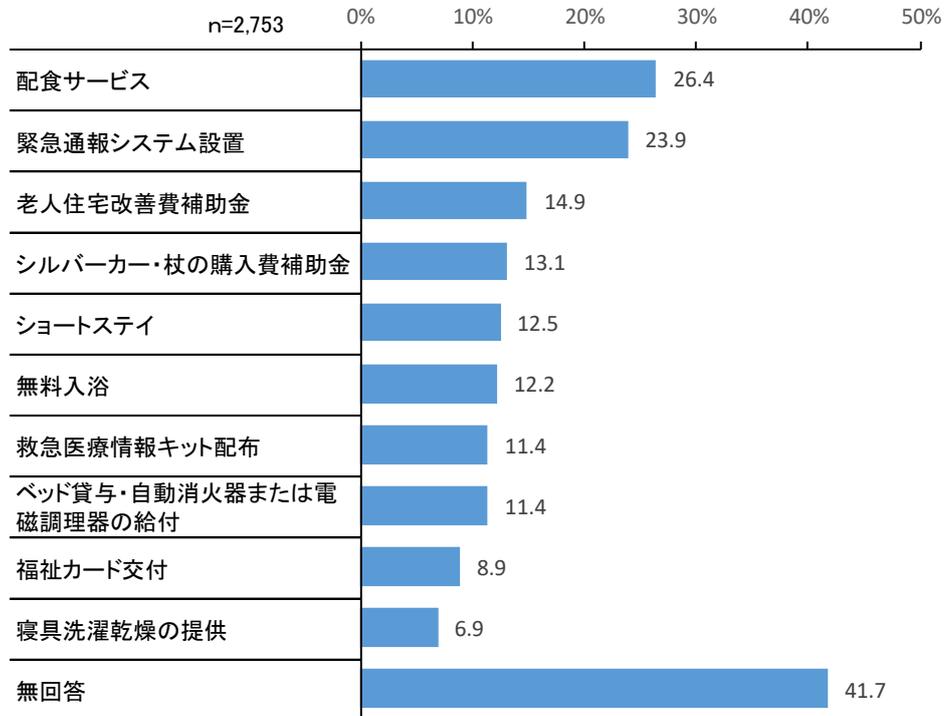
問67 現在、高齢者福祉サービスを利用していますか。(〇はいくつでも)

高齢者福祉サービスの利用については、全体から無回答を除いた『高齢者福祉サービスを利用している』人は 11.6%となっています。現在利用しているサービスとしては、「福祉カード交付（写真入り証明カード）」が 4.1%と最も高く、次いで「無料入浴（市内浴場での無料入浴券配布）」（2.2%）、「救急医療情報キット配布（救急医療情報の保管キットの配布）」（1.9%）、「配食サービス（昼食・夕食の宅配）」（1.8%）となっています。



問68 高齢者福祉サービスの中で、今後利用したいものはありますか。(〇はいくつでも)

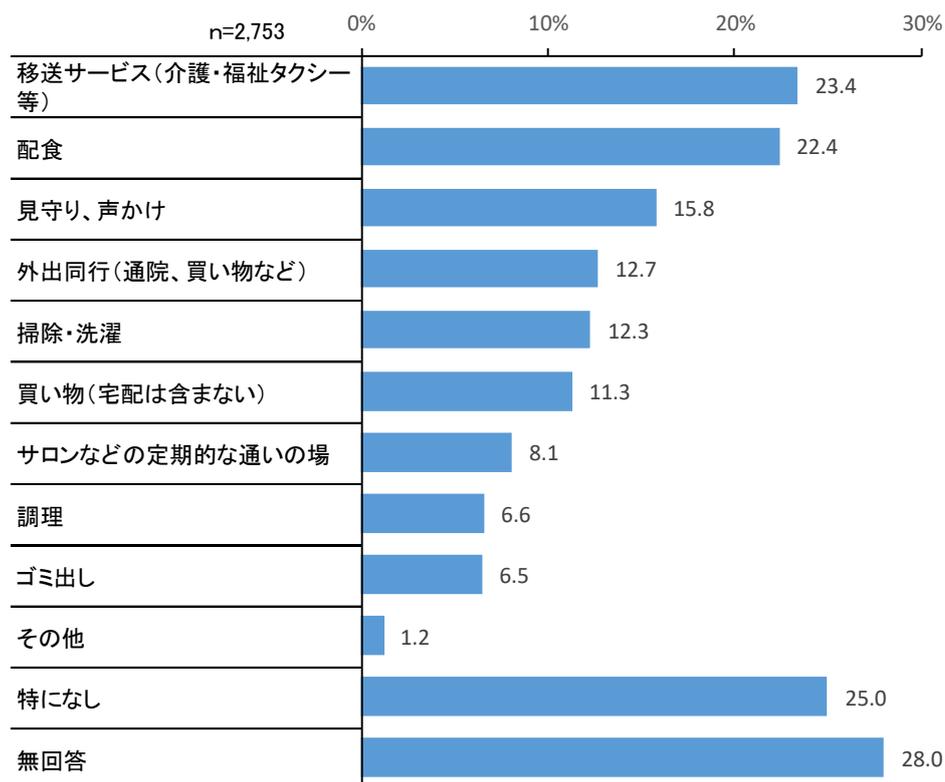
高齢者福祉サービスの利用意向については、全体から無回答を除いた『高齢者福祉サービスを利用したい』人は 58.3%となっています。今後利用したいサービスとしては、「配食サービス」が 26.4%と最も高く、次いで「緊急通報システム設置」(23.9%)、「老人住宅改善費補助金」(14.9%)、「シルバーカー・杖の購入費補助金」(13.1%)となっています。



## 9-6 在宅生活の継続に必要な支援・サービス

問69 今後の在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。（〇はいくつでも） ※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含まれます。

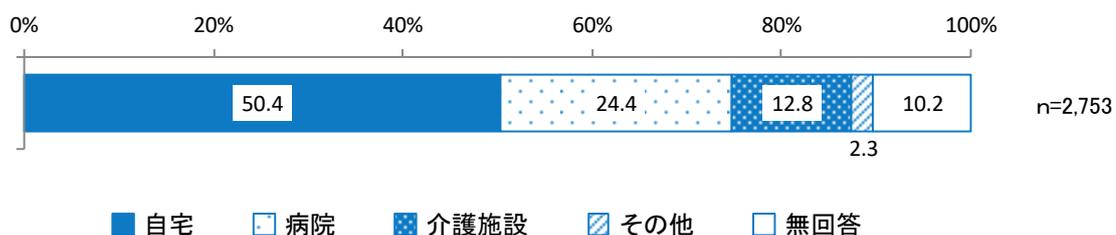
在宅生活の継続に必要な支援・サービスについては、全体から「特になし」（25.0%）と無回答を除いた『支援・サービスを必要としている』人は47.0%となっています。必要な支援・サービスとしては、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が23.4%と最も高く、次いで「配食」（22.4%）、「見守り、声かけ」（15.8%）、「外出同行（通院、買い物など）」（12.7%）、「掃除・洗濯」（12.3%）となっています。



## 9-7 終末期を迎える場所について

問70 老後の終末期を迎える場所についてあなたのお考えに最も近いものはどこですか。（〇は1つ）

終末期を迎える場所として考えている場所は、「自宅」が50.4%と最も高く、次いで「病院」（24.4%）、「介護施設」（12.8%）となっています。

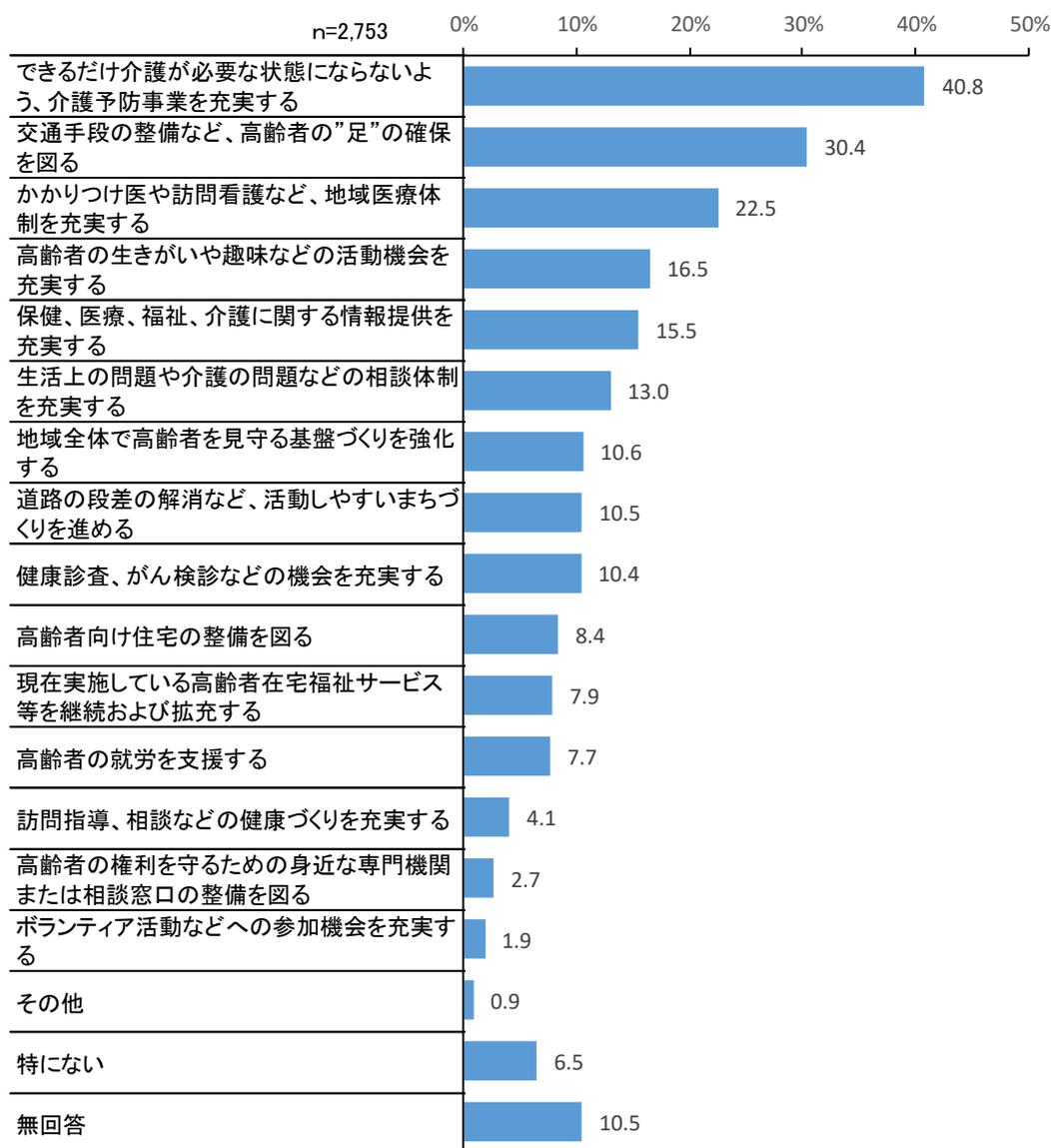


## 9-8 市の高齢者施策について望むこと

問71 市の高齢者施策に関して、どのようなことを望みますか。（〇は3つまで）

市に高齢者施策について望むことは、「できるだけ介護が必要な状態にならないよう、介護予防事業を充実する」が40.8%と最も高く、次いで「交通手段の整備など、高齢者の“足”の確保を図る」(30.4%)、「かかりつけ医や訪問看護など、地域医療体制を充実する」(22.5%)、「高齢者の生きがいや趣味などの活動機会を充実する」(16.5%)、「保健、医療、福祉、介護に関する情報提供を充実する」(15.5%)となっています。

地区別でみると、いずれの地区においても「できるだけ介護が必要な状態にならないよう、介護予防事業を充実する」が最も高く、次いで「交通手段の整備など、高齢者の“足”の確保を図る」、「かかりつけ医や訪問看護など、地域医療体制を充実する」の順で高くなっています。



件数	できないよう、介護予防事業を充実する	“足”の確保を図る	交通手段の整備など、高齢者の	医療体制を充実する	かかりつけ医や訪問看護など、地域	高齢者の生きがいや趣味などの活動機会を充実する	保健、医療、福祉、介護に関する情報提供を充実する	生活上の問題や介護の問題などの相談体制を充実する	地域全体で高齢者を見守る基盤づくりを強化する	道路の段差の解消など、活動しやすいまちづくりを進める	健康診査、がん検診などの機会を充実する	高齢者向け住宅の整備を図る	現在実施している高齢者在宅福祉サービス等を継続および拡充する	高齢者の就労を支援する	訪問指導、相談などの健康づくりを充実する	高齢者の権利を守るための身近な専門機関または相談窓口の整備を図る	ボランティア活動などへの参加機会を充実する	その他	特になし	無回答
全体	2,753	40.8	30.4	22.5	16.5	15.5	13.0	10.6	10.5	10.4	8.4	7.9	7.7	4.1	2.7	1.9	0.9	6.5	10.5	
西枇杷島地区	623	43.5	26.5	23.0	14.8	16.4	14.3	9.1	8.7	10.9	6.9	7.4	7.7	3.7	1.9	1.3	1.0	7.2	10.6	
清洲地区	898	39.9	31.7	21.6	19.2	14.9	13.3	12.1	12.0	10.2	8.1	7.9	7.6	3.6	2.3	2.0	1.0	6.3	10.6	
新川地区	803	40.2	30.1	22.4	15.2	16.3	12.6	10.3	10.7	10.1	9.2	8.6	8.3	4.4	3.7	2.0	0.9	6.5	10.1	
春日地区	392	39.3	33.7	23.2	15.6	14.0	11.2	9.7	9.7	9.9	9.2	7.9	6.6	5.4	2.3	2.8	0.5	5.4	11.7	

### 9-9 高齢者の福祉・介護・医療についての意見・要望

問72 高齢者の福祉・介護・医療について、ご意見・要望がありましたらご自由にお書きください。

高齢者の福祉・介護・医療については、下記のような内容で、435 件のご意見・ご要望をいただきました。

	内容	件数
1	移動、交通について	32
2	施設福祉サービスについて	30
3	保健、医療について	26
4	情報提供、相談、啓発等について	25
5	生活環境について	19
6	健康、介護予防等について	17
7	各種割引、税制優遇等について	13
8	在宅福祉サービスについて	12
9	地域活動、ボランティア等について	12
10	介護保険制度について	11
11	スポーツ、文化活動等について	6
12	福祉行政全般について	47
13	自身の現状、将来の不安等	94
14	アンケートに関すること	21
15	その他	70
	合計	435

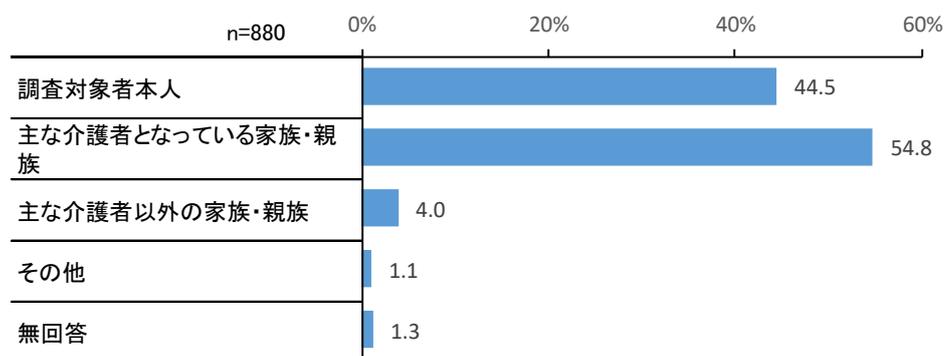
## (2) 在宅介護実態調査

### 1 対象者の属性

#### 1-1 調査票の回答者

問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。(〇はいくつでも)

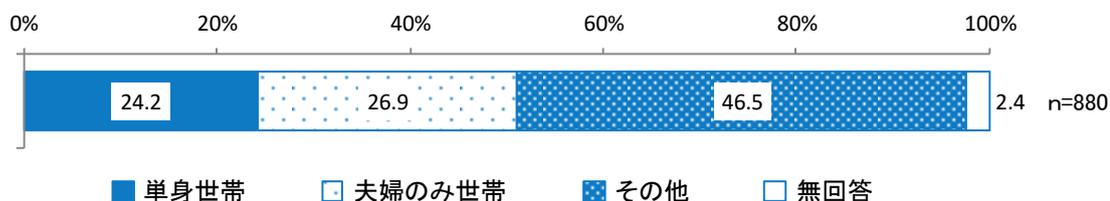
調査票の回答者は、「主な介護者となっている家族・親族」が54.8%、「調査対象者本人」が44.5%、「主な介護者以外の家族・親族」が4.0%となっています。



#### 1-2 家族構成

問2 家族構成について、ご回答ください。(〇は1つ)

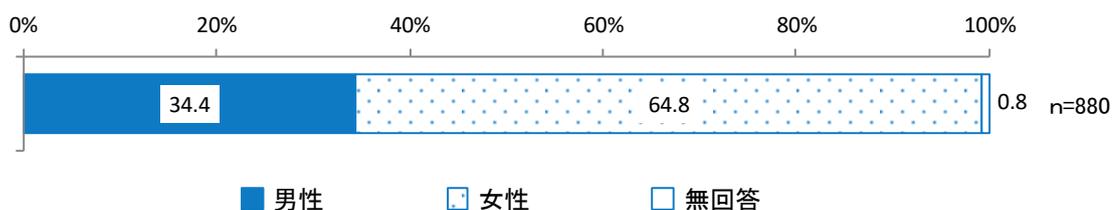
家族構成は、「その他」が46.5%と最も高く、「単身世帯」は24.2%、「夫婦のみ世帯」は26.9%となっています。



#### 1-3 対象者の性別

問3 本人の性別について、ご回答ください。(〇は1つ)

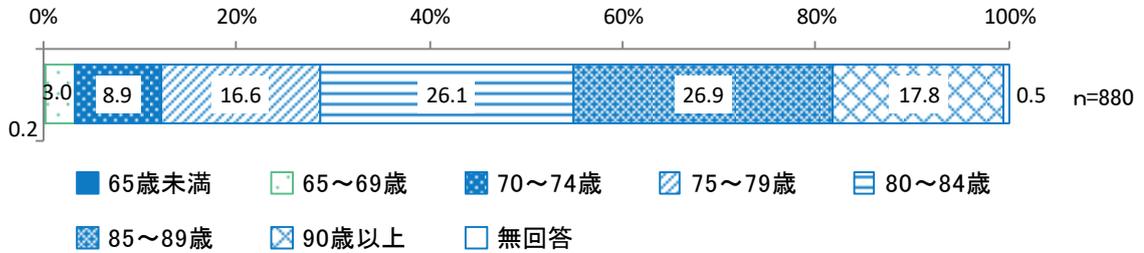
対象者の性別は、「男性」が34.4%、「女性」が64.8%となっています。



#### 1-4 対象者の年齢

問4 ご本人の年齢について、ご回答ください。(〇は1つ)

対象者の年齢は、「85～89歳」が26.9%と最も高く、次いで「80～84歳」(26.1%)、「90歳以上」(17.8%)、「75～79歳」(16.6%)となっており、これらを合計した『75歳以上』が87.4%となっています。また、「65歳未満」、「65～69歳」、「70～74歳」を合わせた『75歳未満』は12.1%となっています。

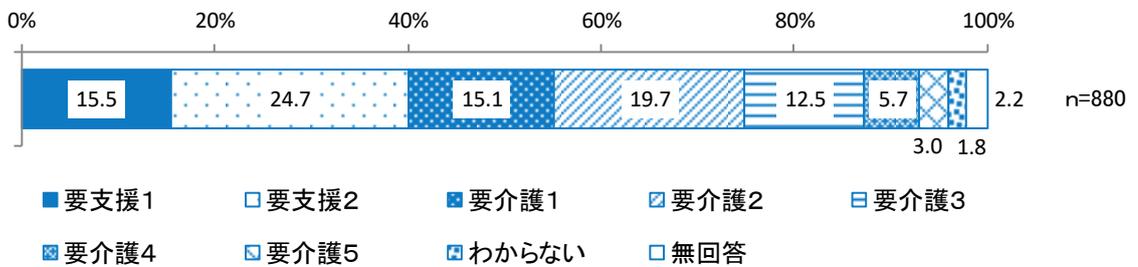


#### 1-5 対象者の要介護度

問5 ご本人の要介護度について、ご回答ください。(〇は1つ)

対象者の要介護度は、「要支援2」が24.7%と最も高く、次いで「要介護2」(19.7%)、「要支援1」(15.5%)、「要介護1」(15.1%)となっています。

3区分別でみると、『要支援者』が40.1%、『軽度(要介護1・2)要介護者』が34.8%、『中・重度(要介護3～5)要介護者』が21.1%となっています。



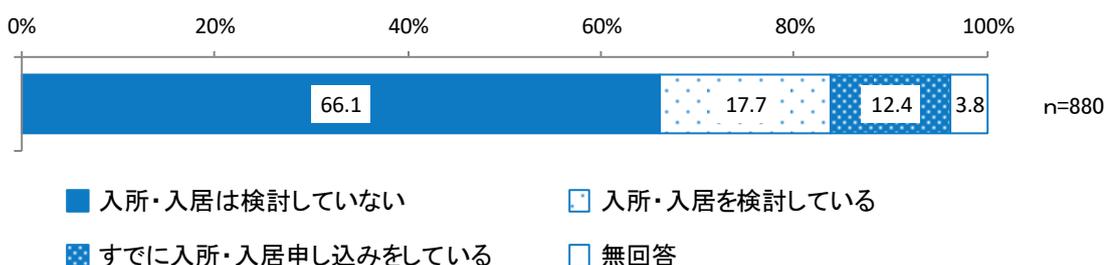
## 2 対象者の生活状況について

### 2-1 施設等への入所・入居の検討状況

問6 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。（〇は1つ）

施設等への入所・入居の検討状況については、「入所・入居は検討していない」が 66.1%と最も高くなっています。「入所・入居を検討している」は 17.7%、「すでに入所・入居申し込みをしている」は 12.4%となっており、これらを合わせた『施設等への入所・入居を検討した』人の割合は 30.1%となっています。

要介護度別でみると、『施設等への入所・入居を検討した』は要介護3～5で 55.4%と高くなっています。



	件数	し入 て所 い・ な入 居は 検討	し入 て所 い・ 入居 を 検討	る申 すし で 込に み入 所し て入 居	無 回 答
全体	880	66.1	17.7	12.4	3.8
要支援1・2	353	72.8	16.4	5.9	4.8
要介護1・2	306	72.9	18.3	5.9	2.9
要介護3～5	186	43.0	19.9	35.5	1.6

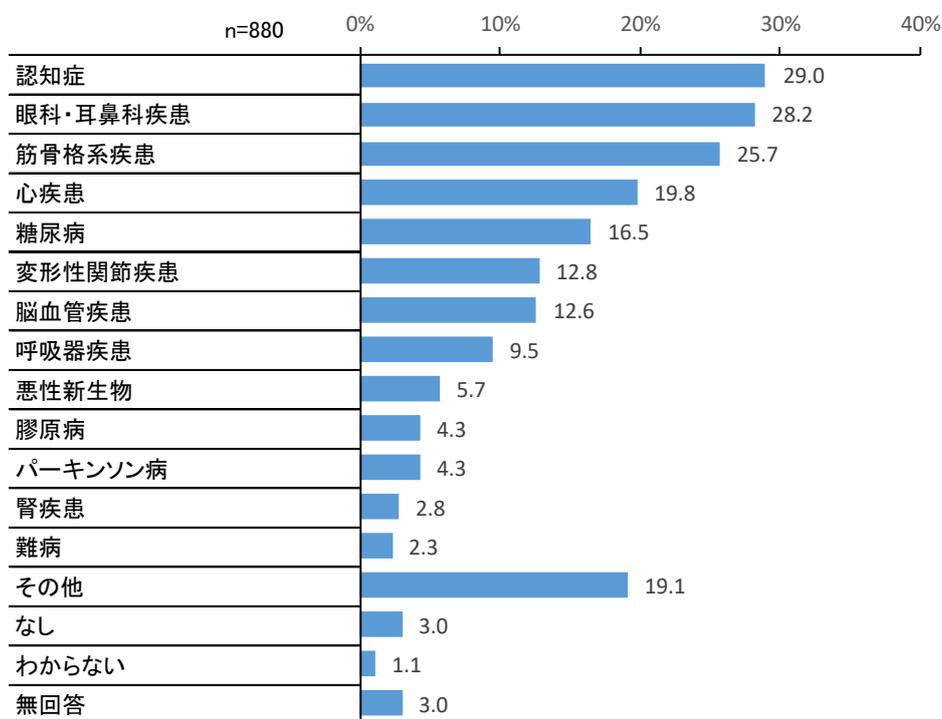
## 2-2 現在抱えている傷病

問7 ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。（〇はいくつでも）

対象者が現在抱えている傷病については、「認知症」が29.0%と最も高く、次いで「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」（28.2%）、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」（25.7%）、「心疾患（心臓病）」（19.8%）となっています。

性別でみると、男性では「認知症」が最も高く、女性では「筋骨格系疾患」が最も高くなっています。また、「脳血管疾患（脳卒中）」は男性で高く、「筋骨格系疾患」「変形性関節疾患」は女性で高くなっています。

年齢別でみると、75歳未満では「脳血管疾患」が最も高く、75歳以上では「認知症」が最も高くなっています。また、「脳血管疾患」は75歳未満で高く、「認知症」「眼科・耳鼻科疾患」「筋骨格系疾患」「変形性関節疾患」は75歳以上で高くなっています。

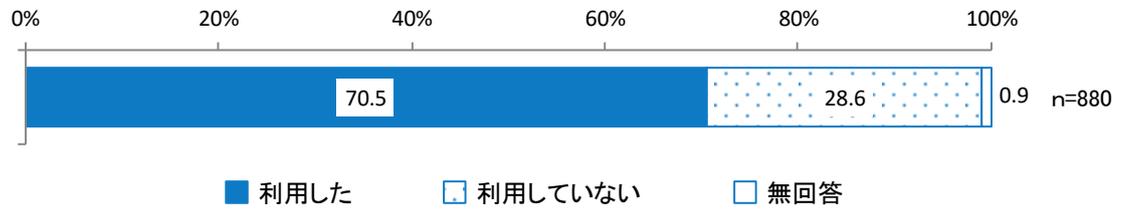


		件数	認知症	眼科・耳鼻科疾患	筋骨格系疾患	心疾患	糖尿病	変形性関節疾患	脳血管疾患	呼吸器疾患	悪性新生物	膠原病	パーキンソン病	腎疾患	難病（パーキンソン病を除く）	その他	なし	わからない	無回答
全体		880	29.0	28.2	25.7	19.8	16.5	12.8	12.6	9.5	5.7	4.3	4.3	2.8	2.3	19.1	3.0	1.1	3.0
性別	男性	303	27.7	27.4	13.5	22.8	19.1	5.9	22.1	13.9	7.9	1.3	5.0	4.3	4.3	18.5	3.3	0.7	1.0
	女性	570	29.5	28.9	32.3	18.1	15.3	16.5	7.7	7.4	4.6	6.0	4.0	2.1	1.2	19.5	2.8	1.4	3.7
年齢	75歳未満	106	16.0	13.2	10.4	12.3	21.7	3.8	29.2	10.4	6.6	5.7	10.4	2.8	7.5	17.9	2.8	0.9	1.9
	75歳以上	770	30.9	30.4	27.8	20.9	15.7	14.2	10.3	9.5	5.6	4.2	3.5	2.9	1.6	19.4	3.0	1.2	2.9

### 2-3 介護保険サービスの利用状況

問8 令和元年12月の1か月の間に、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用しましたか。（○は1つ）

1か月間の介護保険サービス利用の有無については、「利用した」は70.5%、「利用していない」は28.6%となっています。



問8で「1. 利用した」と回答した方

問8-1 以下の介護保険サービスについて、令和元年12月の1か月の間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない(0回、1. 利用していない)」を選択してください。(それぞれ1つに〇)

介護保険サービスの利用状況については、『利用した』(利用回数・日数のある選択肢の回答率の合計)が最も高いのは「通所介護」で52.5%となっています。次いで「通所リハビリテーション」(24.3%)、「ショートステイ」(17.3%)、「訪問介護」(16.9%)となっています。

サービスの利用頻度は、訪問介護・訪問看護・訪問リハビリテーションは「週1回程度」、訪問入浴介護・通所介護・通所リハビリテーションは「週2回程度」、夜間対応型訪問介護は「週5回以上」、ショートステイは「月1～7日程度」、居宅療養管理指導は「月1回程度」がそれぞれ最も高くなっています。

(%)

	件数	利用していない	利用した	利用した					無回答
				週1回程度	週2回程度	週3回程度	週4回程度	週5回以上	
訪問介護	620	18.9	16.9	6.1	4.5	2.4	1.6	2.3	64.2
訪問入浴介護	620	21.3	5.2	1.3	2.6	0.8	0.3	0.2	73.5
訪問看護	620	19.5	11.4	6.9	2.9	0.5	0.3	0.8	69.0
訪問リハビリテーション	620	19.8	10.2	4.5	3.1	1.1	1.0	0.5	70.0
通所介護	620	11.1	52.5	6.9	20.0	10.2	5.2	10.2	36.5
通所リハビリテーション	620	18.5	24.3	4.8	12.6	3.9	1.1	1.9	57.1
夜間対応型訪問介護	620	23.4	0.3	-	-	-	-	0.3	76.3

	件数	利用していない	利用した	無回答
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	620	61.9	6.8	31.3
小規模多機能型居宅介護	620	61.0	1.8	37.3
看護小規模多機能型居宅介護	620	61.8	0.6	37.6

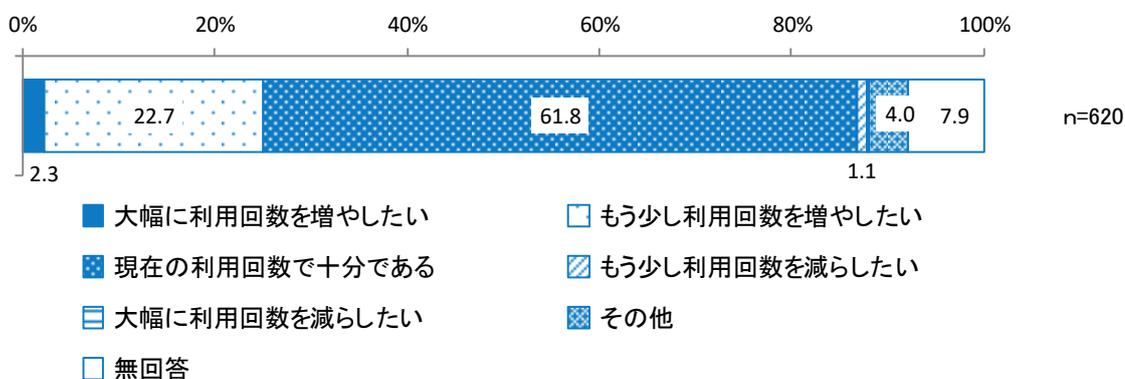
	件数	利用していない	利用した	利用した				無回答
				月1～7日程度	月8～14日程度	月15～21日程度	月22日以上	
ショートステイ	620	56.8	17.3	10.0	3.4	1.5	2.4	26.0

	件数	利用していない	利用した	利用した				無回答
				月1回程度	月2回程度	月3回程度	月4回程度	
居宅療養管理指導	620	61.9	5.6	3.5	1.6	0.2	0.3	32.4

## 2-4 介護保険サービスの利用意向

問8-2 現在利用している介護保険サービスの利用回数について、どのようにお考えですか。  
(〇は1つ)

介護保険サービスの利用意向については、「現在の利用回数で十分である」が 61.8%と最も高く、次いで「もう少し利用回数を増やしたい」(22.7%)となっています。

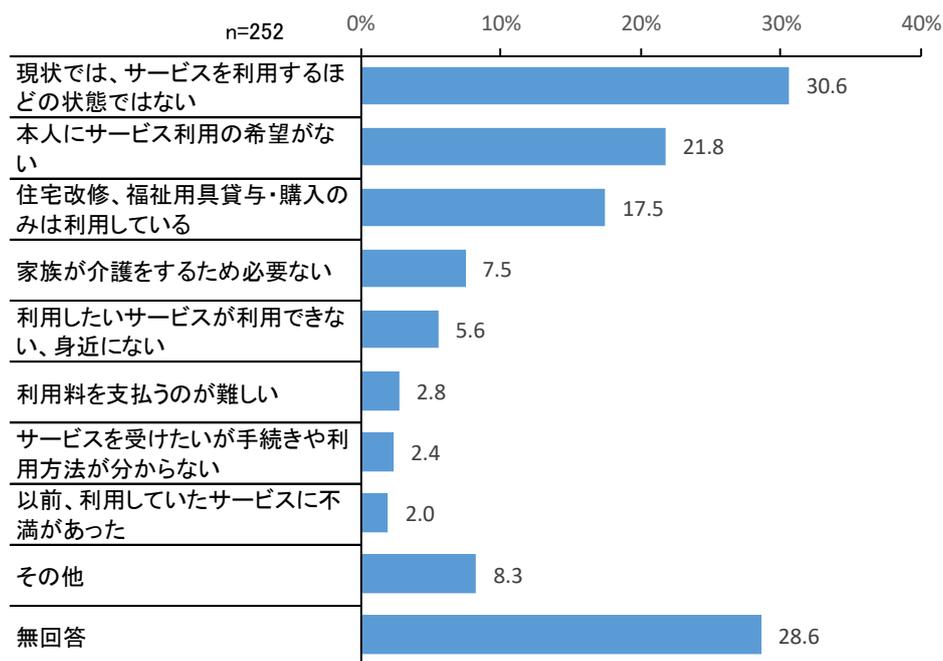


## 2-5 介護保険サービスを利用していない理由

問8で「2. 利用していない」と回答した方

問8-3 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

介護保険サービスを利用していない理由については、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 30.6%と最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」(21.8%)、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみは利用している」(17.5%)となっています。

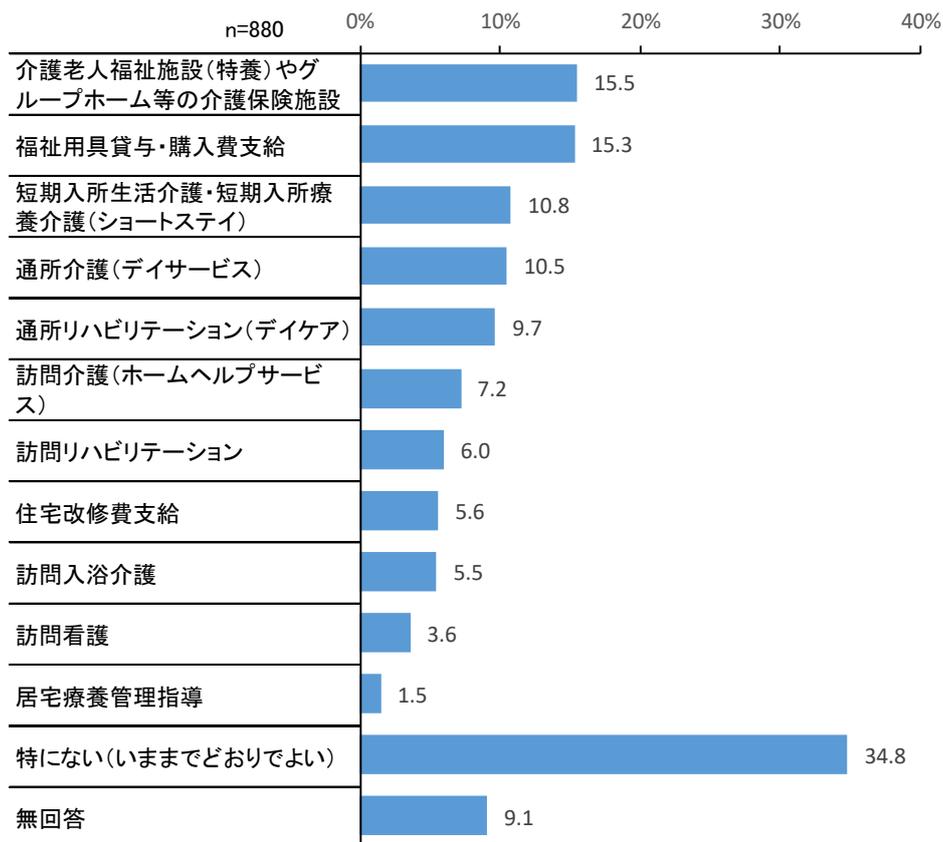


## 2-6 新たに利用したい介護保険サービス

問9 今後、新たに利用したいと思う介護保険サービスはありますか。(〇は3つまで)

新たに利用したい介護保険サービスについては、「特にない(いままでどおりでよい)」が34.8%と最も高くなっています。利用したいサービスとしては、「介護老人福祉施設やグループホームなどの介護保険施設」が15.5%と最も高く、次いで「福祉用具貸与・購入費支給」(15.3%)、「短期入所生活介護・短期入所療養介護(ショートステイ)」(10.8%)、「通所介護(デイサービス)」(10.5%)となっています。

介護者の有無別でみると、「短期入所生活介護・短期入所療養介護」は介護者ありで高くなっています。



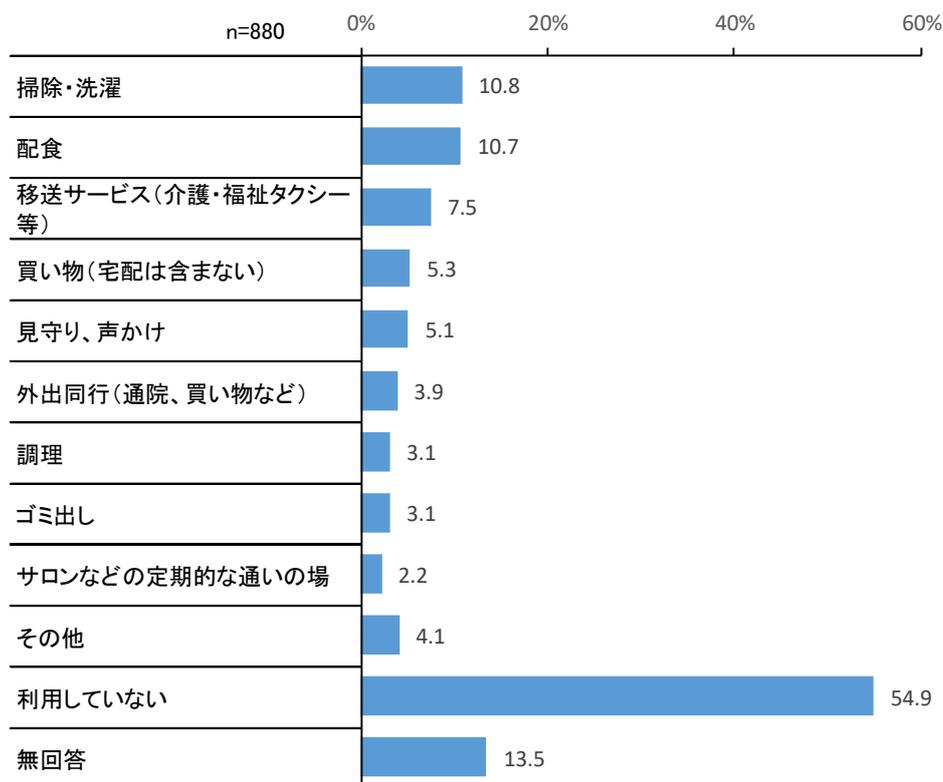
	件数	介護老人福祉施設やグループホームなど	介護用具貸与・購入費支給	短期入所生活介護・短期入所療養介護	通所介護	通所リハビリテーション	訪問介護	訪問リハビリテーション	住宅改修費支給	訪問入浴介護	訪問看護	居宅療養管理指導	特にない(いままでどおりでよい)	無回答
全体	880	15.5	15.3	10.8	10.5	9.7	7.2	6.0	5.6	5.5	3.6	1.5	34.8	9.1
介護者なし	259	10.8	13.1	4.6	8.1	7.3	6.6	4.2	6.6	2.3	5.4	2.3	41.3	14.7
介護者あり	519	19.5	16.6	15.2	11.8	11.0	7.5	6.7	5.0	7.1	2.9	1.2	32.8	3.3

## 2-7 現在利用している高齢者福祉サービス

問10 現在、利用している、「高齢者福祉サービス」の支援・サービスについて、ご回答ください。(〇はいくつでも)

現在利用している高齢者福祉サービスについては、「利用していない」が54.9%と最も高く、全体から「利用していない」と無回答を除いた『高齢者福祉サービスを利用している』人は31.6%となっています。利用しているサービスとしては、「掃除・洗濯」が10.8%と最も高く、次いで「配食」(10.7%)、「移送サービス」(7.5%)、「買い物」(5.3%)、「見守り、声かけ」(5.1%)となっています。

介護者の有無別で見ると、介護者なしでは「掃除・洗濯」が最も高く、介護者ありでは「配食」が最も高くなっています。



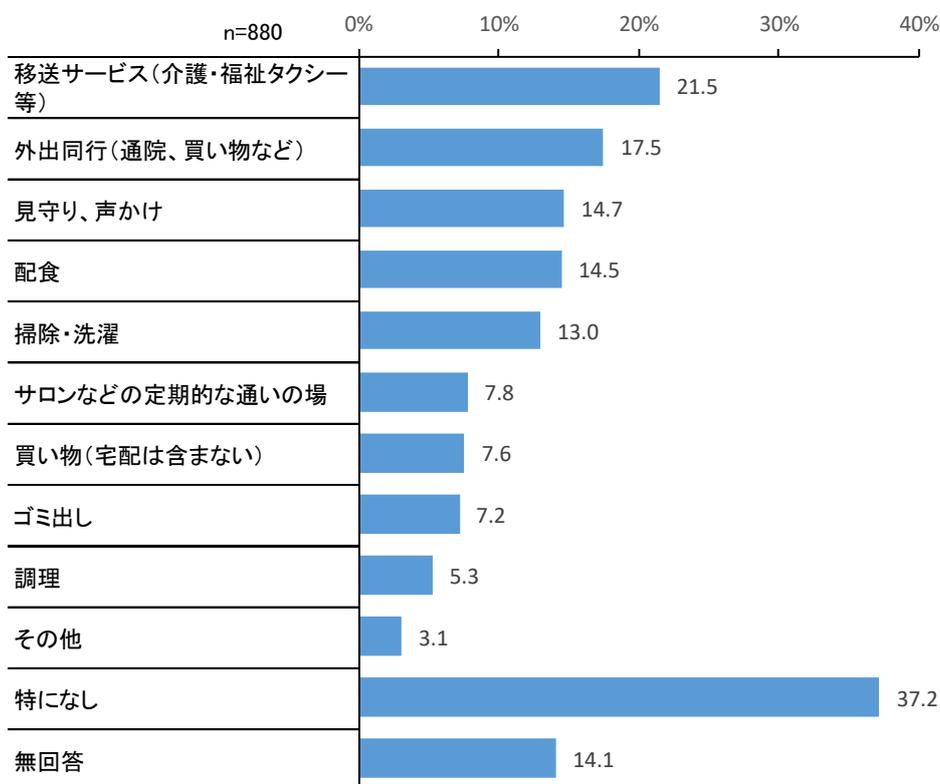
	件数	掃除・洗濯	配食	・移送サービス(介護・福祉タクシー等)	買い物(宅配は含まない)	見守り、声かけ	外出同行(通院、買い物など)	調理	ゴミ出し	サロンなどの定期的な通いの場	その他	利用していない	無回答
全体	880	10.8	10.7	7.5	5.3	5.1	3.9	3.1	3.1	2.2	4.1	54.9	13.5
介護者なし	259	16.6	10.4	5.0	9.7	5.4	5.0	4.6	4.6	2.3	3.9	49.8	16.6
介護者あり	519	8.5	11.4	8.7	3.1	4.8	3.1	2.3	2.3	2.3	4.0	60.5	8.9

## 2-8 在宅生活の継続に必要な支援・サービス

問11 今後の在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。（〇はいくつでも）※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

在宅生活の継続に必要な支援・サービスについては、全体から「特になし」（37.2%）と無回答を除いた『支援・サービスを必要としている』人は48.7%となっています。必要な支援・サービスとしては、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が21.5%と最も高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」（17.5%）、「見守り、声かけ」（14.7%）、「配食」（14.5%）、「掃除・洗濯」（13.0%）となっています。

介護者の有無別で見ると、「サロンなどの定期的な通いの場」は介護者ありの方がやや高くなっています。



	件数	移送サービス(介護・福祉タクシー等)	外出同行(通院、買い物など)	見守り、声かけ	配食	掃除・洗濯	サロンなどの定期的な通いの場	買い物(宅配は含まない)	ゴミ出し	調理	その他	特になし	無回答
全体	880	21.5	17.5	14.7	14.5	13.0	7.8	7.6	7.2	5.3	3.1	37.2	14.1
介護者なし	259	20.5	17.4	13.1	12.0	15.1	4.6	7.7	5.8	5.0	1.9	38.2	17.0
介護者あり	519	23.5	18.3	15.8	16.6	12.9	10.6	7.7	8.3	5.8	3.3	38.7	8.9

## 2-9 訪問診療の利用の有無

問12 ご本人（本調査対象者）は、現在、訪問診療（医療保険）を利用していますか。（○は1つ）

訪問診療の利用については、「利用している」が16.7%、「利用していない」が75.5%となっています。

要介護度でみると、「利用している」は要介護度があがるにつれて割合が高くなっており、要介護1・2で15.4%、要介護3～5で30.1%となっています。

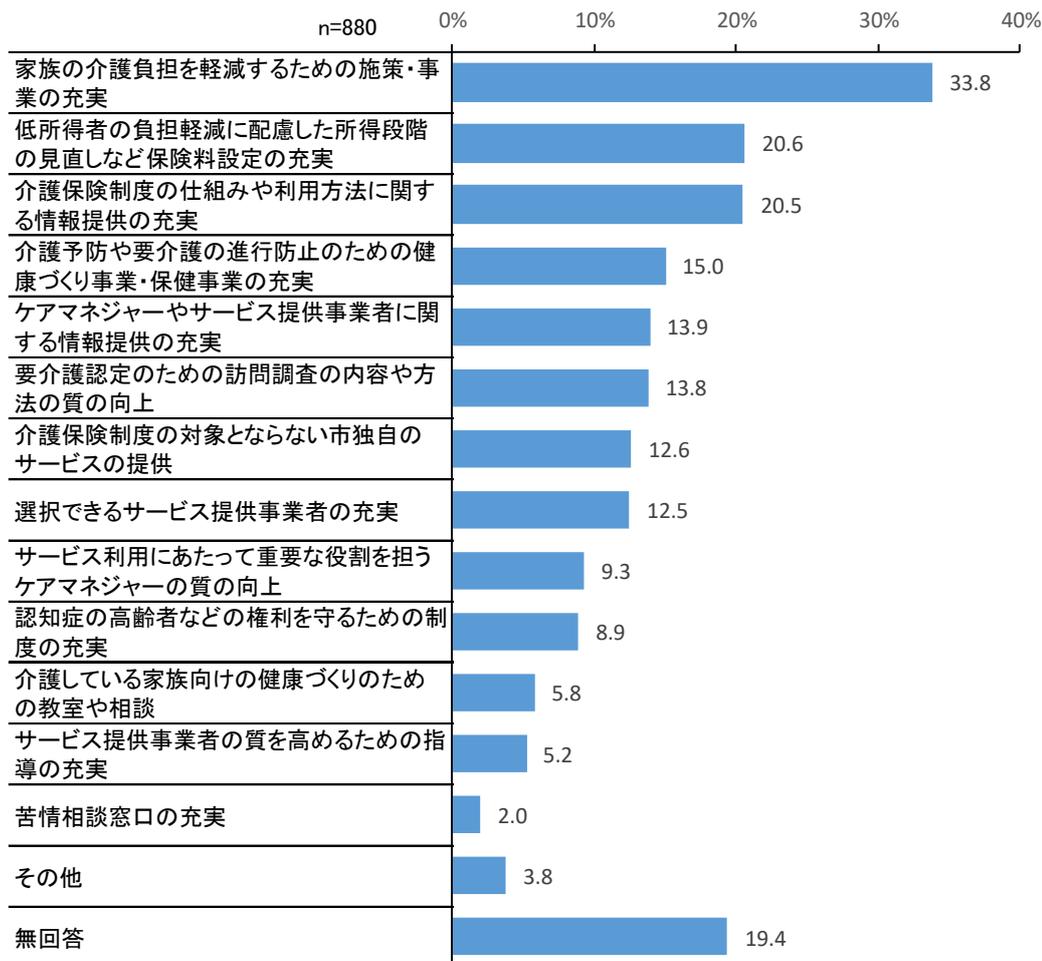


	件数	利用している	利用していない	無回答
全体	880	16.7	75.5	7.8
要支援1・2	353	11.9	77.9	10.2
要介護1・2	306	15.4	80.1	4.6
要介護3～5	186	30.1	61.8	8.1

## 2-10 注力してほしい介護関連施策

問13 介護保険制度をはじめ、介護にかかわるこれからの施策のあり方について、特に力を入れてほしいことは何ですか。（〇は3つまで）

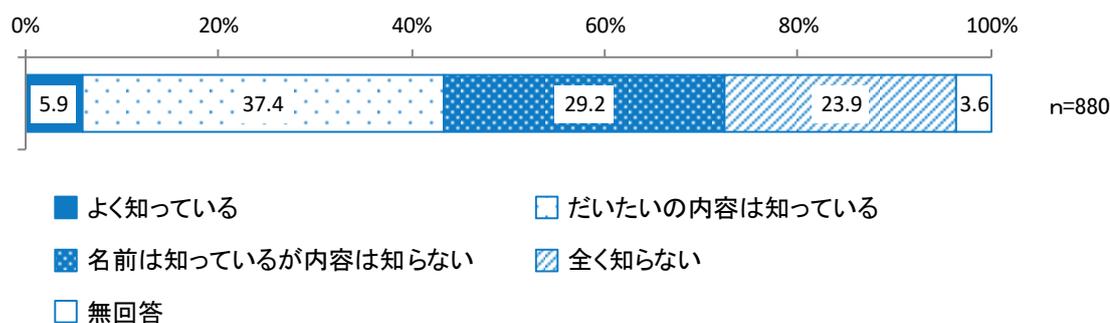
注力してほしい介護関連施策は、「家族の介護負担を軽減するための施策・事業の充実」が33.8%と最も高く、次いで「低所得者の負担軽減に配慮した所得段階の見直しなど保険料設定の充実」(20.6%)、「介護保険制度の仕組みや利用方法に関する情報提供の充実」(20.5%)、「介護予防や要介護の進行防止のための健康づくり事業・保健事業の充実」(15.0%)、「ケアマネジャーやサービス提供事業者に関する情報提供の充実」(13.9%)、「要介護認定のための訪問調査の内容や方法の質の向上」(13.8%)となっています。



## 2-11 成年後見制度について

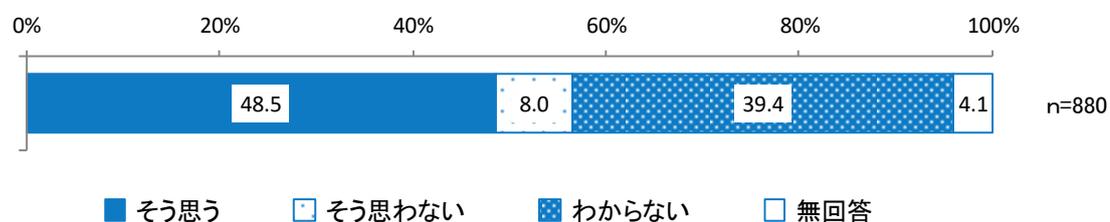
### 問14 あなたは、成年後見制度を知っていますか。（〇は1つ）

成年後見制度の認知度については、「だいたいの内容は知っている」が 37.4%と最も高く、次いで「名前は知っているが内容は知らない」（29.2%）、「全く知らない」（23.9%）となっています。「よく知っている」は 5.9%となっており、「だいたいの内容は知っている」と合わせた“内容の理解度”は 43.4%、さらに「名前は知っているが内容は知らない」を合わせた“名称の認知度”は 72.5%となっています。



### 問15 成年後見制度は、今後必要な制度だと思いますか。（〇は1つ）

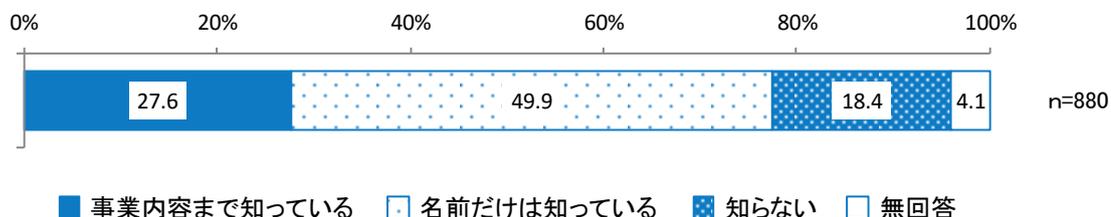
成年後見制度が今後自分に必要かどうかについては、「そう思う」が 48.5%、「わからない」が 39.4%、「そう思わない」が 8.0%となっています。



## 2-12 地域包括支援センターの認知度

問16 あなたは、地域包括支援センターを知っていますか。（〇は1つ）

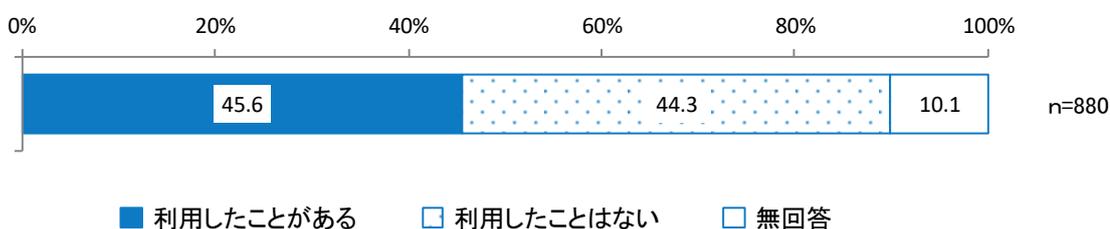
地域包括支援センターの認知度については、「名前だけは知っている」が49.9%で、「事業内容まで知っている」(27.6%)と合わせた“名称の認知度”は77.5%となっています。一方、「知らない」は18.4%となっています。



## 2-13 地域包括支援センターの利用状況

問17 あなたは、地域包括支援センターを利用したことがありますか。（〇は1つ）

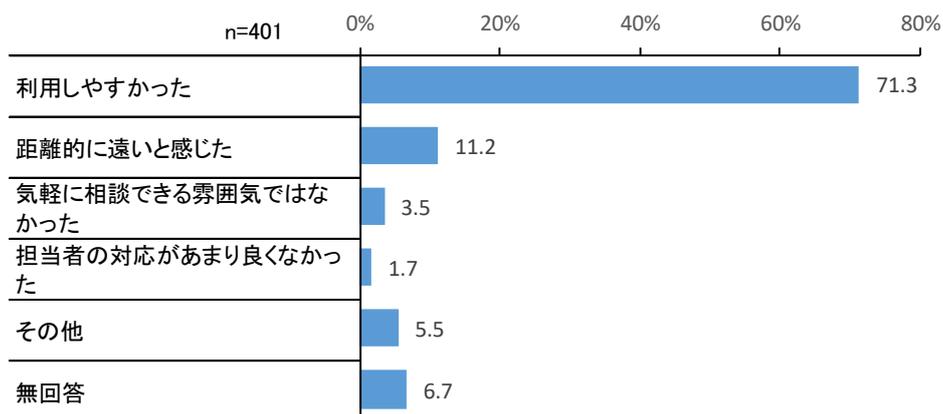
地域包括支援センター利用の有無は、「利用したことがある」が45.6%、「利用したことはない」が44.3%となっています。



問17で「1. 利用したことがある」とお答えの方

問17-1 地域包括支援センターの印象はいかがでしたか。（〇は1つ）

地域包括支援センターを利用した際の印象については、「利用しやすかった」が71.3%と最も高く、次いで「距離的に遠いと感じた」(11.2%)となっています。

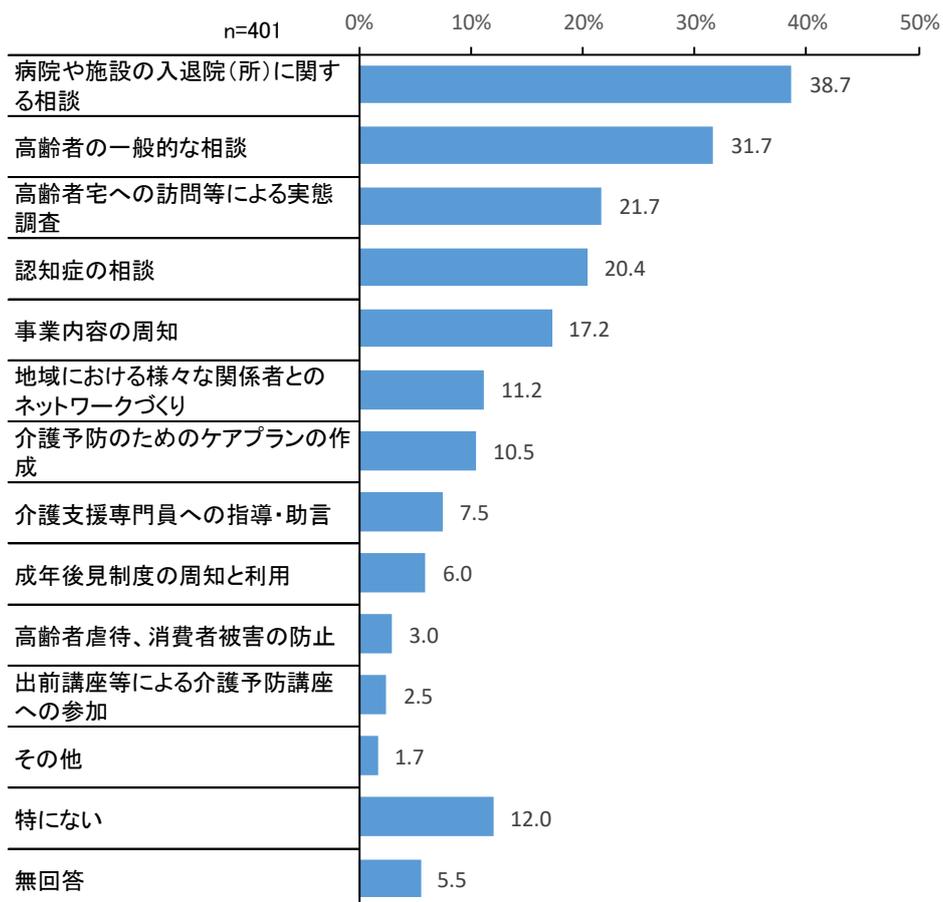


## 2-14 注力してほしい地域包括支援センターの事業

問17で「1. 利用したことがある」とお答えの方

問17-2 今後、地域包括支援センターに特に力を入れてほしい事業は何ですか。（〇は3つまで）

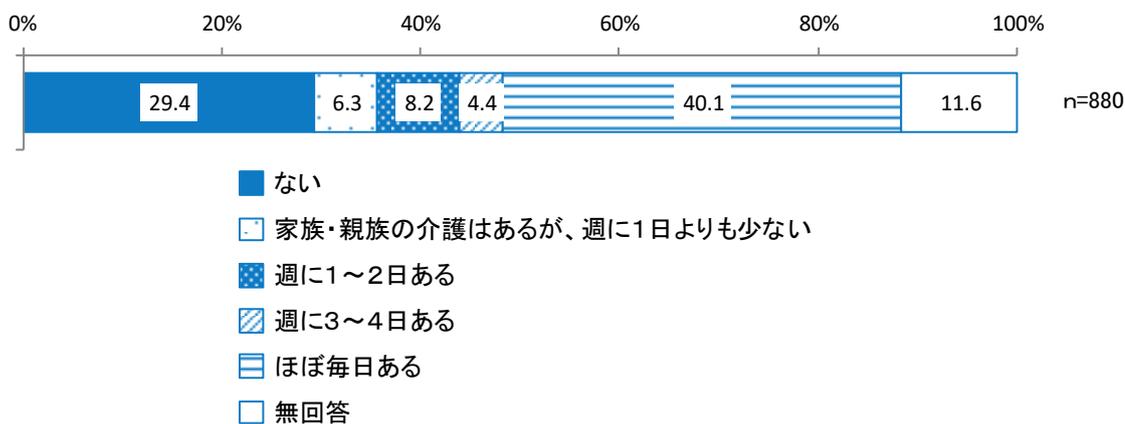
注力してほしい地域包括支援センターの事業は、「病院や施設の入退院（所）に関する相談」が 38.7%と最も高く、次いで「高齢者の一般的な相談」（31.7%）、「高齢者宅への訪問等による実態調査」（21.7%）、「認知症の相談」（20.4%）、「事業内容の周知」（17.2%）となっています。また、「特にない」が 12.0%となっています。



## 2-15 家族等による介護の頻度

問18 家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）。（○は1つ）

家族等による介護の頻度については、「ほぼ毎日ある」が40.1%と最も高く、「ない」が29.4%となっています。全体から「ない」と無回答を除いた『介護者あり』は59.0%となっています。



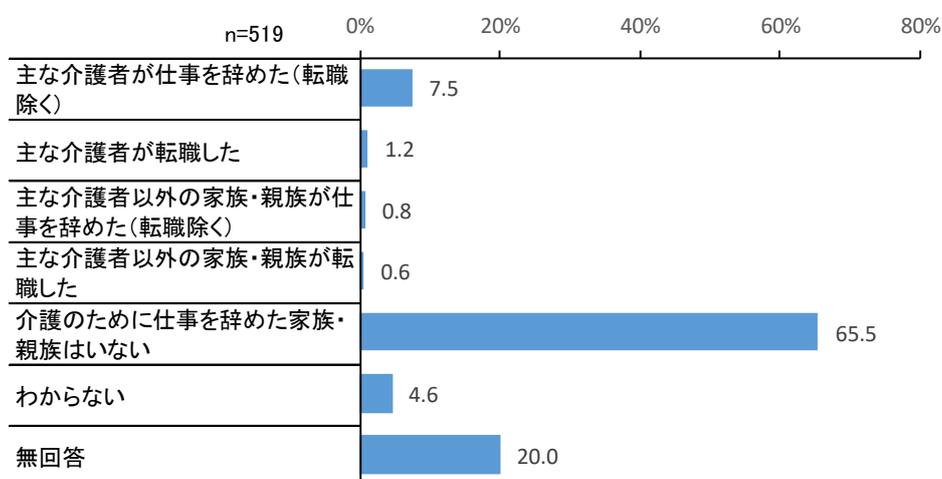
### 3 主な介護者について

問18で「2」～「5」とお答えの方

#### 3-1 介護のための離職の有無

問19 ご家族やご親族の中で、ご本人（本調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）。（〇はいくつでも）

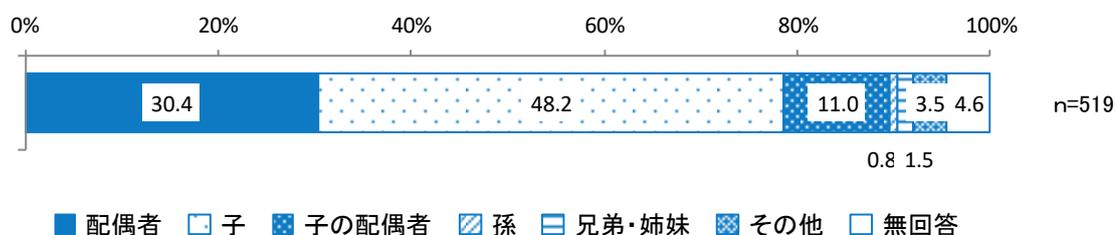
家族や親族で介護のための離職があったかどうかについては、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が65.5%となっています。また、「主な介護者が仕事を辞めた」は7.5%となっています。全体から「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と「わからない」と無回答を除いた『家族等が介護のために離職した』人は9.9%となっています。



#### 3-2 主な介護者の本人との関係

問20 主な介護者の方は、ご本人（本調査対象者）から見てどなたですか。（〇は1つ）

主な介護者は、「子」が48.2%と最も高く、次いで「配偶者」(30.4%)、「子の配偶者」(11.0%)となっています。

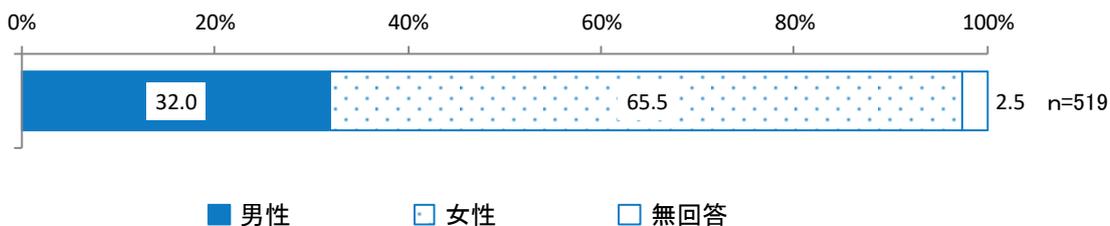


### 3-3 主な介護者の性別、年齢

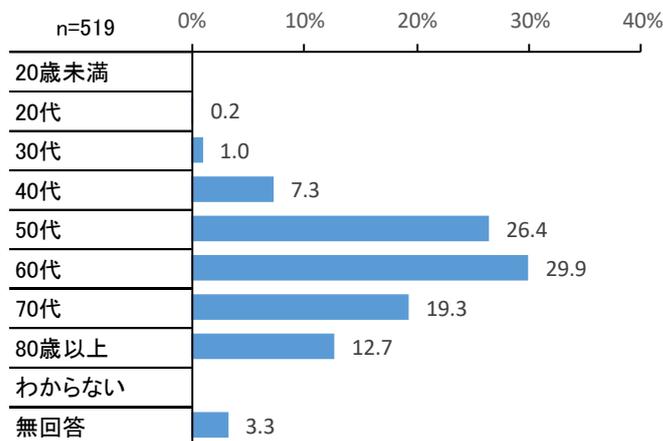
問21 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。(〇は1つ)  
 問22 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(〇は1つ)

主な介護者の性別は、「男性」が32.0%、「女性」が65.5%となっています。  
 主な介護者の年齢は、「60代」が29.9%と最も高く、次いで「50代」(26.4%)、「70代」(19.3%)、「80歳以上」(12.7%)となっています

【主な介護者の性別】



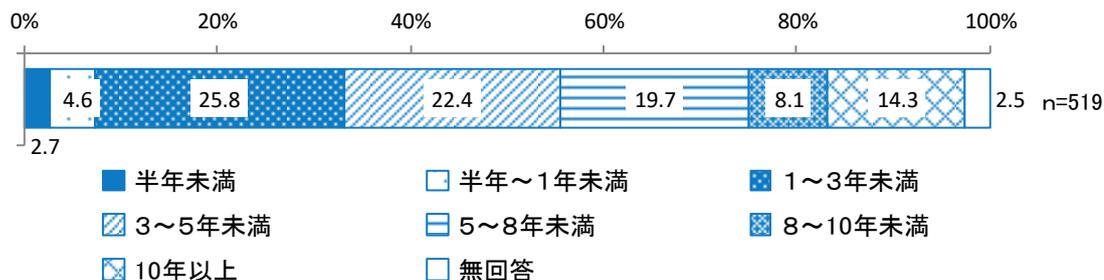
【主な介護者の年齢】



### 3-4 介護の継続年数

問23 ご本人への介護を、どのくらい続けていますか。(〇は1つ)

介護の継続年数は、「1～3年未満」が25.8%と最も高く、次いで「3～5年未満」(22.4%)、「5～8年未満」(19.7%)、「10年以上」(14.3%)となっています。

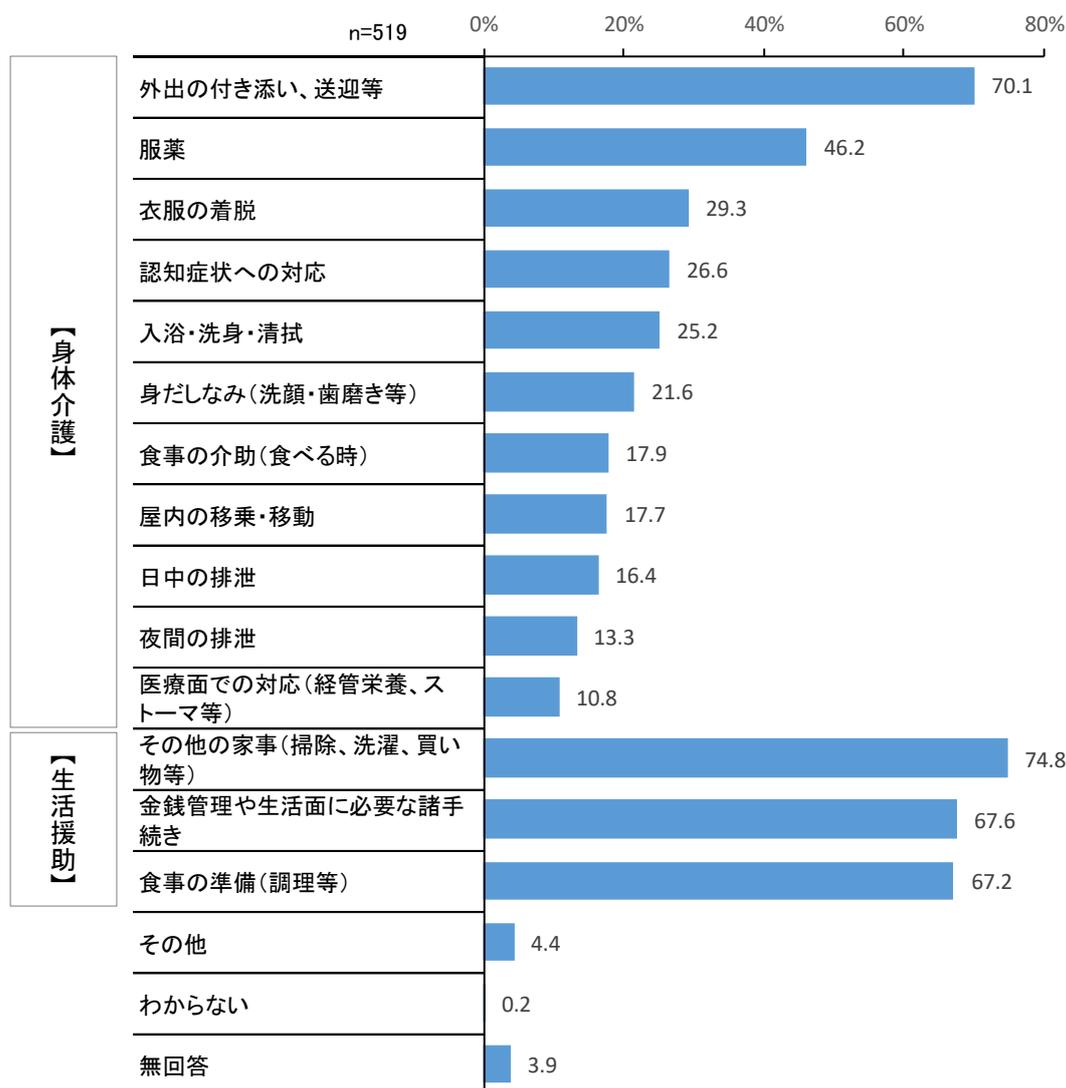


### 3-5 現在行っている介護

問24 現在、主な介護者の方が行っている介護の内容について、ご回答ください。（〇はいくつでも）

現在行っている介護は、【身体介護】では「外出の付き添い、送迎等」（70.1%）が最も高く、次いで「服薬」（46.2%）、「衣服の着脱」（29.3%）、「認知症状への対応」（26.6%）、「入浴・洗身・清拭」（25.2%）となっています。

一方、【生活援助】では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」（74.8%）が最も高く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」（67.6%）、「食事の準備（調理等）」（67.2%）と、いずれも約7割の高い割合となっています。

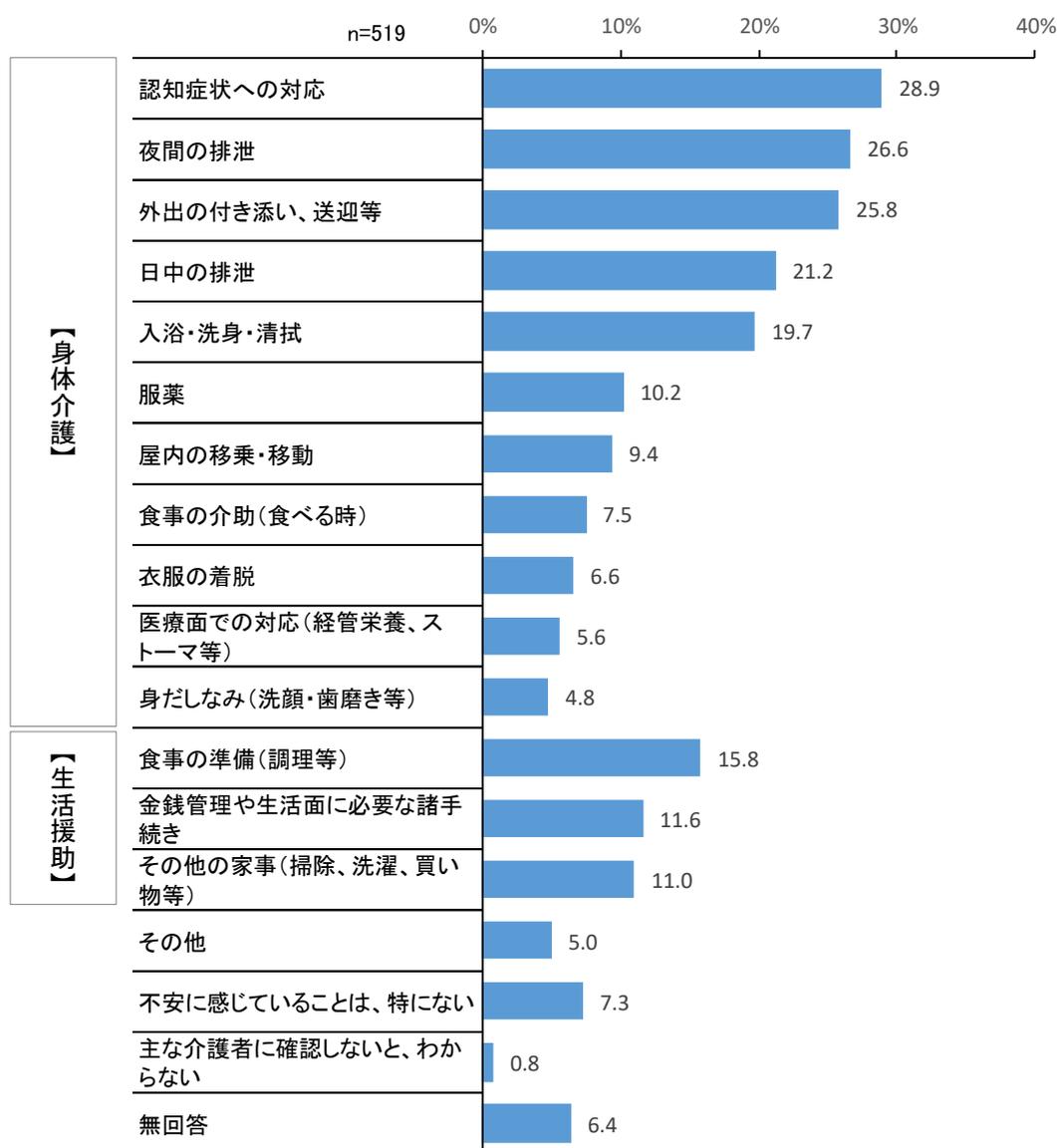


### 3-6 在宅生活の継続にあたり不安を感じる介護

問25 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護の内容について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）。（〇は3つまで）

在宅生活の継続にあたり不安を感じる介護は、【身体介護】では「認知症状への対応」（28.9%）が最も高く、次いで「夜間の排泄」（26.6%）、「外出の付き添い、送迎等」（25.8%）、「日中の排泄」（21.2%）、「入浴・洗身・清拭」（19.7%）となっています。

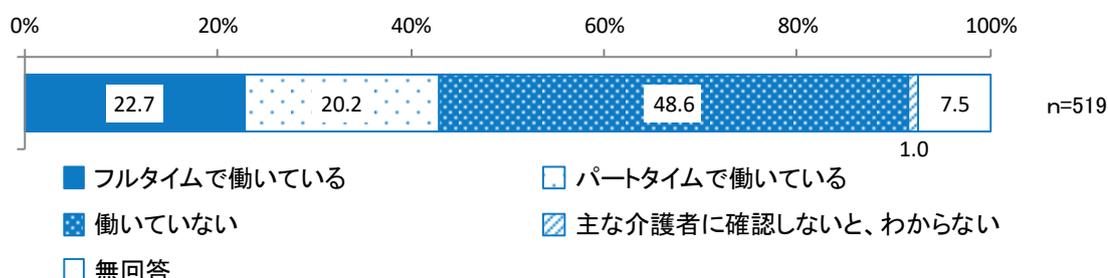
一方、【生活援助】では「食事の準備（調理等）」（15.8%）が最も高く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」（11.6%）、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」（11.0%）と、いずれも【身体介護】の上位5項目より低い割合となっています。



### 3-7 介護者の勤務形態

問26 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。（〇は1つ）

主な介護者の現在の勤務形態については、「働いていない」が 48.6%と最も高く、次いで「フルタイムで働いている」(22.7%)、「パートタイムで働いている」(20.2%) となっています。

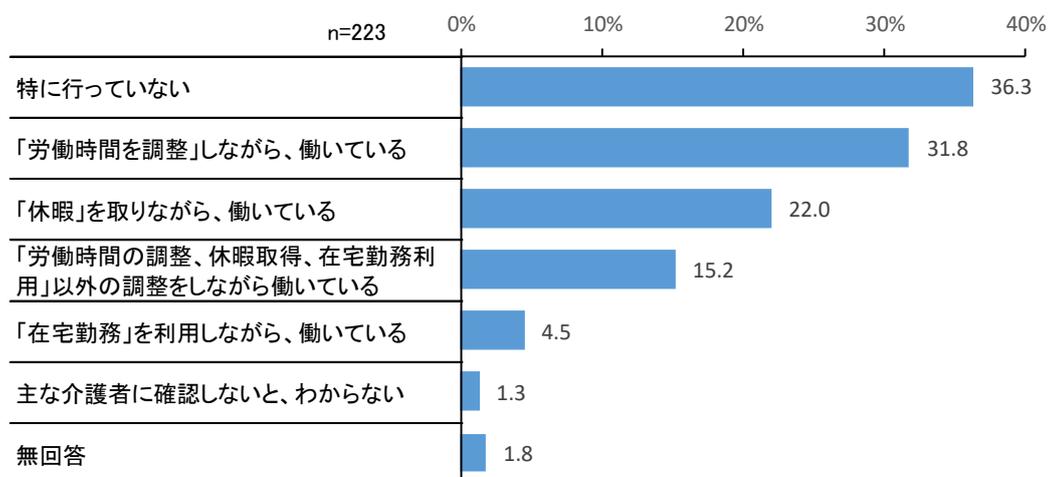


### 3-8 介護のための働き方の調整の状況

問26で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方

問27 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。（〇はいくつでも）

介護のための働き方の調整の状況については、「特に行っていない」が 36.3%と最も高く、全体から「特に行っていない」と「主な介護者に確認しないと、わからない」と無回答を除いた『介護のために働き方を調整している』人は 60.6%となっています。調整方法としては、「介護のために、『労働時間を調整』しながら、働いている」が 31.8%と最も高く、次いで「介護のために、『休暇』を取りながら、働いている」(22.0%)、「介護のために、『労働時間の調整、休暇取得、在宅勤務利用』以外の調整をしながら、働いている」(15.2%)、「介護のために、『在宅勤務』を利用しながら、働いている」(4.5%) となっています。

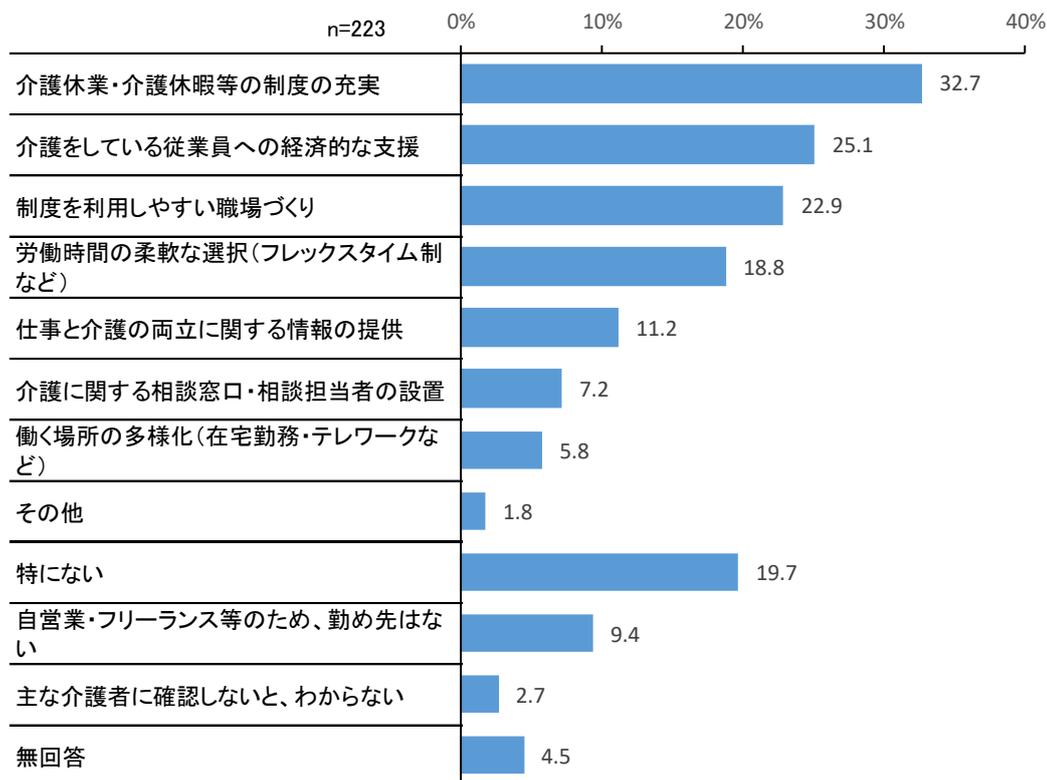


### 3-9 仕事と介護の両立に必要な勤め先からの支援

問26で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方

問28 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。（〇は3つまで）

仕事と介護の両立に必要な勤務先からの支援は、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が32.7%と最も高く、次いで「介護をしている従業員への経済的な支援」（25.1%）、「制度を利用しやすい職場づくり」（22.9%）、「労働時間の柔軟な選択」（18.8%）となっています。

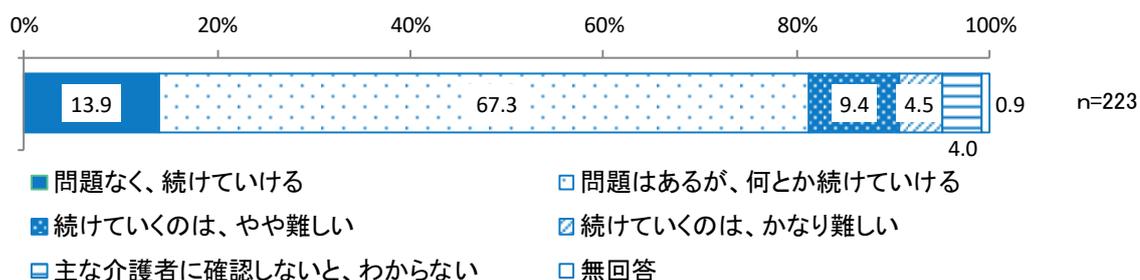


### 3-10 主な介護者の就労継続の可否に係る意識

問26で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方

問29 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。（〇は1つ）

主な介護者の今後の就労継続の可否については、「問題なく、続けていける」（13.9%）と「問題はあるが、何とか続けていける」（67.3%）を合わせた『続けていける』人は81.2%となっています。一方、「続けていくのは、かなり難しい」（4.5%）と「続けていくのは、やや難しい」（9.4%）を合わせた『続けていくのは難しい』人は13.9%となっています。



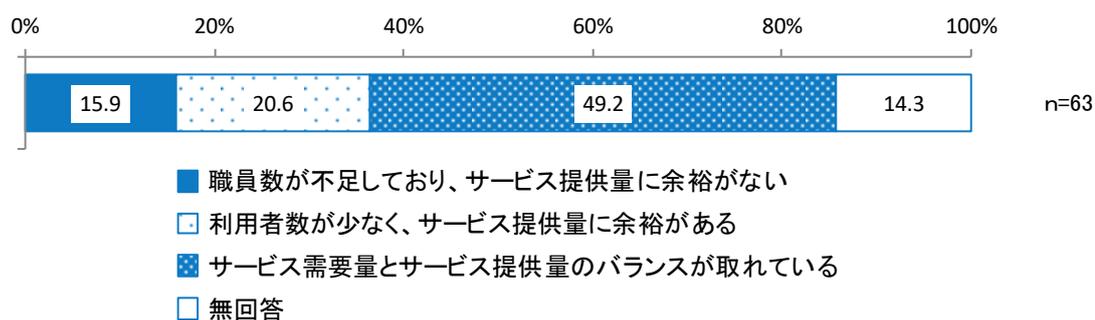
### (3) サービス事業者調査

#### 1 介護サービスの実施状況

##### 1-1 サービス提供の状況

問2 現在、貴事務所におけるサービス提供はどのような状況ですか。(○は1つだけ)

サービス提供の状況については、「利用者数が少なく、サービス提供量に余裕がある」(20.6%)が「職員数が不足しており、サービス提供量に余裕がない」(15.9%)を上回っています。また、「サービス需要量とサービス提供量のバランスが取れている」は49.2%と最も高くなっています。



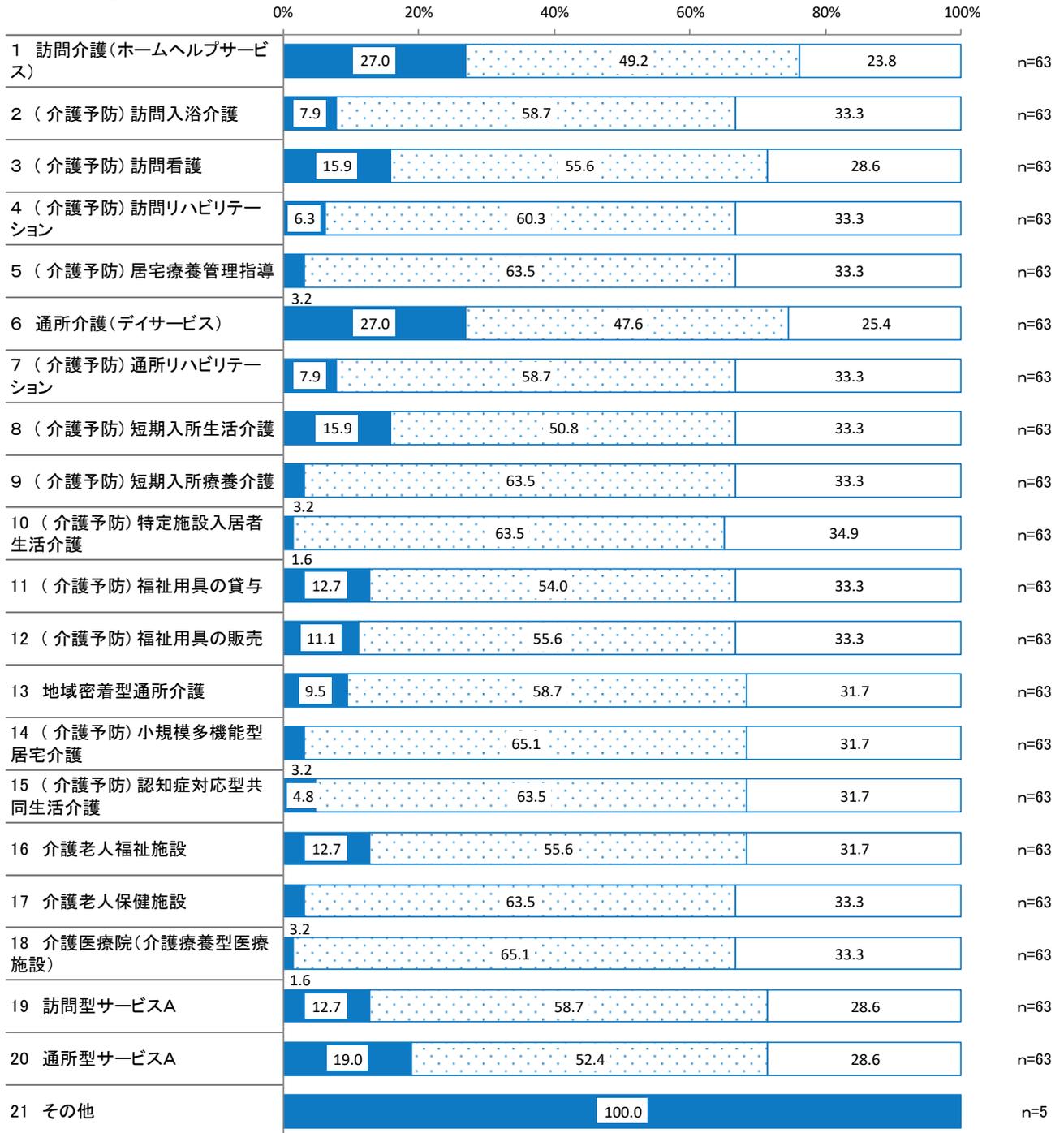
## 1-2 介護サービスの実施状況と実施予定

問3 貴事務所における介護サービスの現在の実施状況と今後の実施予定について、各項目で該当するものに○をつけてください。

(「現在」実施していない場合「今後」もお答えください)

介護サービスの現在の実施状況をみると、現在「実施している」サービスとしては、訪問介護（ホームヘルプサービス）、通所介護（デイサービス）（ともに 27.0%）、通所型サービスA（19.0%）、（介護予防）訪問看護、（介護予防）短期入所生活介護（ともに 15.9%）が高くなっています。

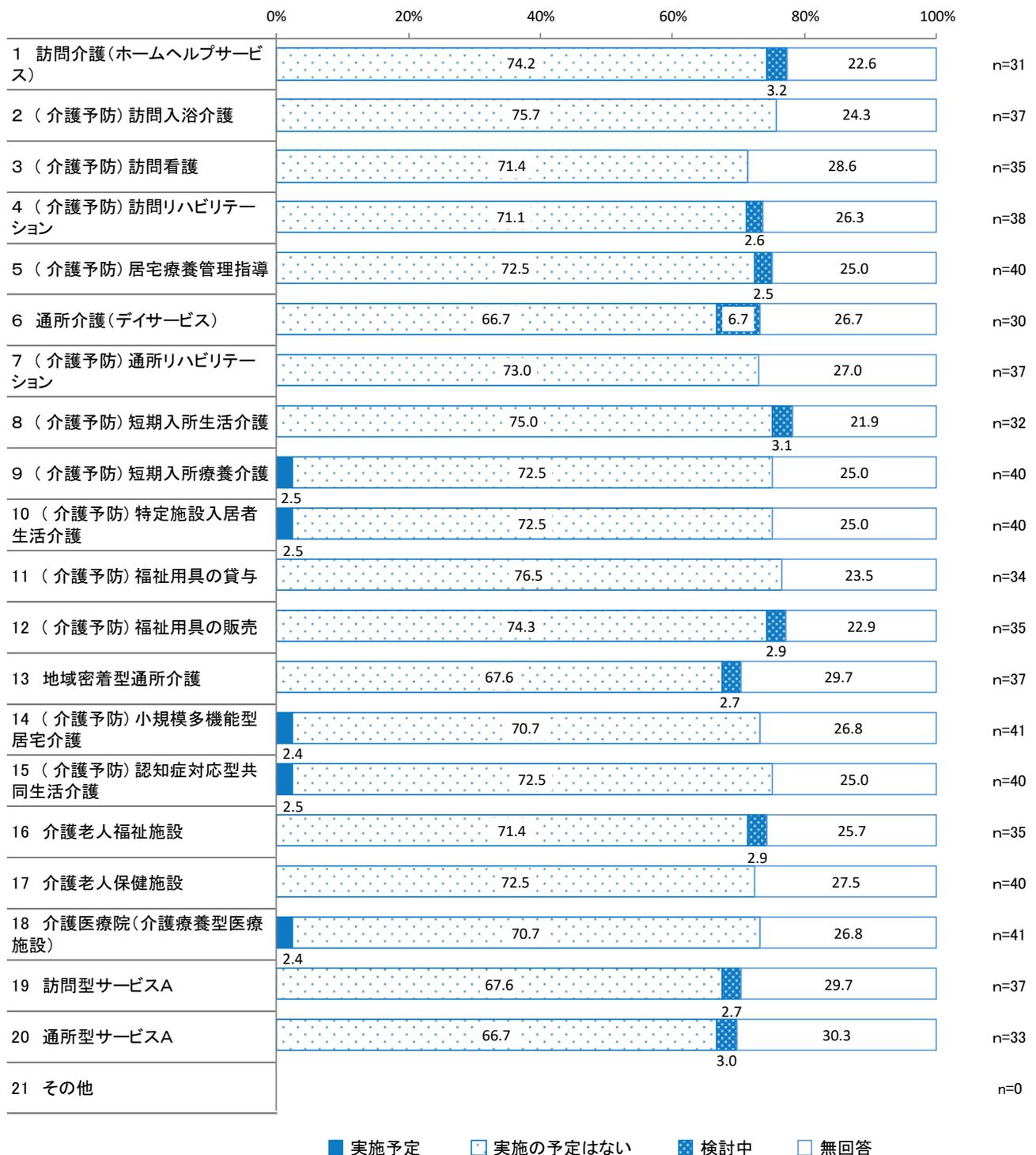
### 【現在の実施状況】



■ 実施している    □ 実施していない    □ 無回答

今後の実施予定をみると、「実施予定」のあるサービスとしては、(介護予防)短期入所療養介護、(介護予防)特定施設入居者生活介護、(介護予防)小規模多機能型居宅介護、(介護予防)認知症対応型共同生活介護、介護医療院(介護療養型医療施設)が回答されています。また、実施を「検討中」のサービスとしては、通所介護(デイサービス)等が回答されています。

【今後の実施予定】



### 1-3 介護サービスの利用者数及び利用回数の状況

問4 貴事務所で実施している事業について、利用者数及び利用回数の状況について、各項目で該当するものに○をつけてください。

現在実施している事業の利用者数の状況をみると、「増加傾向」が「減少傾向」を複数件上回っているサービスは、訪問介護（ホームヘルプサービス）、（介護予防）訪問看護、（介護予防）訪問リハビリテーション、（介護予防）通所リハビリテーション、訪問型サービスAとなっています。一方、「減少傾向」が「増加傾向」を複数件上回っているサービスは、通所介護（デイサービス）となっています。

#### 【利用者数の状況】

	件数	(件数)					
		増加傾向	横ばい	減少傾向	増えたり減ったり	その他	無回答
1 訪問介護(ホームヘルプサービス)	63	5	4	-	6	-	48
2 (介護予防)訪問入浴介護	63	1	4	1	-	1	56
3 (介護予防)訪問看護	63	4	3	1	1	-	54
4 (介護予防)訪問リハビリテーション	63	2	2	-	-	-	59
5 (介護予防)居宅療養管理指導	63	-	2	-	-	1	60
6 通所介護(デイサービス)	63	1	4	5	6	-	47
7 (介護予防)通所リハビリテーション	63	2	3	-	-	-	58
8 (介護予防)短期入所生活介護	63	1	7	2	1	-	52
9 (介護予防)短期入所療養介護	63	-	2	-	-	2	59
10 (介護予防)特定施設入居者生活介護	63	-	1	-	-	1	61
11 (介護予防)福祉用具の貸与	63	1	4	-	2	-	56
12 (介護予防)福祉用具の販売	63	1	3	1	3	-	55
13 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	63	-	1	1	-	1	60
14 夜間対応型訪問介護	63	-	1	-	-	1	61
15 地域密着型通所介護	63	1	1	2	2	1	56
16 (介護予防)認知症対応型通所介護	63	-	1	-	-	1	61
17 (介護予防)小規模多機能型居宅介護	63	-	1	-	2	1	59
18 (介護予防)認知症対応型共同生活介護	63	-	2	-	2	1	58
19 地域密着型特定施設入居者生活介護	63	-	1	-	-	1	61
20 地域密着型介護老人福祉施設	63	-	1	-	-	1	61
21 看護小規模多機能型居宅介護(複合型サービス)	63	-	1	-	-	1	61
22 介護老人福祉施設	63	-	7	-	-	1	55
23 介護老人保健施設	63	-	3	-	-	1	59
24 介護医療院(介護療養型医療施設)	63	-	2	-	-	1	60
25 訪問型サービスA	63	3	3	-	1	-	56
26 通所型サービスA	63	1	6	2	1	-	53
27 その他	6	2	-	3	1	-	-

利用回数の状況を見ると、「増加傾向」が「減少傾向」を複数件上回っているサービスは、訪問介護（ホームヘルプサービス）、（介護予防）訪問看護、（介護予防）通所リハビリテーション、訪問型サービスAとなっています。一方、「減少傾向」が「増加傾向」を複数件上回っているサービスは、通所介護（デイサービス）、（介護予防）短期入所生活介護となっています。

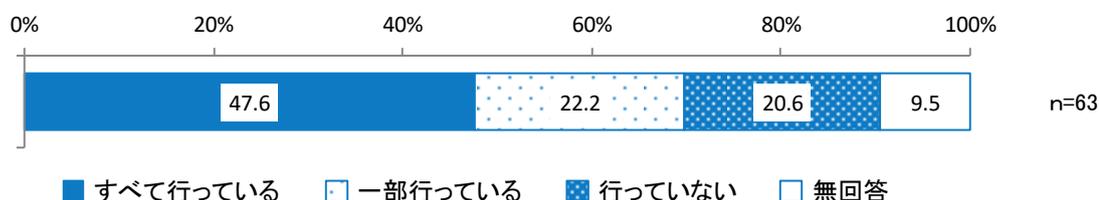
【利用回数の状況】

	件数	(件数)					
		増加傾向	横ばい	減少傾向	増えたり	その他	無回答
1 訪問介護(ホームヘルプサービス)	63	6	4	-	5	-	48
2 (介護予防)訪問入浴介護	63	1	4	1	-	1	56
3 (介護予防)訪問看護	63	3	4	1	1	-	54
4 (介護予防)訪問リハビリテーション	63	1	3	-	-	-	59
5 (介護予防)居宅療養管理指導	63	-	2	-	-	1	60
6 通所介護(デイサービス)	63	2	6	4	4	-	47
7 (介護予防)通所リハビリテーション	63	2	3	-	-	-	58
8 (介護予防)短期入所生活介護	63	1	6	3	1	-	52
9 (介護予防)短期入所療養介護	63	-	2	-	-	2	59
10 (介護予防)特定施設入居者生活介護	63	-	1	-	-	1	61
11 (介護予防)福祉用具の貸与	63	1	2	1	2	-	57
12 (介護予防)福祉用具の販売	63	1	3	1	3	-	55
13 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	63	-	2	1	-	1	59
14 夜間対応型訪問介護	63	-	1	-	-	1	61
15 地域密着型通所介護	63	-	2	1	1	1	58
16 (介護予防)認知症対応型通所介護	63	-	1	-	-	1	61
17 (介護予防)小規模多機能型居宅介護	63	1	1	-	1	1	59
18 (介護予防)認知症対応型共同生活介護	63	-	2	-	1	1	59
19 地域密着型特定施設入居者生活介護	63	-	1	-	-	1	61
20 地域密着型介護老人福祉施設	63	-	1	-	-	1	61
21 看護小規模多機能型居宅介護(複合型サービス)	63	-	1	-	-	1	61
22 介護老人福祉施設	63	-	5	-	-	3	55
23 介護老人保健施設	63	-	3	-	-	1	59
24 介護医療院(介護療養型医療施設)	63	-	2	-	-	1	60
25 訪問型サービスA	63	3	3	-	1	-	56
26 通所型サービスA	63	2	6	2	1	-	52
27 その他	4	1	1	1	-	1	-

#### 1-4 総合事業利用者との目標共有の状況

問5 総合事業の利用について利用者と目標を共有していますか。(〇は1つだけ)

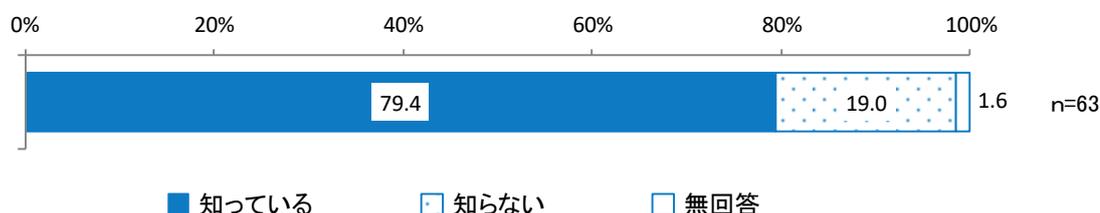
総合事業の利用における利用者との目標の共有については、「すべて行っている」が47.6%で、「一部行っている」(22.2%)を合わせた『行っている』は69.8%となっています。一方、「行っていない」は20.6%となっています。



#### 1-5 生活支援コーディネーターの認知度

問6 社会資源に関する相談を生活支援コーディネーター(社協)にできることを知っていますか。(〇は1つだけ)

生活支援コーディネーター(社協)の認知度については、「知っている」が79.4%となっています。

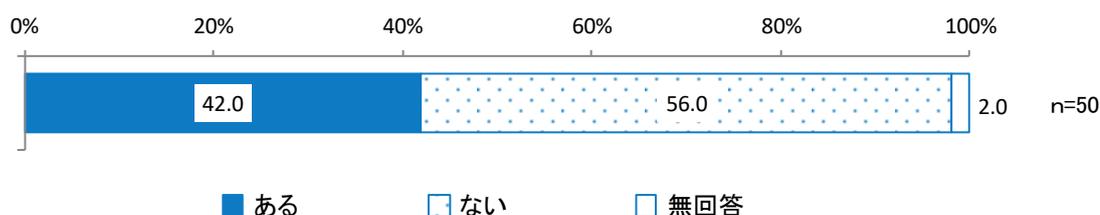


#### 1-6 生活支援コーディネーターの利用状況

<問6で「1 知っている」と答えた方>

問6-1 生活支援コーディネーター(社協)を活用したことがありますか。

生活支援コーディネーターの活用経験については、「ある」が42.0%となっています。



## 1-7 多職種の連携についての意見

問7 多職種の連携について、どのようにお考えですか。ご自由にお書きください。

多職種の連携については、下記のような内容で34件のご意見をいただきました。

	内 容	件数
1	必要である、重要である	19
2	課題がある、難しい	12
3	現在、連携がうまくできている	3
合 計		34

いただいたご意見の一部（抜粋）

### < 1 必要である、重要である >

- ・介護の仕事は多くの職種が関わりサービス提供を行う。一人ひとりの専門性を活かし、多方面からの視点でケアを行うことで、より良いサービスが提供できると思う。
- ・現在も今後も多職種で連携して情報共有していかないと、核家族化等で利用者の個人情報拾い難い時代となっているので、常に必要性を感じている。
- ・今後さらに福祉の充実を考えた時、多職種の連携がとても重要だと思う。そのためにも今後リモート会議等を増やしていき、効率よく勉強会や情報の共有ができるようになれば良いと思う。
- ・状況変化等への対応が迅速にでき、ご本人・ご家族の安心感、支援につなげるために大切だと思う。
- ・複数サービスを利用している方、特に介護度が高い方のケアについては、ケアマネを中心とした情報共有が欠かせないと思う。ケアをしながら利用者や介護者の気持ちにヘルパーとして寄り添う手段の1つとして看護師、医師等から症状や身体状況の情報を把握することで、利用者にかかる言葉や距離感を柔軟に調整することができる。

### < 2 課題がある、難しい >

- ・医療・介護の専門性を持った職種だけでは解決できない精神的な問題が多くなってきたように思う。
- ・各職種がそれぞれの専門性を活かし、利用者に対してサービスを提供する。その中で各職種については立場の違いはあっても基本的には対等と考えるが、上下関係的な物があるように感じられることが問題である。
- ・つきあいのある医療、介護事業所は問題ないが、新たなつきあいは相談しにくい。交流の機会があり、お互いにある程度わかり合えないと難しいと感じる時がある。
- ・清須市デイサービス事業者会に入っているが、人的余裕がないためなかなか活動に至らず、情報をもらうのみになっている。
- ・連携方法について各自の事業所の考え方もあり、すべてオープンに共有していくことの達成が難しい。

### < 3 現在、連携がうまくできている >

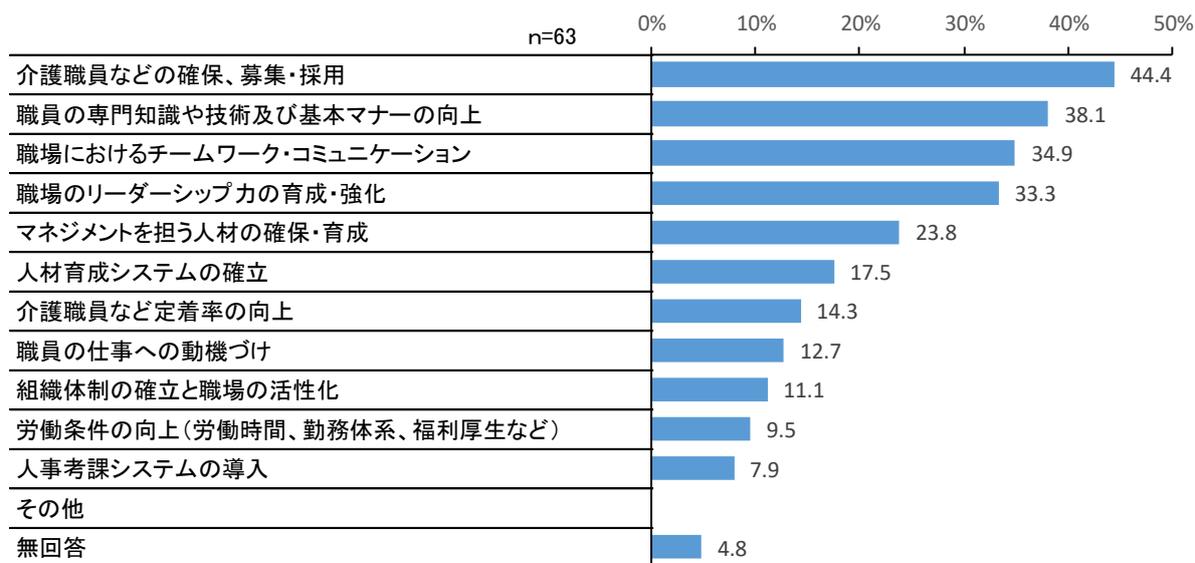
- ・最近医療関係者の連携が積極的で、利用者へのサービスに厚みが出た。
- ・清須市はやさしい事業者や医師が多く、連携しやすいと感じている。やはり人間関係が大切と思い、自分も気を付けるようにしている。
- ・各専門職の知識を共有し役割分担ができれば、負担も減り、ケアにおいてもより質の高いケアができ、利用者のニーズに応じていけるのではと考える。介護・医療だけでなく、最近は地域住民等も参加し、少しずつ自分達の健康生活を支える形ができてきているように思う。

## 2 介護人材の確保やケアマネジメントの質の向上等について

### 2-1 人材マネジメント上、抱えている問題

問8 貴事務所では、人材マネジメント上、どのような問題を抱えていますか。（〇は3つまで）

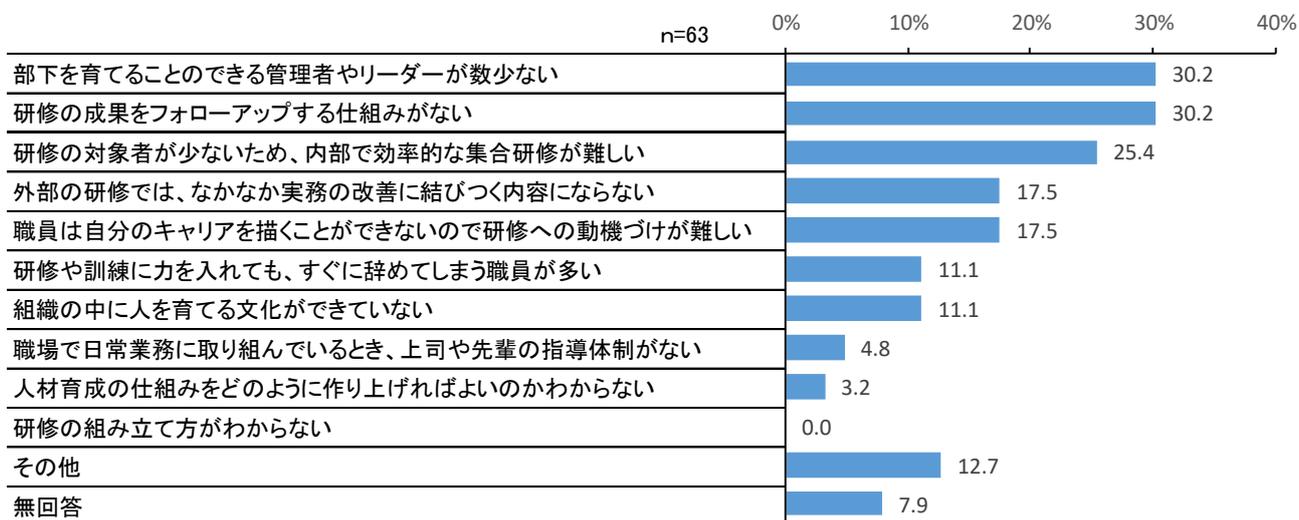
人材マネジメント上で抱えている問題は、「介護職員などの確保、募集・採用」が44.4%と最も高く、次いで「職員の専門知識や技術及び基本マナーの向上」(38.1%)、「職場におけるチームワーク・コミュニケーション」(34.9%)、「職場のリーダーシップ力の育成・強化」(33.3%)となっています。



### 2-2 人材育成に取り組む際の問題点

問9 貴事務所では、人材の育成に取り組んでいく時、どのような問題点がありますか。（〇は3つまで）

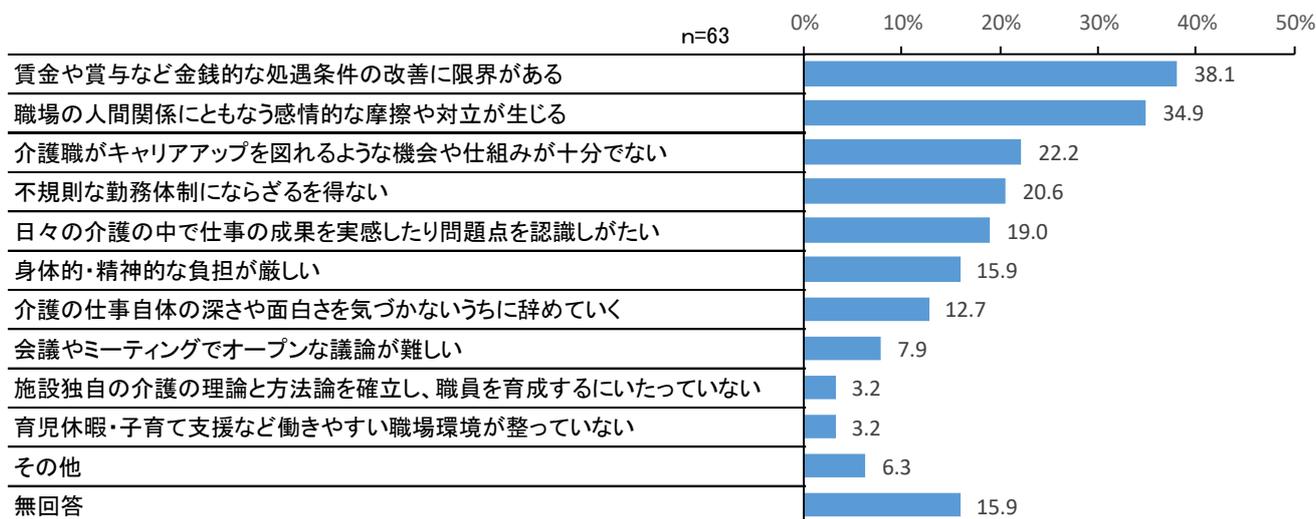
人材育成に取り組む際の問題点は、「部下を育てることのできる管理職やリーダーが数少ない」「研修の成果をフォローアップする仕組みがない」がともに30.2%と最も高く、次いで「研修の対象者が少ないため、内部で効率的な集合研修が難しい」(25.4%)となっています。



## 2-3 職員の確保と定着向上における問題点

問10 貴事務所では、職員の確保と定着向上にはどのような問題点がありますか。(〇は3つまで)

職員の確保と定着向上における問題点は、「賃金や賞与など金銭的な処遇条件の改善に限界がある」が38.1%と最も高く、次いで「職場の人間関係にともなう感情的な摩擦や対立が生じる」(34.9%)、「介護職がキャリアアップを図れるような機会や仕組みが十分でない」(22.2%)となっています。

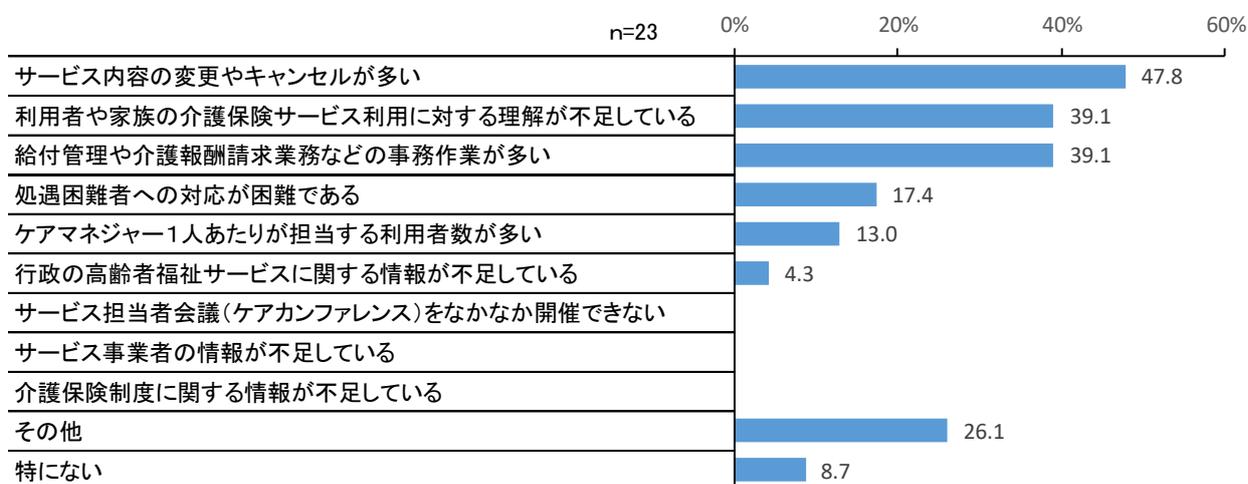


## 2-4 居宅介護サービス計画を作成する上での問題

<居宅介護支援事業所のある法人のみ>

問11 居宅介護サービス計画を作成するにあたって、問題があると考えているのは、どのようなことですか。(〇は3つまで)

居宅介護サービス計画を作成する上での問題は、「サービス内容の変更やキャンセルが多い」が47.8%※と最も高く、次いで「利用者や家族の介護保険サービス利用に対する理解が不足している」「給付管理や介護報酬請求業務などの事務作業が多い」(ともに39.1%)となっています。



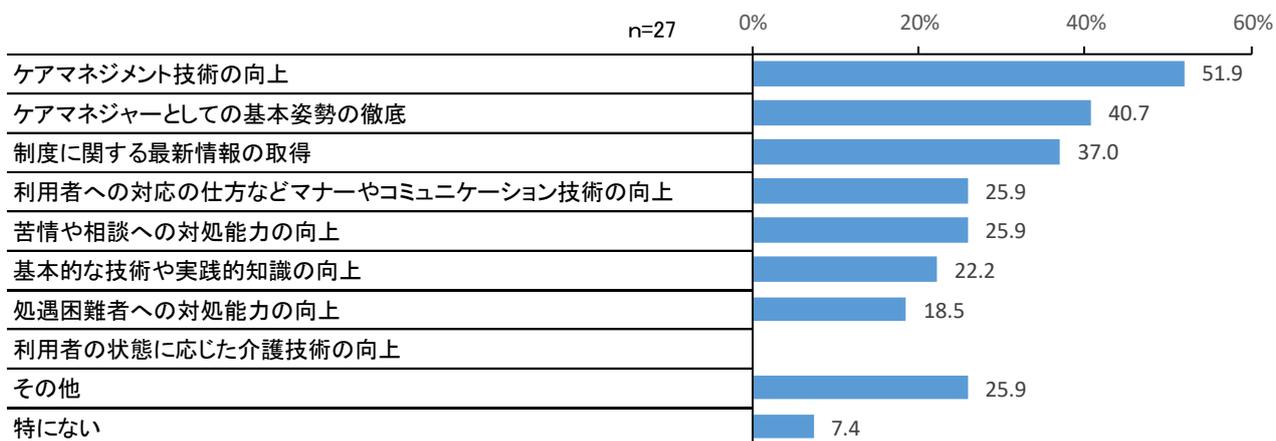
※無回答を除いて集計

## 2-5 ケアマネジャーの質の確保等のために重視していること

＜居宅介護支援事業所及び施設サービス事業所のある法人のみ＞

問12 貴事務所では、ケアマネジャーの質の確保・向上を図るために、特にどのような点に重視して取り組んでいますか。（〇は3つまで）

ケアマネジャーの質の確保等のために重視していることは、「ケアマネジメント技術の向上」が 51.9%※と最も高く、次いで「ケアマネジャーとしての基本姿勢の徹底」（40.7%）、「制度に関する最新情報の取得」（37.0%）となっています。

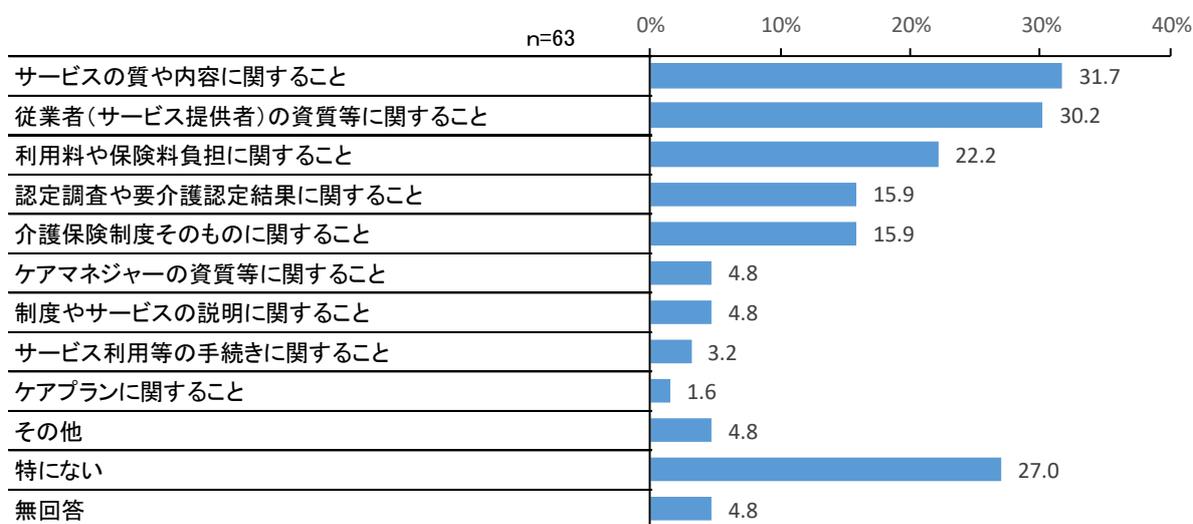


※無回答を除いて集計

## 2-6 利用者や家族からの苦情の内容

問13 貴事務所における、利用者や家族からあげられる苦情の内容について、次の中から多いものをお答えください。（〇は3つまで）

利用者や家族からの苦情の内容は、「サービスの質や内容に関すること」が 31.7%と最も高く、次いで「従業者（サービス提供者）の資質等に関すること」（30.2%）、「利用料や保険料負担に関すること」（22.2%）となっています。また、「特になし」は 27.0%となっています。



## 2-7 介護・高齢者福祉についての意見

問14 その他、介護・高齢者福祉に関することでご意見がありましたら、ご自由に記入してください。

介護・高齢者福祉については、下記のような内容で10件のご意見をいただきました。

	内 容	件数
1	市の施策への要望	6
2	介護保険制度への要望	2
3	その他	2
合 計		10

いただいたご意見の一部（抜粋）

### < 1 市の施策への要望 >

- ・介護保険制度をご家族に理解していただくことが難しく、誰でもわかるようなパンフレットがあれば良いと思う。もしあれば介護施設にもいただけるとありがたい。
- ・生活支援通所サービスについて、市の設定する報酬が低く、月額ではなく回数になっているため、経営上非常に厳しいと感じている。報酬が少ないからといって、他の要介護の利用者とサービス内容を大きく変えることは難しい。事業所の収入を少しでも増やすという点で、生活支援通所サービスの報酬の増額、もしくは日額ではなく月額への変更を検討してほしい。
- ・新型コロナ禍の状況において、行政、各事業所間の情報共有がもっと図られればと思う。
- ・新型コロナにスタッフ内から感染したら事業所はどうなるのか想像したら心配だが、看護師としては立ち向かうしかなく、みな同じ悩みを感じている。清須市として取り組みがいま一つ見えないが、日本全体がそうなので、今自分ができていることを考えている。
- ・新型コロナウイルス感染予防の観点から、特にケアマネ訪問のあり方が今後変わると感じている。保険者からの働き方の基準等、ケアマネ業務に関して一度検討してほしい。
- ・コロナ禍で難しいとは思いますが、当施設は通所事業を行わず人の出入りが少ない状況にあるため、できれば地域のボランティアや園児、学生、行政の方々に至るまで、施設での介護の生の状況を見学等を通じて知っていただき、少しでもそうした方々とのつながりを持つことができればと思う。

### < 2 介護保険制度への要望 >

- ・地域区分の7級地を6級地に変更していただくことで、市内の福祉サービスが増え、競い合うことでサービスの質が上がると考えている。デイサービスが2年以内で2件サービス廃止になったが、在宅サービスがもっと増えた方が市にとって良いと思う。元気な高齢者を維持することがデイサービスの役割と考えているので、検討してほしい。
- ・デイケアを利用中、要支援で更新すると利用を中止しなければならなくなるケースがある。本来、リハビリテーションは到達点を決めて「卒業」を求められるものであることは理解しているが、定期的な運動・訓練を続けることで身体機能が維持され、日常生活が自立できる方も多くいる。保険者ともに良い制度となることを期待している。

清須市  
高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画  
アンケート調査分析報告書